別添２

京都市はぐくみ推進審議会

平成３０年度第２回「子どもの健全育成推進部会」「教育環境づくり部会」「支援を必要とする子どものための部会」

次　　第

平成３１年2月２５日（月）
午後６時３０分から
職員会館かもがわ　第1多目的室

＜議題＞

子ども・若者に係る総合的な計画策定に向けた市民ニーズ調査・意識調査等の調査実施状況について

資料１　子ども・若者に係る総合的な計画策定に向けた市民ニーズ調査・意識調査の調査実施状況について
資料２　放課後の過ごし方に関する調査（小学校）について
資料３　放課後の過ごし方に関する調査（総合支援学校）について

参考資料１　放課後の過ごし方に関する調査（小学校）【結果報告書（案）】
参考資料２　放課後の過ごし方に関する調査（総合支援学校）【結果報告書（案）】

京都市はぐくみ推進審議会
「子どもの健全育成推進部会」「教育環境づくり部会」「支援を必要とする子どものための部会」
共同部会　委員名簿

別添

＜委員＞　１９名　　（敬称略・５０音順）　　（◎：部会長　☆：特別委員）

		氏名	団体・役職名等	所属する部会		
				子どもの健全育成推進部会	教育環境づくり部会	支援を必要とする子どものための部会
1		雨宮　万里子	京都市少年補導委員会	○		
2		石塚　かおる	京都児童養護施設長会　会長			○
3		伊豆田　千加	特定非営利活動法人子育ては親育て・みのりのもり劇場　理事長		☆	
4		井筒　隆夫	京都市民生児童委員連盟　理事		☆	☆
5		岡　美智子	京都障害児者親の会協議会　副会長	○		○
6		大澤　彰久	京都市PTA連絡協議会　会長		○	
7		小谷　裕実	京都教育大学　教授			○
8		渋谷　千鶴	京都知的障害者福祉施設協議会　児童発達支援部会長			☆
9		杉原　颯太	市民公募委員		○	
10		芹澤　出	京都母子生活支援施設協議会　会長			☆
11		鶴丸　富子	京都市里親会　会長			☆
12		徳岡　博巳	大谷大学短期大学部　教授			◎
13		中川　佐和子	市民公募委員	○	○	
14		長澤　敦士	市民公募委員			○
15	部会長	初田　幸隆	京都教育大学　教授	◎	◎	
16		藤本　明弘	公益社団法人京都府私立幼稚園連盟　副理事長		☆	
17		藤本　明美	特定非営利活動法人京都子育てネットワーク　理事長	○		
18		細川　みゆき	社会福祉法人京都市社会福祉協議会児童館事業部　部長	☆		
19		山手　重信	公益社団法人京都市児童館学童連盟　会長	○		

資料１

子ども・若者に係る総合的な計画策定に向けた市民ニーズ調査・意識調査の調査実施状況について

平成３２年度を始期とする「子ども・若者に係る総合的な計画（以下「新計画」という。）」を来年度に策定するに当たり，昨年９月から順次実施してきました市民ニーズ調査・意識調査（以下「ニーズ調査」という。）について，現時点の各調査の実施状況について御報告いたします。

１　実施結果（各調査の概要については裏面参照）

調査区分		調査対象者（配布数）	有効回収数	有効回収率
①	子育て支援に関する市民ニーズ調査（小学校入学前児童）	6,500 件	3,191 件	49.1%
②	子育て支援に関する市民ニーズ調査（小学生児童）	6,500 件	3,202 件	49.3%
③	家族や家庭生活のあり方に関する意識調査	6,500 件	1,866 件	28.7%
④	ひとり親家庭に関する実態調査	5,000 件	1,272 件	25.4%
⑤	母子保健に関する意識調査	3,162 件	1,327 件	42.0%
⑥	青少年・若者に関する意識行動と思春期保健に関する調査	6,500 件	1,393 件	21.4%
	うち 13 歳から 18 歳までの青少年・保護者	2,500 件	638 件	25.5%
⑦	放課後の過ごし方に関する調査（小学校用）	31,696 件	14,218 件	44.9%
⑧	放課後の過ごし方に関する調査（総合支援学校用）	1,133 件	474 件	41.8%

２　今後のスケジュール（予定）

各ニーズ調査の結果については，調査票を作成する際に調査審議を行った部会及び共同部会において，考察を行うとともに，現行計画（「未来こどもはぐくみプラン」，「ユースアクションプラン」，「貧困家庭の子ども・青少年対策に関する実施計画」）の進捗状況も踏まえて意見聴取を行い，本年４月以降に公表を行う予定です。

≪主なスケジュール≫

平成３１年２月以降	部会及び共同部会において意見聴取
同年３月中旬～下旬	全体会議で最終の意見聴取
	事務局において調査結果の取りまとめ
同年４月以降	調査結果の公表

（参考）

⑴　子育て支援に関する市民ニーズ調査

対　象：市内在住の小学校入学前児童の保護者（６，５００件）
　　〃　　小学生の保護者（６，５００件）
方　法：無作為抽出を行い，調査票を郵送
目　的：子育て支援施策に係る市民ニーズを把握し，「京都市子ども・子育て支援事業計画」策定をはじめ，今後の子育て支援施策の今後の方向性を検討する基礎資料とする。

⑵　家族や家庭生活のあり方に関する意識調査

対　象：市内在住の１８歳から４９歳までの市民（６，５００件）
方　法：無作為抽出を行い，調査票を郵送
目　的：結婚，出産，働き方改革，真のワーク・ライフ・バランス等，広く家族や家庭生活に係る市民の意識を把握することを目的に調査を実施する。

⑶　ひとり親家庭に関する実態調査

対　象：市内在住の母子世帯（３，７００件）
　　〃　　父子世帯（１，３００件）
方　法：無作為抽出を行い，調査票を郵送
目　的：ひとり親家庭の，所得を含む世帯の状況や育児・教育の状況，離婚後の養育費や面会交流の状況などを調査するとともに，既存の福祉施策の認知状況や利用状況，潜在的なニーズ及び要望を把握し，主に「京都市ひとり親家庭自立促進計画」策定に係る基礎資料とする。

⑷　母子保健に関する意識調査

対　象：９月中に乳幼児健康診査（４か月児，８か月児，１歳６か月児，３歳児）を受診した児童の母親（約４，０００件）
方　法：乳幼児健康診査で来庁された際に調査票を手渡し，郵送で回収
目　的：乳幼児の子育てをしている母親を対象に調査をすることで，妊娠・出産・子育てを取り巻く状況や環境の変化を把握し，「京都市母子保健計画」策定に係る基礎資料とする。

⑸　青少年・若者に関する意識行動と思春期保健に関する調査

対　象：市内在住の１３歳～１８歳とその保護者（5，０００件（2，５００世帯））
　　〃　　１９歳～３０歳（４，０００件）
方　法：無作為抽出を行い，調査票を郵送
目　的：１３歳～３０歳の青少年・若者（思春期を含む）の意識や生活状況について調査し，その把握を行うことで「京都市子ども・若者計画」や「京都市母子保健計画」の策定に係る基礎資料とする。

⑹　放課後の過ごし方に関する調査

対　象：市立小学校及び市立小中学校前期課程１年生，４年生，６年生の全ての児童の保護者（約３１，０００件）
総合支援学校に通学する全児童・生徒の保護者（約１，２５０件）
方　法：各学校を通じ調査票を配布し，郵送で回収
目　的：小学校児童の放課後における過ごし方を調査し，学童クラブ事業・放課後ほっと広場事業・放課後まなび教室（以下「学童クラブ事業等」という。）の利用実態や潜在的なニーズ，児童館事業の認知度を把握することにより，今後の各事業のあり方の検討材料とする。
また，総合支援学校に通う障害のある児童・生徒の放課後の過ごし方を調査し，就学児童のサービス利用における現状と課題，また放課後に必要とされるサービスの機能や役割について把握する。

資料２

京都市放課後の過ごし方に関する調査（小学校用）について

１　調査概要

⑴　目的

小学生の放課後の過ごし方の状況や，放課後に利用している事業へのご意見等をうかがい，今後の京都市における放課後児童施策の充実に向けた基礎資料とすることを目的に実施しました。

⑵　実施状況

	調査対象者（配布数）	有効回収数	有効回収率
放課後の過ごし方に関する調査（小学校用）	31,696 件	14,218 件	44.9%

２　主な調査項目

⑴　放課後の過ごし方の状況

ア　同居している家族について
イ　平日の放課後の時間を過ごす場所
ウ　学校内の部活動や校庭開放，習い事や塾

⑵　京都市の学童クラブ事業

ア　利用している京都市の学童クラブ事業に対する要望
イ　京都市の学童クラブ事業を利用していない理由
ウ　京都市の学童クラブ事業を退会した理由

⑶　放課後まなび教室

ア　利用している（または利用予定の）放課後まなび教室への要望
イ　放課後まなび教室を利用していない（または利用予定がない）理由

⑷　京都市の学童クラブ事業と放課後まなび教室

ア　両方利用している理由
イ　両方利用することにあたっての要望

⑸　児童館（学童クラブ事業以外での利用）

ア　児童館活動（学童クラブ事業以外）の認知度
イ　児童館（学童クラブ事業以外）を利用している理由
ウ　児童館（学童クラブ事業以外）を利用していない理由

⑹　放課後等デイサービス

ア　現在通っている放課後等デイサービス事業所を選んだ理由
イ　現在通っている放課後等デイサービス事業所に対する要望

３　主な調査結果（案）

※　以下のページ番号は，全て参考資料１の放課後の過ごし方に関する調査（小学校用）のページ番号を指します。

回答を学年別にみると，「１．１年生」が 35.7%と最も高く，次いで「２．４年生」が 32.1%，「３．６年生」が 30.8%となっています。（P.2）

⑴　お子さまと保護者の方の現在の状況について

ア　同居している家族について

（P.2 問１－１，P.3 問１－２，問１－３，問１－３×学年別）

同居している家族については,「２．母」が 98.5％と最も高く,次いで「１．父」が 89.1％，「７．弟」が 26.6％となっています。兄弟姉妹の人数は,すべての項目で「１．１人」が最も高くなっています。

保護者の在宅状況については,「１.父,母のどちらかは家にいる」が 52.9％と最も高く，次いで「３．誰もいない」が 27.9％，「４．その他」が 10.8％となっています。

保護者の就労状況については，「１．常勤（フルタイム）で就労している」が 72.7％と最も高く，次いで「２．パートで就労している」が 43.2％,「３．就労していない」が 16.7％となっています。また，学年が上がるほど,「２．パートで就労している」の割合が高くなり，「３．就労していない」の割合が低くなる傾向がみられます。

イ　平日の放課後の時間を過ごす場所

（P.4 問２－１，P.5 問２－１（１）×問１－３，P.10 問２－２，P.11 問２－２(２)×学年別）

『１．毎日』は，「（１）自宅」が 31.7％と最も高く，次いで「（７）京都市の学童クラブ事業」が 11.0％となっています。「（６）習い事や塾」に通っている頻度は，『３．２～３日』が 36.8％と最も高い割合を占めています。

保護者の就労状況別にみると，『就労していない』『就労したいができない』の区分では，他の区分に比べて，毎日を自宅で過ごす割合が高くなっています。

『（１）自宅』において誰と過ごすかについては，「２．母」が 68.8％と最も高くなっています。『（２）公園等の屋外』では，「７．友人」が 81.0％と最も高く，次いで「６．弟，妹」が 15.4％，「２．母」が 14.8％となっています。学年が上がるほど,「友人」の割合が高くなる傾向がみられます。また，『１年生』では「母」「兄，姉」「弟，妹」の割合が他の区分と比べて特に高くなっています。

（P.6 問２－１（７）×学年別，P.7 問２－１（７）×問１－２，問２－１（７）×問１－３，P.8 問２－１（７）×問２－１（８））

京都市の学童クラブ事業については，学年が上がるほど，「１．毎日」の割合が低くなり，「５．利用していない」の割合が高くなる傾向がみられます。

利用割合を家族の在宅状況別にみると，『誰もいない』では，「１．毎日」の割合が他の区分に比べて高くなっています。

保護者の就労状況別にみると，『常勤（フルタイム）で就労している』『パートで就労している』では，「１．毎日」の割合が他の区分に比べて高くなっています。

また，京都市の放課後まなび教室の利用頻度が上がるほど，京都市の学童クラブ事業を「利用していない」割合が低くなる傾向がみられます。

（P.8 問２－１（７）×問２－１（１２），P.9 問２－１（８）×学年別，問２－１（９）×学年別）

放課後まなび教室を利用している割合は４年生が最も高くなっています。

京都市の学童クラブ事業と放課後まなび教室を両方利用している方につ

いては，京都市の学童クラブ事業を２～３日利用し，放課後等デイサービスも２～３日利用している割合が最も高くなっています。

児童館（学童クラブ事業以外）を利用している割合は，学年が上がるほど，「５．利用していない」の割合が高くなる傾向がみられます。

ウ　学校内の部活動や校庭開放，習い事や塾

（P.5 問２－１（５）×学年別，P.6 問２－１（６）×学年別，P.11 問３，P.12 問３×学年別）

学校内の部活動や校庭開放で過ごしている割合は，学年が上がるほど，「５．利用していない」の割合が低くなり，それ以外の項目が高くなる傾向がみられます。

習い事や塾を利用している割合は，学年が上がるほど，「１．毎日」「２．４日」「３．２～３日」の割合が高くなり，「４．１日のみ」「５．利用していない」の割合が低くなる傾向がみられます。

習い事や塾を利用している理由については，「２．運動能力向上，体力づくりのため」が 43.1％と最も高く，次いで「１．学習習慣を身に付ける，学力向上のため」が 42.4％，「７．お子さまが希望したため」が 37.0％となっています。学年別にみると，『１年生』『４年生』では「運動能力向上，体力づくりのため」，『６年生』では「学習習慣を身に付ける，学力向上のため」の割合が最も高くなっています。

⑵　京都市の学童クラブ事業について

ア　利用している京都市の学童クラブ事業に対する要望

（P.13 問４－１，問４－１×学年別，P.14 問４－１×問２－１（７））

「６．利用料金の軽減」が 31.8％と最も高く，次いで「１．小学校内・学校近くでの実施」が 27.7％，「３．施設・設備の改築，充実」が 23.2％となっています。

学年別にみると，『１年生』では「利用料金の軽減」，『４年生』では「小学校内・学校近くでの実施」，『６年生』では「施設・設備の改築，充実」の割合が最も高くなっています。

利用頻度別にみると，『毎日』『２～３日』では「利用料金の軽減」，『４日』『１日のみ』では「小学校内・学校近くでの実施」の割合が最も高くなっています。

イ　京都市の学童クラブ事業を利用していない理由（P.14 問４－２）

「９．利用する必要がない」が 63.3％と最も高く，次いで「10．その他」が 11.5％，「１．実施場所が遠い（学校内でない等）」が 7.1％となっています。

ウ　京都市の学童クラブ事業を退会した理由（P.15 問４－３，問４－３×学年別）

「７．お子さまが希望したため」が 46.5％と最も高く，次いで「３．お子さまだけでも過ごすことができるため」が 45.1％，「２．習い事などで学童クラブ事業に通う時間が少なくなったため」が 28.1％となっています。

学年別にみると，『１年生』『４年生』では「お子さまが希望したため」，『６年生』では「お子さまだけでも過ごすことができるため」の割合が最も高くなっています。

⑶　放課後まなび教室について

ア　利用している（または利用予定の）放課後まなび教室に対する要望
（P.16問５－１，問５－１×学年別，P.17問５－１×問２－１（７），P.18問５－１×問２－１（８））

「２．長期休業中の実施など，実施日の充実」が 38.2％と最も高く，次いで「９．特に要望はない／わからない」が 29.2％，「１．平日の活動時間の延長」が 23.5％となっています。

学年別にみると，『１年生』『４年生』では「長期休業中の実施など，実施日の充実」，『６年生』では「特に要望はない／わからない」の割合が最も高くなっています。

放課後まなび教室の利用頻度別にみると，すべての区分で「長期休業中の実施など，実施日の充実」の割合が最も高くなっています。学童クラブ事業の利用頻度別にみても同様です。

イ　放課後まなび教室を利用していない（または利用予定がない）理由
（P.19問５－２，P.20問５－２×問２－１（７））

「９．利用する必要がない」が 49.2％と最も高く，次いで「１．利用したい日程や時間帯が合わない」が 23.0％，「10．その他」が 22.9％となっています。

京都市の学童クラブ事業の利用頻度別にみると，『毎日』『１日』『利用していない』では「利用する必要がない」，『４日』『２～３日』では「利用したい日程や時間帯が合わない」の割合が最も高くなっています。

⑷　京都市の学童クラブ事業と放課後まなび教室について

ア　両方利用している理由（P.21問６－１）

「４．放課後の学習習慣を身に付けさせたいため」が 56.3％と最も高く，次いで「１．両方を利用しやすい環境，制度が整っているため」が 29.9％，「３．両方の活動を通じて交友関係の幅を広げたいため」が 20.8％となっています。

イ　両方利用することにあたっての要望（P.21問６－２，P.22問６－２×学年別）

「５．特に要望はない／わからない」が 34.2％と最も高く，次いで「１．両方を利用しやすくする環境，制度の整備」が 33.9％，「３．放課後まなび教室の実施日数の充実」が 28.3％となっています。

学年別にみると，『１年生』では「両方を利用しやすくする環境，制度の整備」，『４年生』『６年生』では「特に要望はない／わからない」の割合が最も高くなっています。

⑸　児童館（学童クラブ事業以外での利用）について

ア　児童館活動（学童クラブ事業以外）の認知度（P.23問７－１）

「２．知っているが利用したことはない」が 40.2％と最も高く，次いで「１．利用している／したことがある」が 24.5％，「３．知らなかった」が 21.1％となっています。

イ　児童館（学童クラブ事業以外）を利用している理由
（P.23問７－２，P.24問７－２×学年別）

利用している，利用したことがある理由については，「７．その他」が 29.0％

と最も高く，次いで「２．児童館でのクラブ活動に参加している」が 22.5%，「３．児童館での地域交流等を通じ，人間関係を広げたい」が 17.3%となっています

学年別にみると，『１年生』では「児童館でのクラブ活動に参加している」，『４年生』『６年生』では「その他」の割合が最も高くなっています。

ウ　児童館（学童クラブ事業以外）を利用していない理由（P.25 問７－３）

「２．利用する必要がない」が 42.9%と最も高く，次いで「１．学童クラブ事業以外の活動を知らなかった」が 16.5%，「４．児童館が家の近くにない・どこにあるかわからない」が 16.0%となっています。

⑹ 放課後等デイサービスについて

ア　現在通っている放課後等デイサービス事業所を選んだ理由

（P.26 問８－１，P.27 問８－１×問１－２，P.28 問８－１×問１－３，P.29 問８－１×問２－１（１２））

「４．事業所の理念や療育内容が気に入った」が 47.8%と最も高く，次いで「11．事業所が責任を持って送迎を行っている」が 42.3%，「６．事業所から保護者への情報提供や対応が丁寧である」が 33.9%となっています。

家族の在宅状況別にみると，『父，母のどちらかは家にいる』では，「事業所の理念や療育内容が気に入った」，『祖父母のどちらかは家にいる』『誰もいない』では「事業所が責任を持って送迎を行っている」，『その他』では「事業所から保護者への情報提供や対応が丁寧である」の割合が最も高くなっています。

保護者の就労状況別にみると，『パートで就労している』『その他』では「事業所が責任を持って送迎を行っている」，それ以外では「事業所の理念や療育内容が気に入った」の割合が最も高くなっています。

また，放課後等デイサービスの利用頻度別にみると，『毎日』『４日』では「事業所が責任を持って送迎を行っている」，『２～３日』『１日のみ』では「事業所の理念や療育内容が気に入った」の割合が最も高くなっています。

イ　現在通っている放課後等デイサービス事業所に対する要望

（P.30 問８－２，P.31 問８－２×問１－３，P.32 問８－２×問２－１（１２））

「４．療育内容の充実」が 28.8%と最も高く，次いで「９．機能訓練ができる職員（理学療法士や作業療法士等）の配置」が 24.5%，「12．特に要望はない／わからない」が 20.8%となっています。

保護者の就労状況別にみると，『常勤（フルタイム）で就労している』『パートで就労している』では「療育内容の充実」，『就労していない』では「特に要望はない／わからない」，『就労したいができない』では「送迎サービスの実施」の割合が最も高くなっています。

利用頻度別にみると，『毎日』では「利用時間の延長」，『４日』では「機能訓練ができる職員（理学療法士や作業療法士等）の配置」，『２～３日』では「療育内容の充実」及び「機能訓練ができる職員（理学療法士や作業療法士等）の配置」，『１日のみ』では「療育内容の充実」の割合が最も高くなっています。

資料３

京都市放課後の過ごし方に関する調査（総合支援学校）について

１　調査概要

⑴　目的

児童・生徒の放課後の過ごし方の状況や放課後に利用されている事業へのご意見等をうかがい，今後の京都市の放課後施策の充実に向けた基礎資料とすることを目的に実施しました。

⑵　実施状況

	調査対象者（配布数）	有効回収数	有効回収率
京都市放課後の過ごし方に関する調査（総合支援学校）	1,133 件	475 件	41.9%

２　主な調査項目

⑴　お子さまと保護者の方の現在の状況について

ア　お子さまが通っている学校区分
イ　同居している家族，行政区
ウ　保護者の就労状況
エ　お子さまの障害者手帳の所持状況
オ　子どもの医療的ケア

⑵　お子さまの放課後の過ごし方について

ア　平日の放課後の過ごし方
イ　習い事や塾
ウ　放課後等デイサービス
エ　訪問看護
オ　学童クラブ等

⑶　お子さまの習い事や塾について

ア　習い事や塾に通わせている理由

⑷　放課後等デイサービスについて

ア　現在通っている事業所を選んだ理由
イ　利用している放課後等デイサービスの満足度
ウ　現在通っている事業所に対する要望
エ　放課後等デイサービスを利用していない方の利用希望

３　主な調査結果（案）

※　以下のページ番号は，全て参考資料２の京都市放課後の過ごし方に関する調査（総合支援学校）のページ番号を指す。

⑴　お子さまと保護者の方の現在の状況について

ア　お子さまが通っている学校区分（P2）

「３．高等部」が 53.9%と最も高く，次いで「１．小学部」が 25.3%，「２．中学部」が 17.5%となっています。

イ　同居している家族，行政区（P2 問１，P3 問２）

「２．母」が 94.9%と最も高く，次いで「１．父」が 80.8%，「５．兄」が 22.7%となっています。兄弟姉妹の人数は，すべての項目で「１．１人」が

最も高くなっています。

住んでいる行政区では，「13．伏見区（深草・醍醐地区を除く）」が 13.5%と最も高く，次いで「９．右京区（京北地域を除く）」が 10.3%，「１．北区」が 9.9%となっています。

ウ　保護者の就労状況（P3 問３）

「１．常勤（フルタイム）で就労している」が 60.4%と最も高く，次いで「２．パートで就労している」が 36.4%，「３．就労していない」が 19.4%となっています。

エ　お子さまの障害者手帳の所持状況（P4 問４，P5 問４×問６）

「４．療育手帳（A）」が 54.1%と最も高く，次いで「５．療育手帳（B）」が 38.3%，「１．身体障害者手帳１級」が 18.5%となっています。「手帳を持っていない」は 0.0%となっており，「不明・無回答」を除くすべての児童が何らかの障害者手帳を所持しています。

訪問看護の利用頻度を手帳所持状況別で見ると，『毎日』『２～３日』では「身体障害者手帳１級」，『１日のみ』『利用していない』では「療育手帳（A）」の割合が最も高くなっています。

オ　子どもの医療的ケア（P6 問５－１，P7 問５－１×問６，問５－２）

「１．医療的なケアは受けていない」が 71.6%と最も高く，次いで「６．たん吸引」が 6.3%，「８．経管栄養（胃ろう）」が 4.2%となっています。

訪問看護の利用頻度別で見ると，『毎日』では「酸素療法」「たん吸引」，『２～３日』では「たん吸引」，『１日のみ』では「たん吸引」「経管栄養（胃ろう）」，『利用していない』では「医療的なケアは受けていない」の割合が高くなっています。

保護者が現在の生活で不安に思っていることや，必要だと思うことについては，全４９件の自由記述回答のうち，主な内容として「通所可能な放課後等デイサービスが少ない」，「サービス利用が制限される」等の福祉サービスの利用制限に関することが１４件，レスパイトの不足に関することが６件，保護者の介護負担に関することが４件，「スクールバスでの送迎」や「学校での医療行為の制限」等，学校での支援に関することが２件挙げられています。

⑵　お子さまの放課後の過ごし方について

ア　平日の放課後の過ごし方（P.8 問６，P.9 問６(1)自宅×学校区分別，問１同居家族別）

『１．毎日』は，「（１）自宅」が 36.4%と最も高く，次いで「（12）放課後等デイサービス」が 20.0%となっています。『２．２～３日』は，「（１）自宅」が 21.5%と最も高く，次いで「(12) 放課後等デイサービス」が 19.8%，「（５）学校内の部活動，校庭開放」が 16.2%となっています。

「（１）自宅」を学校区分別で見ると，学校区分が上がるほど，「１．毎日」の割合が高くなる傾向がみられます。

「（１）自宅」を同居家族別で見ると，『弟』を除くすべての区分で「１．毎日」の割合が最も高くなっており，特に『祖父』『祖母』では他の区分と比べて高くなっています。

（P.10 問６(4)×(12)，問６(5)×(12)，P.11 問６(6)×(12)，問６(7)×(12)）

祖父母宅や保護者の友人・知人宅を放課後等デイサービス利用頻度別で見ると，両方利用している方では，それぞれ「１日のみ」利用している割合が高くなっています。

また，学校内の部活動，校庭開放を放課後等デイサービス利用頻度別で見る

と，両方利用している方では，それぞれ「２～３日」ずつ利用している割合が高くなっています。放課後等デイサービスの利用頻度が上るほど，学校内の部活動，校庭開放の利用頻度が下がる傾向にあります。

京都市の学童クラブ事業を放課後等デイサービスの利用頻度別で見ると，利用頻度に関わらずすべての区分で「利用していない」の割合が最も高くなっています。

習い事や塾を放課後等デイサービス利用頻度別で見ると，両方利用している方ではそれぞれ「１日のみ」利用している割合が高くなっています。

（P.18 問８－１，問８－１×学校区分別，P.19 問８－２，問８－２×問６（２））

自宅や預け先のお宅で誰と過ごしているかについては，「１．保護者等（父・母・祖父母）が家にいて見守りながら過ごしている」が 71.8％と最も高く，次いで「３．一人で過ごしている」が 23.1％，「２．きょうだいや友人，保護者以外の大人と過ごしている」が 14.6％となっています。学校区分別で見ても，すべての区分で「保護者等（父・母・祖父母）が家にいて見守りながら過ごしている」の割合が最も高くなっていますが，『高等部』では「一人で過ごしている」の割合が他の区分と比べて高くなっています。

公園等の屋外で過ごしている場合は，「１．保護者等（父・母・祖父母）が見守りながら過ごしている」が 46.2％と最も高く，次いで「２．きょうだいや友人，保護者以外の大人と過ごしている」が 23.1％，「４．その他」が 19.2％となっています。公園等の屋外の利用頻度が低くなるほど，「１．保護者等（父・母・祖父母）が見守りながら過ごしている」の割合が高くなる傾向がみられます。

イ　習い事や塾（P.10 問６（６）習い事や塾×学校区分別）

学校区分が上がるほど，「１日」以上利用している割合が高くなっています。

ウ　放課後等デイサービス（P.12 問６(12)×学校区分別，同居家族別，P.13 行政区別，P.14 保護者の就労状況別，所持手帳別，P.15 医療的ケアの内容別，P.16 移動支援の利用頻度別）

学校区分別で見ると，『小学部』では「３．２～３日」，『中学部』では「１．毎日」，『高等部』では「５．利用していない」の割合が最も高くなっています。学校区分が上がるほど利用割合が低くなっており，高等部の利用割合は小学部の半分以下となっています。

また，同居家族別に見ると，『兄』『弟』を除くすべての区分で「５．利用していない」の割合が最も高くなっています。

行政区別で見ると，『上京区』『伏見区』を除くすべての区分で「５．利用していない」の割合が最も高くなっています。『上京区』では「３．２～３日」，『伏見区（深草・醍醐地区を除く）』『伏見区（深草地区）』では「１．毎日」，『伏見区（醍醐地区）』では「３．２～３日」「５．利用していない」の割合が高くなっています。

保護者の就労状況別で見ると，『常勤（フルタイム）で就労している』『パートで就労している』では，「１．毎日」の割合が他の区分と比べて高くなっています。

所持手帳別で見ると，『身体障害者手帳１級・２級』『重症心身障害児認定を受けている』では「３．２～３日」，『身体障害者手帳３級～７級』では「２．４日」，『４．療育手帳（A）』では「１．毎日」，それ以外では「５．利用

していない」の割合が最も高くなっています。

医療的ケアの内容別で見ると，『たん吸引』『ネブライザー等による薬液吸入』『経管栄養（胃ろう）』『中心静脈栄養』『ストマ管理』では「２～３日」，『経管栄養（経鼻）』では「２～３日」「利用していない」，それ以外では「利用していない」の割合が最も高くなっています。

移動支援の利用頻度別で見ると，『毎日』では「３．２～３日」「５．利用していない」，『利用していない』では「５．利用していない」，それ以外では「３．２～３日」の割合が高くなっています。

エ　訪問看護（P.16 問６(15)×問５－１）

医療的ケアの内容別で見ると，『医療的なケアは受けていない』『たん吸引』『その他』では「利用していない」，『人工呼吸器管理』『酸素療法』『気管切開部の管理』『経管栄養（経鼻）』では「２～３日」，『ネブライザー等による薬液吸入』では「２～３日」「利用していない」，『経管栄養（胃ろう）』では「２～３日」「１日のみ」「利用していない」，『導尿』では「毎日」「２～３日」の割合が高くなっています。

オ　学童クラブ等（P.8 問６，P.17 問７，P.17 問７×問６（７））

学童クラブ等を「１日」以上利用している児童は2.0%となっており，利用している理由では，「１．保護者が就労している時間の居場所確保のため」が61.9%と最も高く，次いで「２．様々な経験をさせるため」が52.4%，「３．お子さまの人間関係を広げるため」が47.6%となっています。利用頻度別の理由を見ると，『２～３日』『利用していない』では「保護者が就労している時間の居場所確保のため」，『１日のみ』では「お子さまの人間関係を広げるため」の割合が高くなっています。

⑶　お子さまの習い事や塾について

ア　習い事や塾に通わせている理由（P.20 問９）

「４．様々な経験をさせるため」が45.2%と最も高く，次いで「２．運動能力向上，体力づくりのため」が34.2%，「３．豊かな感性や技術等を身に付けさせるため」が30.1%となっています。

⑷　放課後等デイサービスについて

ア　現在通っている事業所を選んだ理由（P.20 問10－１×問６（12），P.21 問１０－１，P.22 問10－１×問３，P.23 問10－１×問５－１）

「４．事業所の理念や療育内容が気に入った」が46.7%と最も高く，次いで「11．事業所が責任を持って送迎を行っている」が37.9%，「６．事業所から保護者への情報提供や対応が丁寧である」が34.9%となっています。

保護者の就労状況別で見ると，『その他』を除き，『就労したいができない』では「家から近く，通いやすい」，それ以外では「事業所の理念や療育内容が気に入った」の割合が最も高くなっています。

医療的ケアの内容別で見ると，『その他』を除き，『医療的なケアは受けていない』では「事業所の理念や療育内容が気に入った」，それ以外では「医療的なケアに対応可能な職員がいる」の割合が最も高くなっています。

放課後等デイサービスの利用頻度別で見ると，『１日のみ』では「事業所から保護者への情報提供や対応が丁寧である」，それ以外では「事業所の理念や療育内容が気に入った」の割合が最も高くなっています。放課後等デイサービスの利用頻度が高いほど，「休日の営業等，利用時間が希望に合っている」の

割合が高くなっています。

イ　利用している放課後等デイサービスの満足度（P.24問１０－２，P.25問10－２×問10－１）

『満足（「１．大変満足している」と「２．満足している」の合計）』は88.3%，『不満（「３．やや不満がある」と「４．大変不満がある」の合計）』は10.6%となっています。

現在通っている事業所を選んだ理由別で見ると，『職員体制が充実している』では「大変満足している」，それ以外では「満足している」の割合が最も高くなっています。

ウ　現在通っている事業所に対する要望（P.26問１０－３，P.27問１０－３，P.28問１０－３，P.29問10－３×問６（12），P.30問10－３×問１０－２）

「２．土日・祝日の実施」が24.6%と最も高く，次いで「１．利用時間の延長」が24.3%，「４．療育内容の充実」が21.3%となっています。

学校区分別で見ると，『小学部』では「機能訓練ができる職員の配置」，『中学部』では「土日・祝日の実施」，『高等部』では「特に要望はない／わからない」の割合が最も高くなっています。

保護者の就労状況別で見ると，『常勤（フルタイム）で就労している』『パートで就労している』では「利用時間の延長」「土日・祝日の実施」，『就労していない』では「療育内容の充実」，『就労したいができない』では「職員の質の向上」の割合が高くなっています。

放課後等デイサービスの利用頻度別で見ると，『毎日』では「土日・祝日の実施」，『４日』では「療育内容の充実」，『２～３日』では「機能訓練ができる職員の配置」，『１日のみ』では「利用時間の延長」の割合が最も高くなっています。

サービスの満足度別で見ると，『大変満足している』では「土日・祝日の実施」，『満足している』では「利用時間の延長」「療育内容の充実」，『やや不満がある』では「職員の質の向上」の割合が高くなっています。

エ　放課後等デイサービスを利用していない方の利用希望（P.30問10－４，問10－４×学校区分別，P.31問10－４×問５－１，P.32問10－５）

「２．利用希望はない」が59.8%，「１．利用希望がある」が24.4%となっています。

学校区分別に見ると，学校区分が上がるほど，「１．利用希望がある」の割合が低くなる傾向がみられます。

医療的ケアの内容別で見ると，『医療的なケアは受けていない』『その他』では「利用希望はない」，それ以外では「利用希望がある」の割合が高くなっています。

また，利用希望があるが現在放課後等デイサービスを利用していない理由では，「８．その他」が47.5%と最も高く，次いで「７．事業所の質（療育内容・職員のスキル等）に不安がある」が32.5%，「２．通いたいと思える放課後等デイサービスがなかった」が27.5%となっています。

その他の内容としては，本人の希望（７件），本人の体力面や状態（６件），支援の内容や質（５件）などが挙げられています。

参考資料１

案

京都市
放課後の過ごし方に関する調査
（小学校用）
【結果報告書（速報）】

平成 31 年２月

京都市

目　次

Ⅰ．調査の概要 1
１　調査の目的 1
２　調査設計 1
３　回収結果 1
４　報告書の見方 1

Ⅱ．調査結果 2
１　お子さまと保護者の方の現在の状況について 2
２　京都市の学童クラブ事業について 13
３　京都市の放課後まなび教室について 16
４　京都市の学童クラブ事業と放課後まなび教室について 21
５　児童館（学童クラブ事業以外での利用）について 23
６　放課後等デイサービスについて 26

Ⅰ．調査の概要

１　調査の目的

本調査は，小学生の放課後の過ごし方の状況や，放課後に利用している事業へのご意見等をうかがい，今後の京都市における放課後児童施策の充実に向けた基礎資料とすることを目的に実施しました。

２　調査設計

●調査対象者：市立小学校及び市立小中学校前期課程に通う１年生，４年生，６年生のすべての児童の保護者
●調 査 期 間：平成 30 年９月 14 日～９月 28 日
●調 査 方 法：学校を通じた配布，郵送回収

３　回収結果

調査対象者（配布数）	有効回収数	有効回収率
31,696 件	14,218 件	44.9%

４　報告書の見方

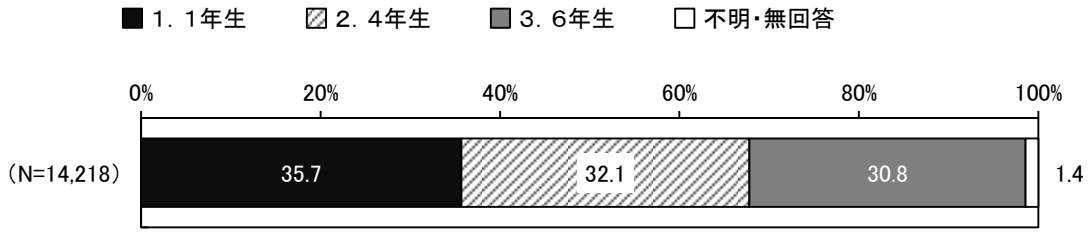
●回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して，それぞれの回答数の割合を小数点以下第２位で四捨五入したものです。そのため，単数回答（複数の選択肢から１つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が 100.0%にならない場合があります。このことは，本報告書内の分析文，グラフ，表においても反映しています。
●複数回答（複数の選択肢から２つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合，回答は選択肢ごとの有効回答数に対して，それぞれの割合を示しています。そのため，合計が 100.0%を超える場合があります。
●図表中において「不明・無回答」とあるものは，回答が示されていない，または回答の判別が困難なものです。
●図表中の「N（number of case)」は，集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
●本文中の設問の選択肢について，長い文は簡略化している場合があります。
●設問によっては，結果を詳細に分析するため，クロス集計表を掲載しています。

Ⅱ．調査結果

１　お子さまと保護者の方の現在の状況について

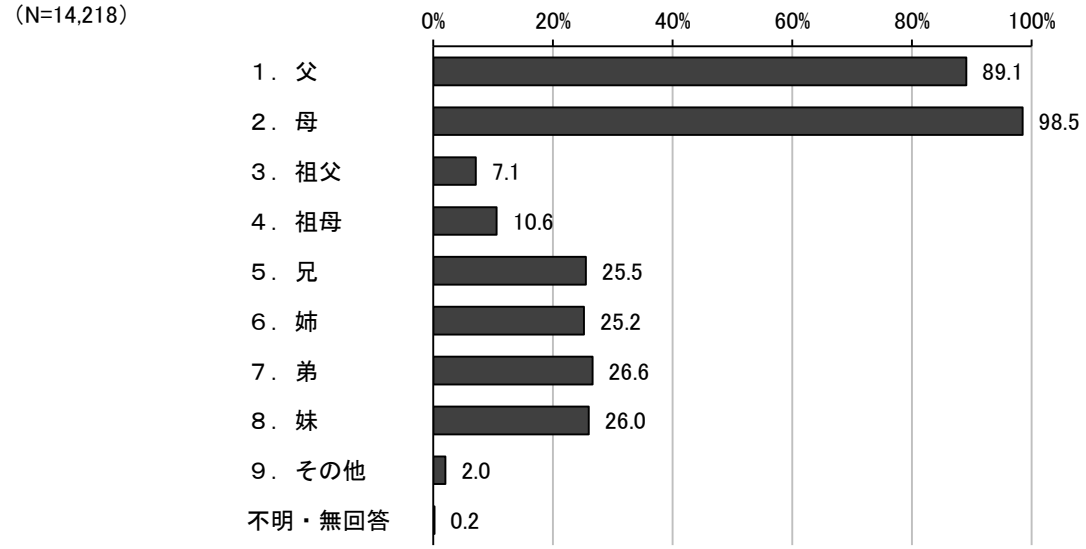
◎　お子さまの学年をご記入ください。

「１．１年生」が 35.7%と最も高く，次いで「２．４年生」が 32.1%，「３．６年生」が 30.8%となっています。

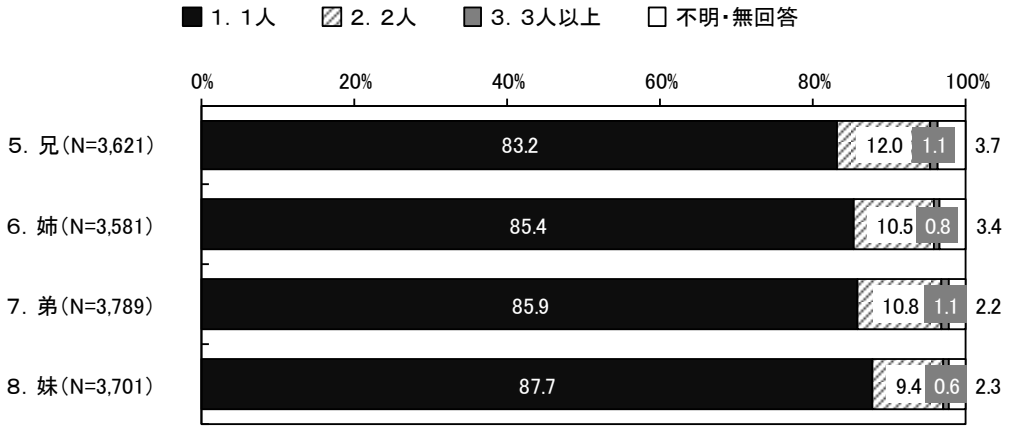


問１－１　お子さまと同居しているご家族についてお答えください。（続柄はお子さまからみた関係）（○はいくつでも）※「５～８」については人数もご記入ください。

「２．母」が 98.5%と最も高く，次いで「１．父」が 89.1%，「７．弟」が 26.6%となっています。兄弟姉妹の人数は，すべての項目で「１．１人」が最も高くなっています。

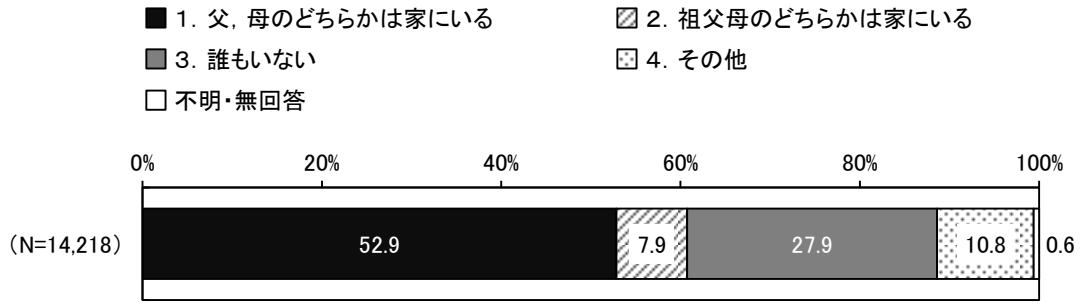


◆兄弟姉妹の人数



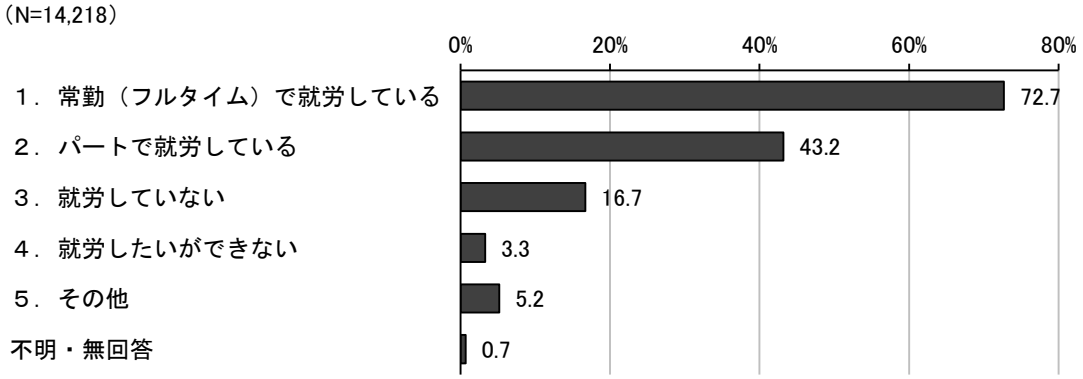
問１－２　お子さまの放課後に，どなたか家にいらっしゃいますか。（○は１つ）

「１．父，母のどちらかは家にいる」が 52.9％と最も高く，次いで「３．誰もいない」が 27.9％，「４．その他」が 10.8％となっています。



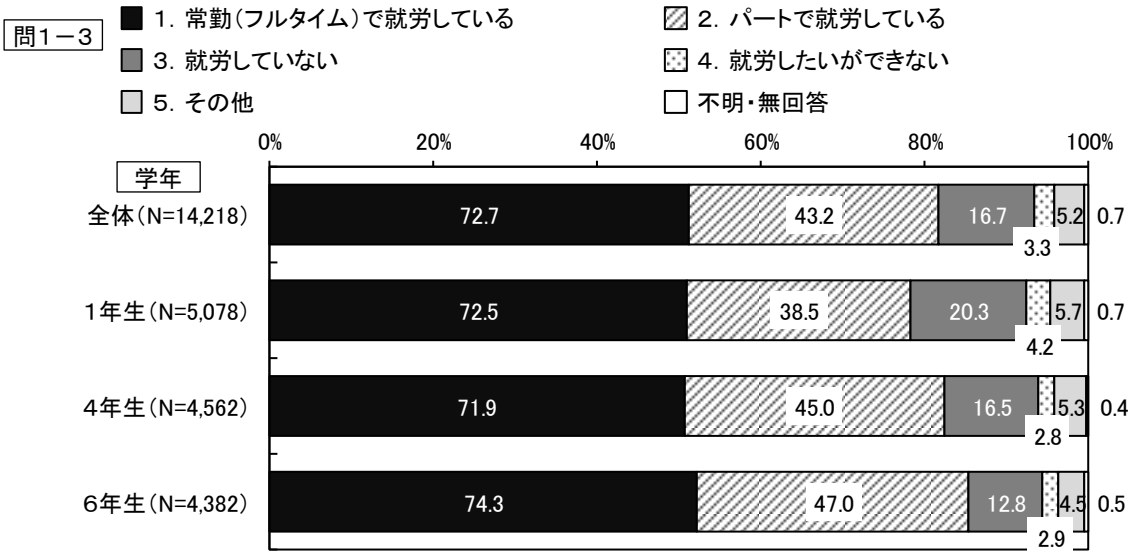
問１－３　保護者の方の就労状況についてお聞きします。（○はいくつでも）

「１．常勤（フルタイム）で就労している」が 72.7％と最も高く，次いで「２．パートで就労している」が 43.2％，「３．就労していない」が 16.7％となっています。



≪問１－３×学年別≫

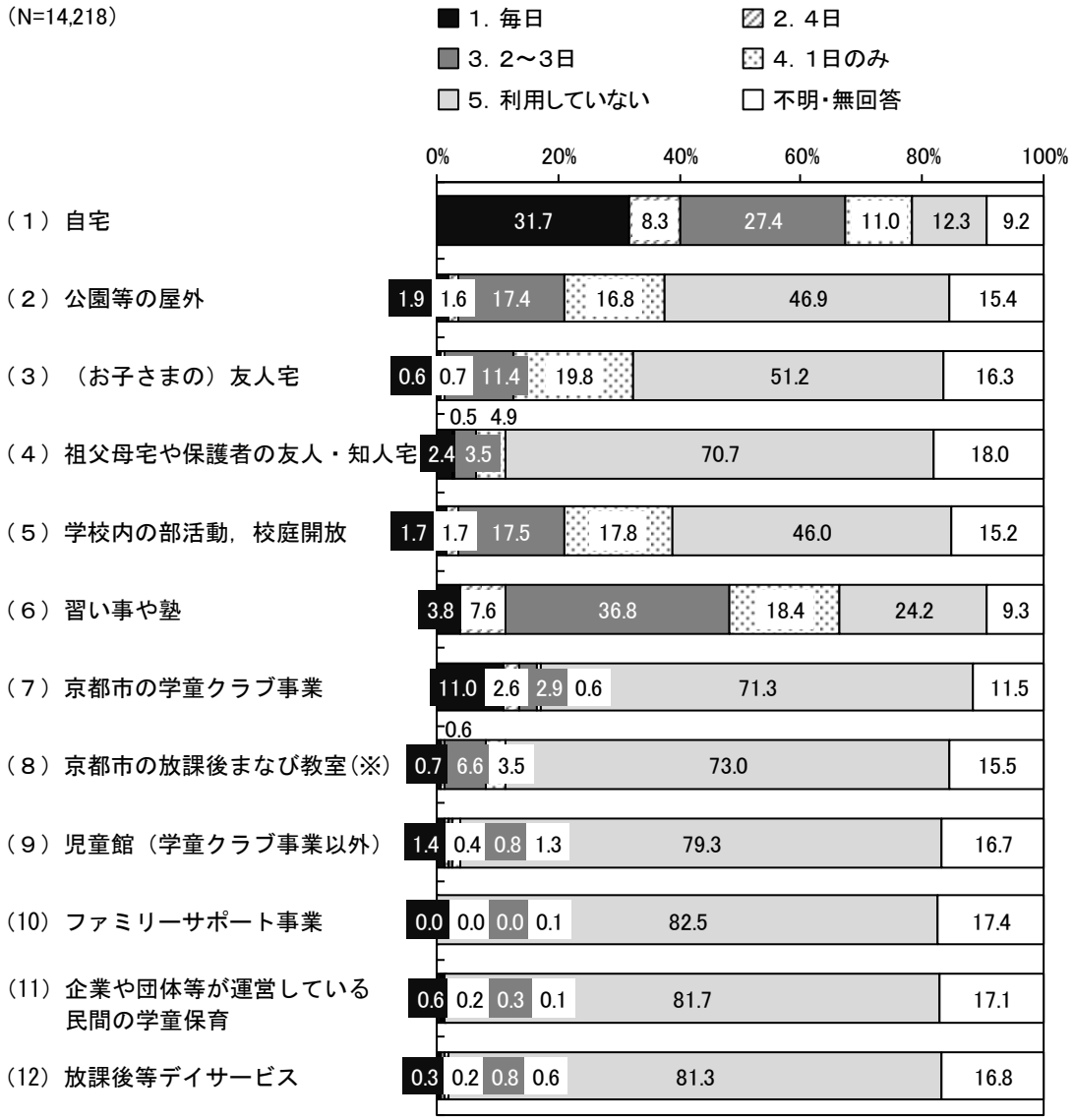
学年が上がるほど，「２．パートで就労している」の割合が高くなり，「３．就労していない」の割合が低くなる傾向がみられます。



問２－１　お子さまは毎週の平日の放課後の時間をどのような場所で過ごしていますか。お子さまご本人にも聞きながら，（１）～（14）のそれぞれの項目についてお答えください。（○はそれぞれ１つずつ）

『１．毎日』は，「（１）自宅」が 31.7％と最も高く，次いで「（７）京都市の学童クラブ事業」が 11.0％となっています。

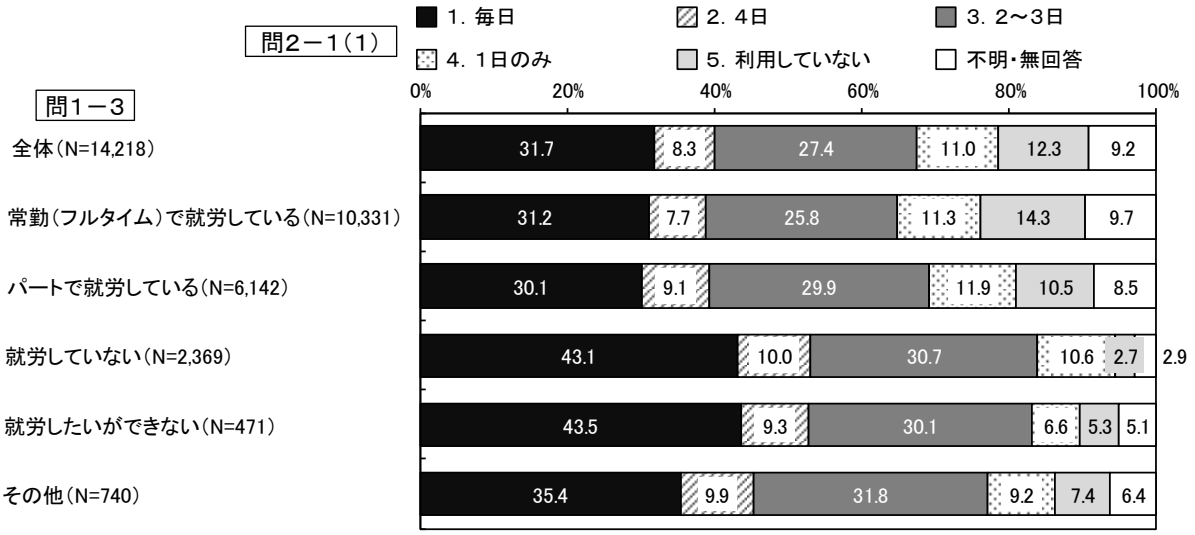
「（６）習い事や塾」に通っている頻度は，『３．２～３日』が 36.8％と最も高い割合を占めています。



※本調査では学童クラブ事業に，放課後ほっと広場の学童クラブ機能（ゆうゆうクラブ）を含みます。

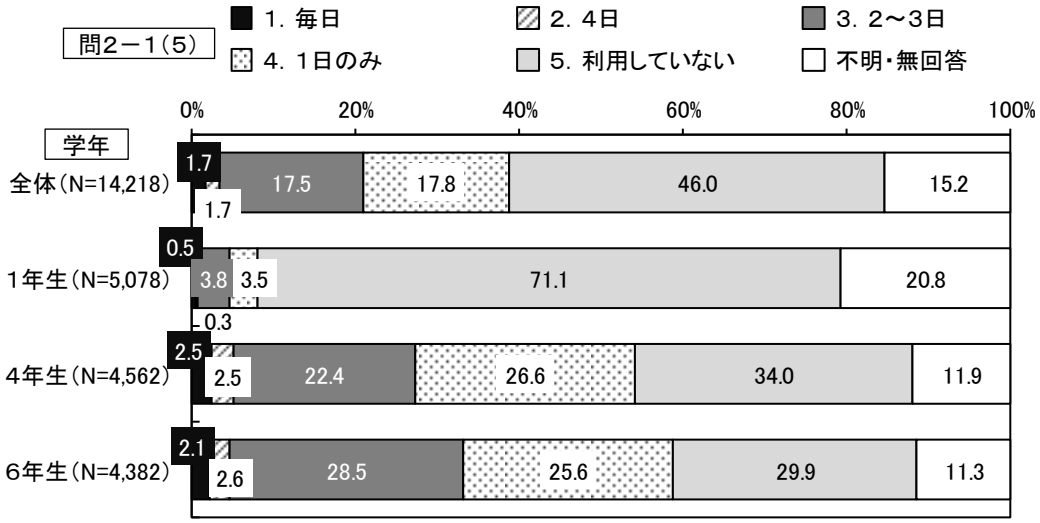
≪問２－１（１）自宅×問１－３保護者の就労状況別≫

保護者の就労状況について『就労していない』『就労したいができない』の区分では，他の区分に比べて，毎日を自宅で過ごす割合が高くなっています。



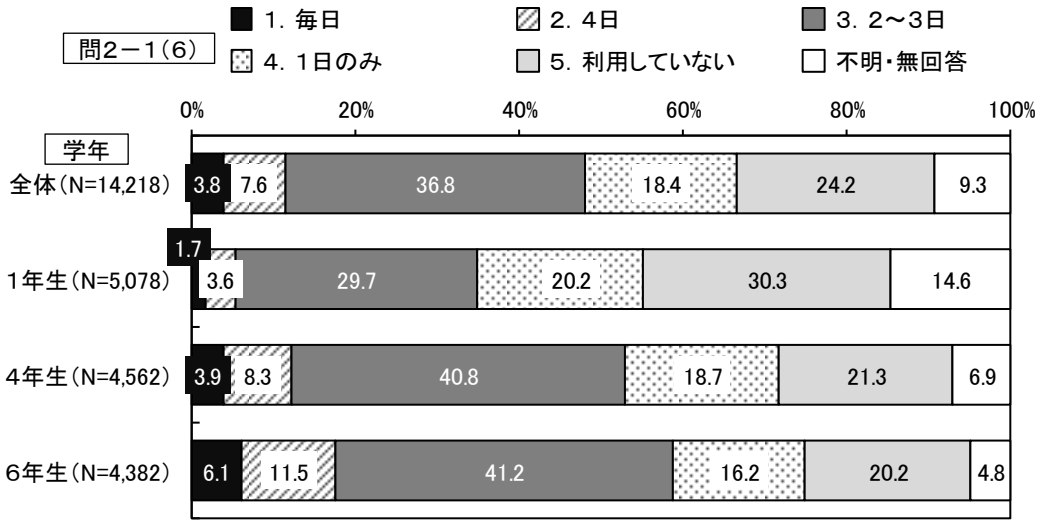
≪問２－１（５）学校内の部活動，校庭開放×学年別≫

学年が上がるほど，「５．利用していない」の割合が低くなり，それ以外の項目が高くなる傾向がみられます。



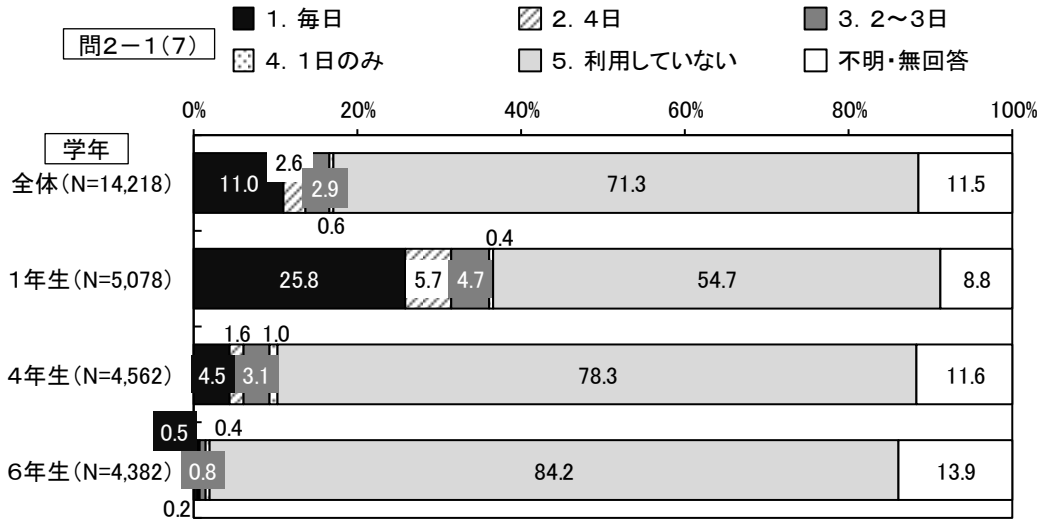
≪問２－１（６）習い事や塾×学年別≫

学年が上がるほど，「１．毎日」「２．４日」「３．２～３日」の割合が高くなり，「４．１日のみ」「５．利用していない」の割合が低くなる傾向がみられます。



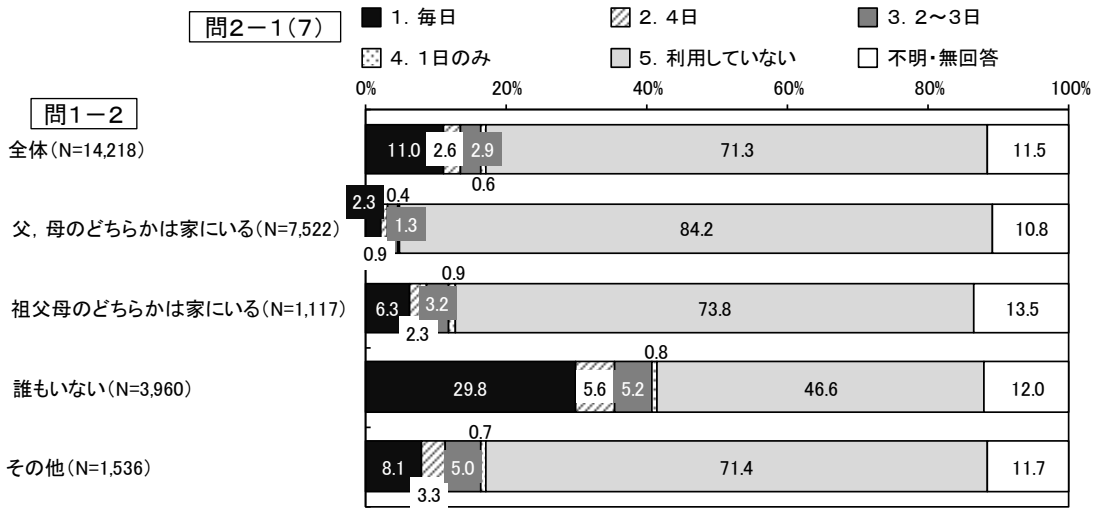
≪問２－１（７）京都市の学童クラブ事業×学年別≫

学年が上がるほど，「１．毎日」の割合が低くなり，「５．利用していない」の割合が高くなる傾向がみられます。



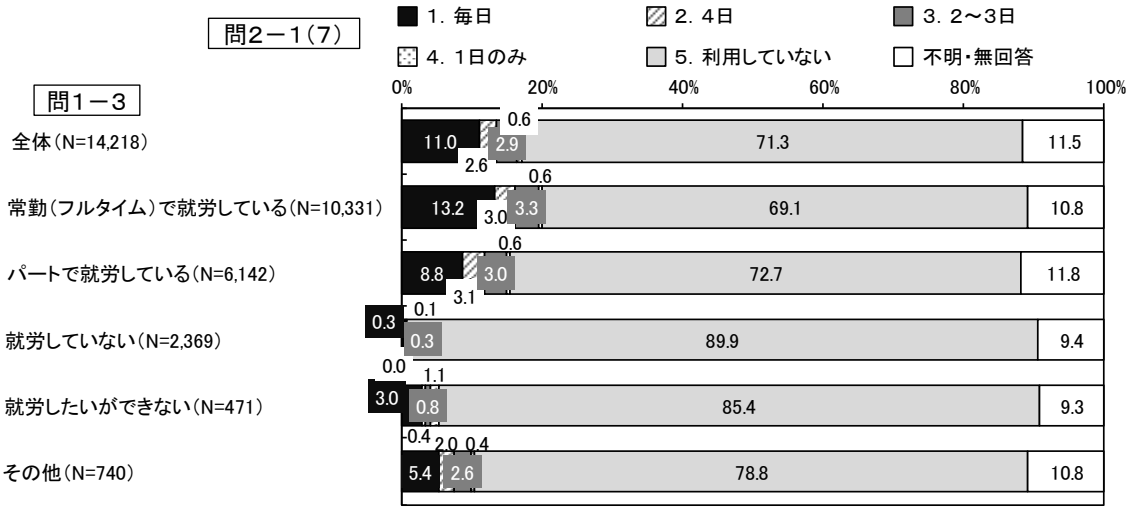
≪問２－１（７）京都市の学童クラブ事業×問１－２放課後の家族の在宅状況別≫

『誰もいない』では，「１．毎日」の割合が他の区分に比べて高くなっています。



≪問２－１（７）京都市の学童クラブ事業×問１－３保護者の就労状況別≫

『常勤（フルタイム）で就労している』『パートで就労している』では，「１．毎日」の割合が他の区分に比べて高くなっています。



≪問２－１（７）京都市の学童クラブ事業×問２－１（８）京都市の放課後まなび教室の利用頻度別≫

京都市の放課後まなび教室の利用頻度が上がるほど，京都市の学童クラブ事業を「利用していない」割合が低くなる傾向がみられます。

上段:件数 下段:%		合計	毎日	4日	2～3日	1日のみ	利用していない	不明・無回答
全 体		14,218	1,563	371	419	85	10,141	1,639
		100.0	11.0	2.6	2.9	0.6	71.3	11.5
京都市の放課後まなび教室の利用頻度別	毎日	102	23	0	2	0	53	24
		100.0	22.5	0.0	2.0	0.0	52.0	23.5
	4日	88	3	1	1	1	70	12
		100.0	3.4	1.1	1.1	1.1	79.5	13.6
	2～3日	945	46	9	20	8	764	98
		100.0	4.9	1.0	2.1	0.8	80.8	10.4
	1日のみ	499	27	9	18	10	402	33
		100.0	5.4	1.8	3.6	2.0	80.6	6.6
	利用していない	10,381	946	255	294	61	8,801	24
		100.0	9.1	2.5	2.8	0.6	84.8	0.2

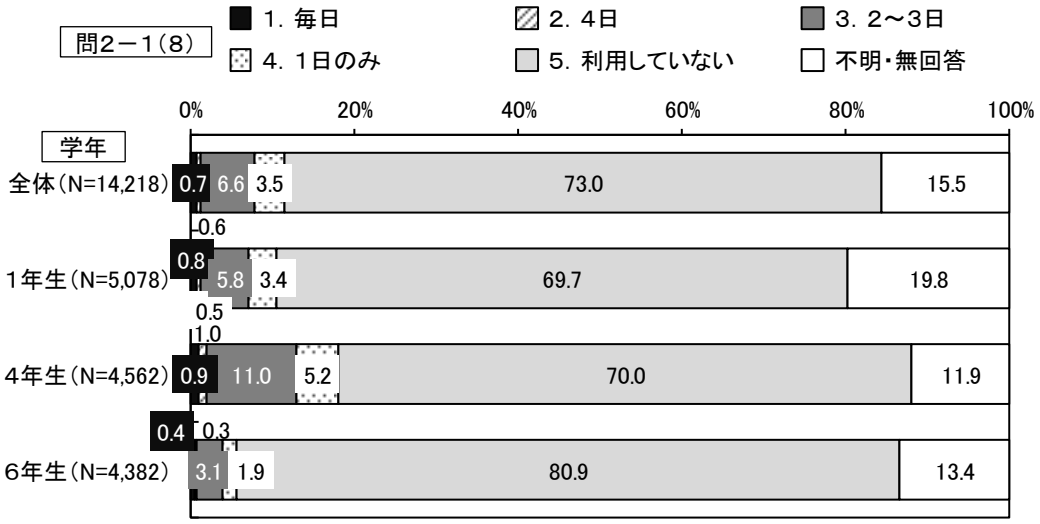
≪問２－１（７）京都市の学童クラブ事業×問２－１（12）放課後等デイサービスの利用頻度別≫

両方を利用している方については，京都市の学童クラブ事業を２～３日利用し，放課後等デイサービスも２～３日利用している割合が最も高くなっている。

上段:件数 下段:%		合計	毎日	4日	2～3日	1日のみ	利用していない	不明・無回答
全 体		14,218	1,563	371	419	85	10,141	1,639
		100.0	11.0	2.6	2.9	0.6	71.3	11.5
放課後等デイサービスの利用頻度別	毎日	48	1	1	0	0	23	23
		100.0	2.1	2.1	0.0	0.0	47.9	47.9
	4日	33	0	0	0	1	24	8
		100.0	0.0	0.0	0.0	3.0	72.7	24.2
	2～3日	109	2	4	13	0	65	25
		100.0	1.8	3.7	11.9	0.0	59.6	22.9
	1日のみ	84	6	7	3	1	53	14
		100.0	7.1	8.3	3.6	1.2	63.1	16.7
	利用していない	11,553	1,014	262	312	77	9,829	59
		100.0	8.8	2.3	2.7	0.7	85.1	0.5

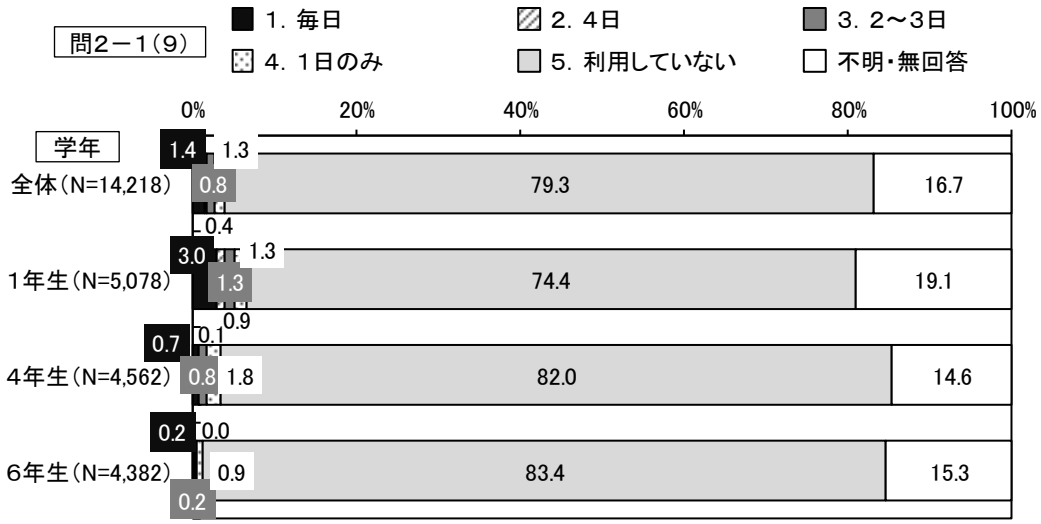
≪問２－１（８）京都市の放課後まなび教室×学年別≫

利用している割合は４年生が最も高くなっています。



≪問２－１（９）児童館（学童クラブ事業以外）×学年別≫

学年が上がるほど,「５．利用していない」の割合が高くなる傾向がみられます。



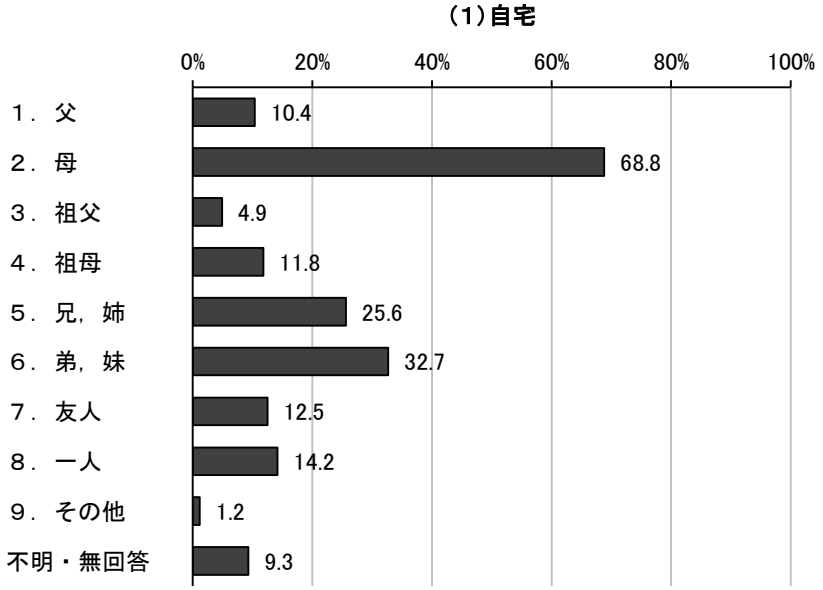
問２－１の項目（１）（２）で「５．利用していない」以外を選んだ方

問２－２　問２－１の項目（１）（２）において，それぞれどなたと過ごすことが多いですか。（○はそれぞれいくつでも）

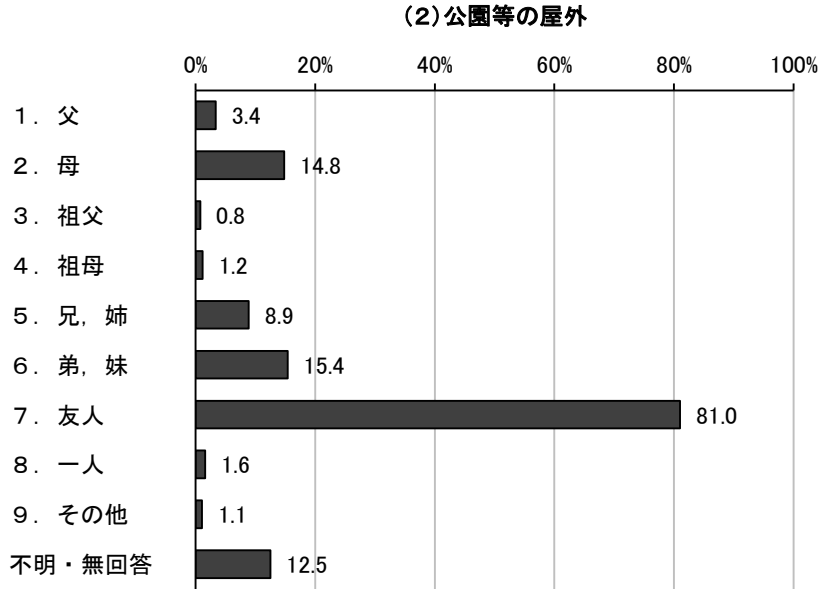
『（１）自宅』は，「２．母」が 68.8％と最も高くなっています。

『（２）公園等の屋外』は，「７．友人」が 81.0％と最も高く，次いで「６．弟，妹」が 15.4％，「２．母」が 14.8％となっています。

（N=11,164）



（N=5,366）



≪問２－２（２）公園ではどなたと過ごすことが多いですか×学年別≫

学年が上がるほど，「友人」の割合が高くなる傾向がみられます。また，『１年生』では「母」「兄，姉」「弟，妹」の割合が他の区分と比べて特に高くなっています。

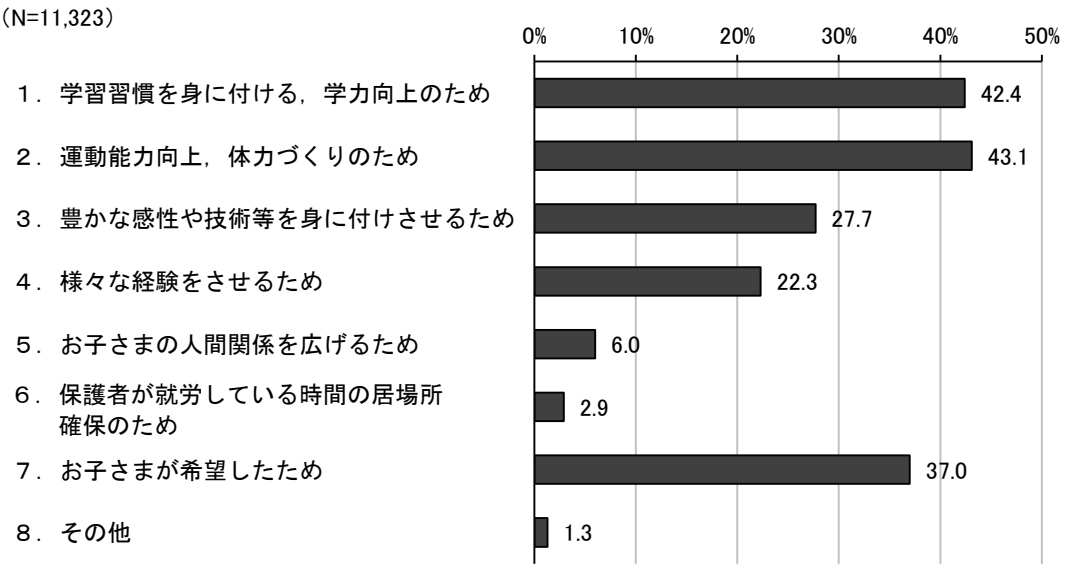
上段:件数 下段:%		合計	父	母	祖父	祖母	兄，姉
全 体		5,366	184	793	43	64	480
		100.0	3.4	14.8	0.8	1.2	8.9
学年別	1年生	1,619	127	653	30	49	355
		100.0	7.8	40.3	1.9	3.0	21.9
	4年生	1,971	39	94	8	10	87
		100.0	2.0	4.8	0.4	0.5	4.4
	6年生	1,713	18	39	5	5	35
		100.0	1.1	2.3	0.3	0.3	2.0

上段:件数 下段:%		合計	弟，妹	友人	一人	その他	不明・無回答
全 体		5,366	827	4,347	85	61	670
		100.0	15.4	81.0	1.6	1.1	12.5
学年別	1年生	1,619	412	1,173	31	26	179
		100.0	25.4	72.5	1.9	1.6	11.1
	4年生	1,971	252	1,671	23	17	258
		100.0	12.8	84.8	1.2	0.9	13.1
	6年生	1,713	150	1,455	30	18	221
		100.0	8.8	84.9	1.8	1.1	12.9

お子さまを習い事（サッカークラブ，ピアノ教室等）や塾に通わせている方

問３　習い事や塾に通わせている理由をお答えください。（○は２つまで）

「２．運動能力向上，体力づくりのため」が 43.1%と最も高く，次いで「１．学習習慣を身に付ける，学力向上のため」が 42.4%，「７．お子さまが希望したため」が 37.0%となっています。



※不明・無回答除く

≪問３×学年別≫

『１年生』『４年生』では「運動能力向上，体力づくりのため」，『６年生』では「学習習慣を身に付ける，学力向上のため」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	学習習慣を身に付ける，学力向上のため	運動能力向上，体力づくりのため	豊かな感性や技術等を身に付けさせるため	様々な経験をさせるため	お子さまの人間関係を広げるため
全　体		14,218	4,797	4,884	3,138	2,520	676
		100.0	33.7	34.4	22.1	17.7	4.8
学年別	1年生	5,078	1,101	2,058	1,162	1,014	234
		100.0	21.7	40.5	22.9	20.0	4.6
	4年生	4,562	1,629	1,656	1,040	824	248
		100.0	35.7	36.3	22.8	18.1	5.4
	6年生	4,382	2,005	1,102	890	646	185
		100.0	45.8	25.1	20.3	14.7	4.2

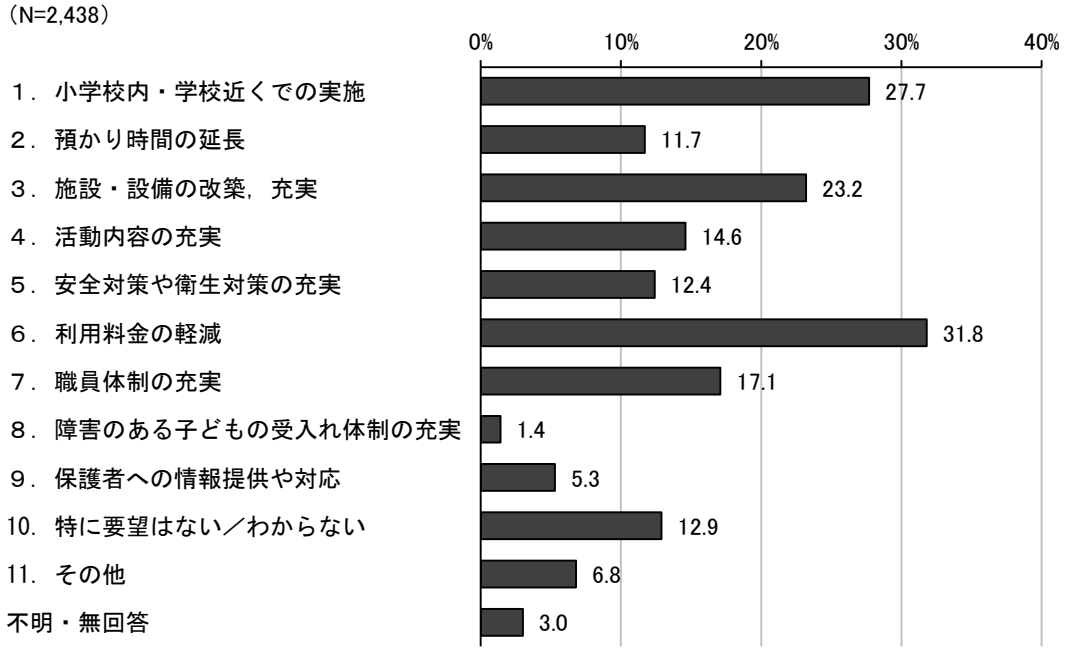
上段:件数 下段:%		合計	保護者が就労している時間の居場所確保のため	お子さまが希望したため	その他	不明・無回答
全　体		14,218	332	4,194	150	2,895
		100.0	2.3	29.5	1.1	20.4
学年別	1年生	5,078	54	1,277	42	1,330
		100.0	1.1	25.1	0.8	26.2
	4年生	4,562	149	1,441	33	785
		100.0	3.3	31.6	0.7	17.2
	6年生	4,382	124	1,425	74	737
		100.0	2.8	32.5	1.7	16.8

２　京都市の学童クラブ事業について

学童クラブ事業を現在利用している方

問４－１　利用している京都市の学童クラブ事業に対する要望をお答えください。（○は２つまで）

「６．利用料金の軽減」が 31.8%と最も高く，次いで「１．小学校内・学校近くでの実施」が 27.7%，「３．施設・設備の改築，充実」が 23.2%となっています。



≪問４－１×学年別≫

『１年生』では「利用料金の軽減」，『４年生』では「小学校内・学校近くでの実施」，『６年生』では「施設・設備の改築，充実」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	小学校内・学校近くでの実施	預かり時間の延長	施設・設備の改築，充実	活動内容の充実	安全対策や衛生対策の充実	利用料金の軽減
全　体		2,438	676	286	565	357	302	775
		100.0	27.7	11.7	23.2	14.6	12.4	31.8
学年別	1年生	1,856	519	217	422	289	243	631
		100.0	28.0	11.7	22.7	15.6	13.1	34.0
	4年生	465	131	53	118	58	49	115
		100.0	28.2	11.4	25.4	12.5	10.5	24.7
	6年生	84	12	10	16	7	6	13
		100.0	14.3	11.9	19.0	8.3	7.1	15.5

上段:件数 下段:%		合計	職員体制の充実	障害のある子どもの受入れ体制の充実	保護者への情報提供や対応	特に要望はない／わからない	その他	不明・無回答
全　体		2,438	416	35	129	315	166	74
		100.0	17.1	1.4	5.3	12.9	6.8	3.0
学年別	1年生	1,856	324	25	112	232	133	25
		100.0	17.5	1.3	6.0	12.5	7.2	1.3
	4年生	465	74	5	14	70	24	24
		100.0	15.9	1.1	3.0	15.1	5.2	5.2
	6年生	84	13	3	1	13	6	24
		100.0	15.5	3.6	1.2	15.5	7.1	28.6

≪問４－１×問２－１（７）京都市の学童クラブ事業の利用頻度別≫

『毎日』『２～３日』では「利用料金の軽減」,『４日』『１日のみ』では「小学校内・学校近くでの実施」の割合が最も高くなっています。

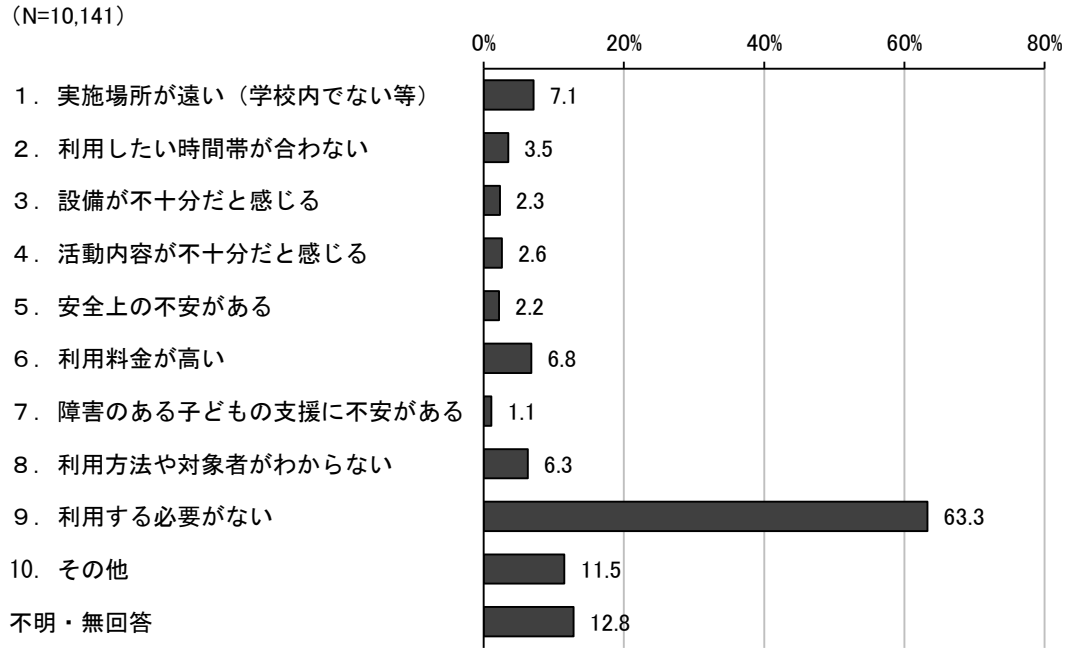
上段:件数 下段:%		合計	小学校内・学校近くでの実施	預かり時間の延長	施設・設備の改築，充実	活動内容の充実	安全対策や衛生対策の充実	利用料金の軽減
全 体		2,438	676	286	565	357	302	775
		100.0	27.7	11.7	23.2	14.6	12.4	31.8
京都市の学童クラブ事業の利用頻度別	毎日	1,563	417	206	367	230	217	514
		100.0	26.7	13.2	23.5	14.7	13.9	32.9
	４日	371	129	27	83	58	42	121
		100.0	34.8	7.3	22.4	15.6	11.3	32.6
	２～３日	419	116	50	106	62	37	127
		100.0	27.7	11.9	25.3	14.8	8.8	30.3
	１日のみ	85	14	3	9	7	6	13
		100.0	16.5	3.5	10.6	8.2	7.1	15.3

上段:件数 下段:%		合計	職員体制の充実	障害のある子どもの受入れ体制の充実	保護者への情報提供や対応	特に要望はない／わからない	その他	不明・無回答
全 体		2,438	416	35	129	315	166	74
		100.0	17.1	1.4	5.3	12.9	6.8	3.0
京都市の学童クラブ事業の利用頻度別	毎日	1,563	272	23	91	208	103	18
		100.0	17.4	1.5	5.8	13.3	6.6	1.2
	４日	371	51	5	14	48	30	6
		100.0	13.7	1.3	3.8	12.9	8.1	1.6
	２～３日	419	84	6	19	49	28	16
		100.0	20.0	1.4	4.5	11.7	6.7	3.8
	１日のみ	85	9	1	5	10	5	34
		100.0	10.6	1.2	5.9	11.8	5.9	40.0

学童クラブ事業を現在利用していない方

問４－２　京都市の学童クラブ事業を利用していない理由をお答えください。（○は２つまで）

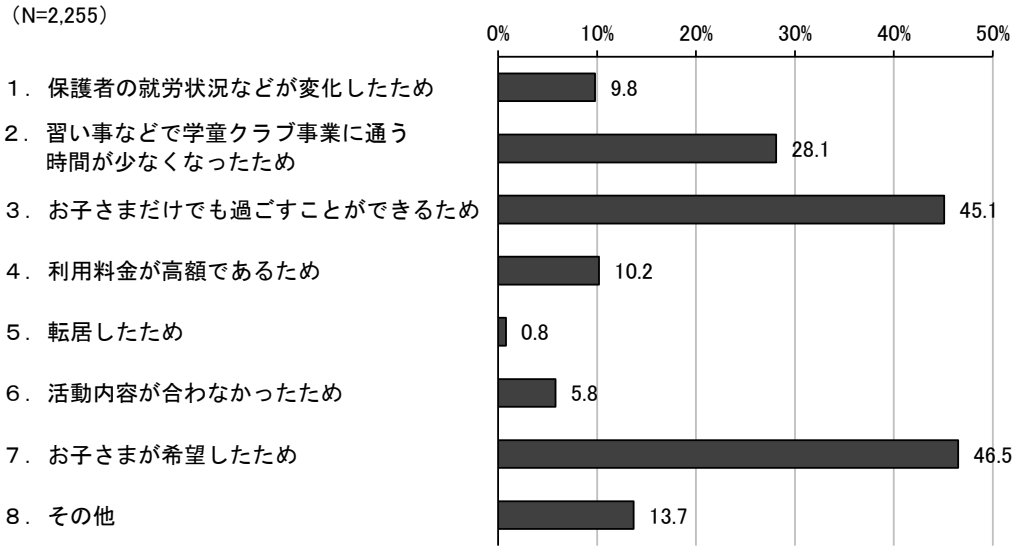
「９．利用する必要がない」が 63.3%と最も高く，次いで「10．その他」が 11.5%,「１．実施場所が遠い（学校内でない等)」が 7.1%となっています。



学童クラブ事業を以前利用していたが退会した方

問４－３　京都市の学童クラブ事業を退会した理由をお答えください。（○は２つまで）

「７．お子さまが希望したため」が 46.5%と最も高く，次いで「３．お子さまだけでも過ごすことができるため」が 45.1%，「２．習い事などで学童クラブ事業に通う時間が少なくなったため」が 28.1%となっています。



※不明・無回答除く

≪問４－３×学年別≫

『１年生』『４年生』では「お子さまが希望したため」，『６年生』では「お子さまだけでも過ごすことができるため」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	保護者の就労状況などが変化したため	習い事などで学童クラブ事業に通う時間が少なくなったため	お子さまだけでも過ごすことができるため	利用料金が高額であるため
全　体		2,255	222	633	1,018	230
		100.0	9.8	28.1	45.1	10.2
学年別	1年生	92	23	14	10	28
		100.0	25.0	15.2	10.9	30.4
	4年生	1,022	110	294	444	120
		100.0	10.8	28.8	43.4	11.7
	6年生	1,117	89	316	554	80
		100.0	8.0	28.3	49.6	7.2

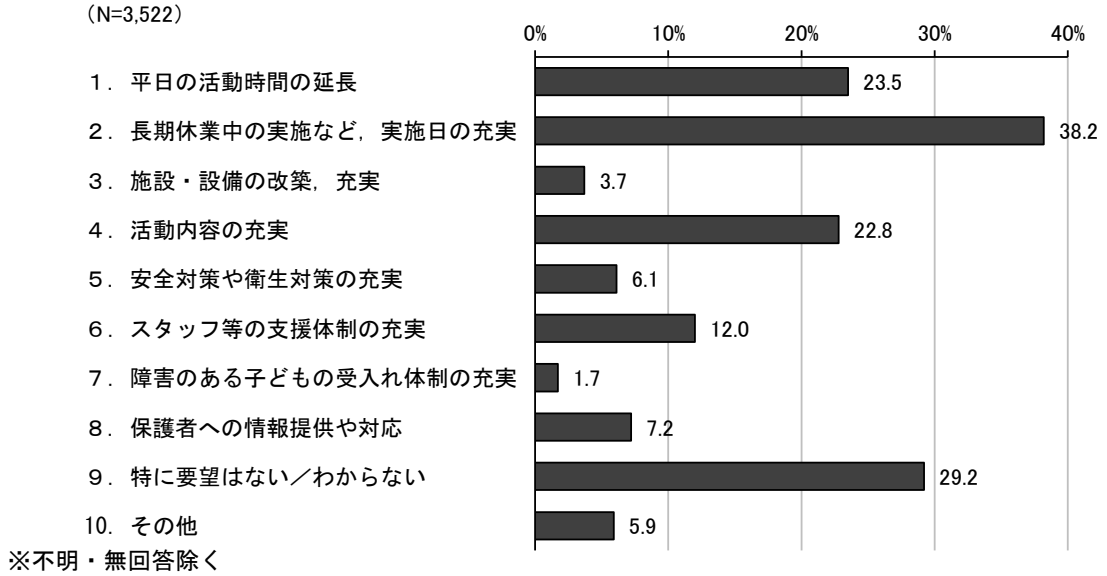
上段:件数 下段:%		合計	転居したため	活動内容が合わなかったため	お子さまが希望したため	その他
全　体		2,255	19	131	1,049	309
		100.0	0.8	5.8	46.5	13.7
学年別	1年生	92	0	9	36	20
		100.0	0.0	9.8	39.1	21.7
	4年生	1,022	7	59	485	152
		100.0	0.7	5.8	47.5	14.9
	6年生	1,117	11	63	518	135
		100.0	1.0	5.6	46.4	12.1

３　京都市の放課後まなび教室について

放課後まなび教室を現在利用している方，またはお子さまが１年生でこれから利用を考えている方

問５－１　利用している（または利用予定の）放課後まなび教室に対する要望をお答えください。（○は２つまで）

「２．長期休業中の実施など，実施日の充実」が 38.2%と最も高く，次いで「９．特に要望はない／わからない」が 29.2%，「１．平日の活動時間の延長」が 23.5%となっています。



≪問５－１×学年別≫

『１年生』『４年生』では「長期休業中の実施など，実施日の充実」，『６年生』では「特に要望はない／わからない」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	平日の活動時間の延長	長期休業中の実施など，実施日の充実	施設・設備の改築，充実	活動内容の充実	安全対策や衛生対策の充実
全　体		3,522	828	1,347	131	804	214
		100.0	23.5	38.2	3.7	22.8	6.1
学年別	1年生	2,069	542	803	90	537	169
		100.0	26.2	38.8	4.3	26.0	8.2
	4年生	1,005	196	415	27	203	26
		100.0	19.5	41.3	2.7	20.2	2.6
	6年生	387	75	114	11	49	13
		100.0	19.4	29.5	2.8	12.7	3.4

上段:件数 下段:%		合計	スタッフ等の支援体制の充実	障害のある子どもの受入れ体制の充実	保護者への情報提供や対応	特に要望はない／わからない	その他
全　体		3,522	421	60	253	1,027	209
		100.0	12.0	1.7	7.2	29.2	5.9
学年別	1年生	2,069	268	39	169	525	107
		100.0	13.0	1.9	8.2	25.4	5.2
	4年生	1,005	111	10	51	317	73
		100.0	11.0	1.0	5.1	31.5	7.3
	6年生	387	38	10	25	162	26
		100.0	9.8	2.6	6.5	41.9	6.7

≪問５－１×問２－１（７）京都市の学童クラブ事業の利用頻度別≫

すべての区分で「長期休業中の実施など，実施日の充実」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	平日の活動時間の延長	長期休業中の実施など，実施日の充実	施設･設備の改築，充実	活動内容の充実	安全対策や衛生対策の充実
全　体		3,522	828	1,347	131	804	214
		100.0	23.5	38.2	3.7	22.8	6.1
京都市の学童クラブ事業の利用頻度別	毎日	407	90	143	17	106	25
		100.0	22.1	35.1	4.2	26.0	6.1
	４日	90	32	34	2	25	4
		100.0	35.6	37.8	2.2	27.8	4.4
	２～３日	109	28	48	7	24	8
		100.0	25.7	44.0	6.4	22.0	7.3
	１日のみ	29	6	14	0	5	0
		100.0	20.7	48.3	0.0	17.2	0.0
	利用していない	2,483	573	974	87	561	164
		100.0	23.1	39.2	3.5	22.6	6.6

上段:件数 下段:%		合計	スタッフ等の支援体制の充実	障害のある子どもの受入れ体制の充実	保護者への情報提供や対応	特に要望はない／わからない	その他
全　体		3,522	421	60	253	1,027	209
		100.0	12.0	1.7	7.2	29.2	5.9
京都市の学童クラブ事業の利用頻度別	毎日	407	66	6	36	122	17
		100.0	16.2	1.5	8.8	30.0	4.2
	４日	90	8	1	5	21	7
		100.0	8.9	1.1	5.6	23.3	7.8
	２～３日	109	11	1	4	22	8
		100.0	10.1	0.9	3.7	20.2	7.3
	１日のみ	29	3	1	1	6	2
		100.0	10.3	3.4	3.4	20.7	6.9
	利用していない	2,483	295	42	179	722	149
		100.0	11.9	1.7	7.2	29.1	6.0

≪問５－１×問２－１（８）京都市の放課後まなび教室の利用頻度別≫

すべての区分で「長期休業中の実施など，実施日の充実」の割合が最も高くなっています。

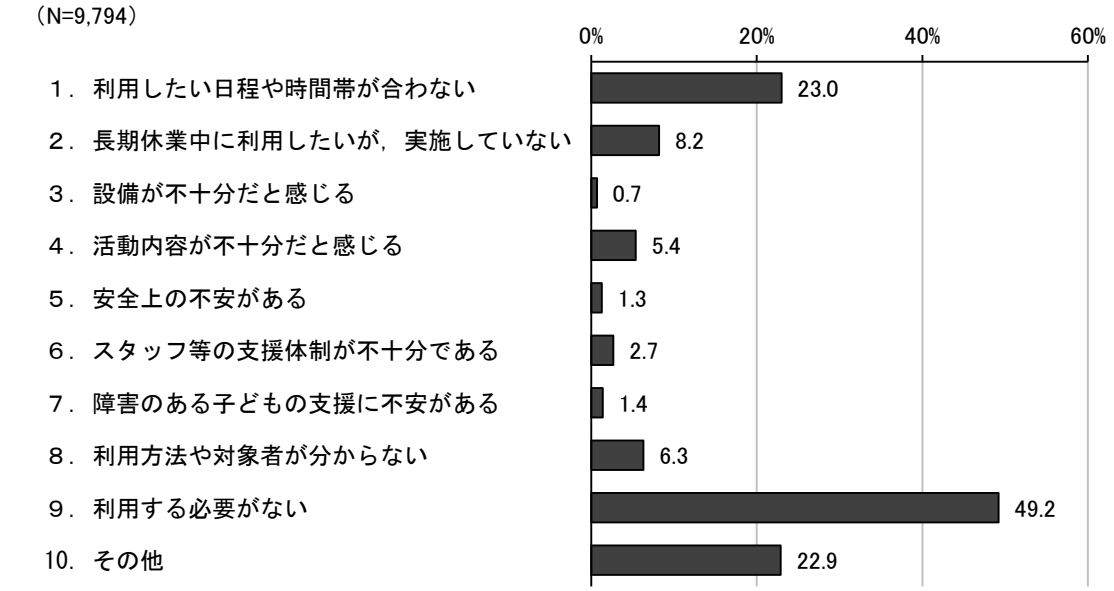
上段:件数 下段:%		合計	平日の活動時間の延長	長期休業中の実施など，実施日の充実	施設･設備の改築，充実	活動内容の充実	安全対策や衛生対策の充実
全　体		3,522	828	1,347	131	804	214
		100.0	23.5	38.2	3.7	22.8	6.1
京都市の放課後まなび教室の利用頻度別	毎日	91	21	37	2	15	4
		100.0	23.1	40.7	2.2	16.5	4.4
	4日	86	23	34	2	13	5
		100.0	26.7	39.5	2.3	15.1	5.8
	2～3日	920	222	412	32	182	40
		100.0	24.1	44.8	3.5	19.8	4.3
	1日のみ	487	94	177	19	114	18
		100.0	19.3	36.3	3.9	23.4	3.7
	利用していない	1,505	350	554	53	387	125
		100.0	23.3	36.8	3.5	25.7	8.3

上段:件数 下段:%		合計	スタッフ等の支援体制の充実	障害のある子どもの受入れ体制の充実	保護者への情報提供や対応	特に要望はない／わからない	その他
全　体		3,522	421	60	253	1,027	209
		100.0	12.0	1.7	7.2	29.2	5.9
京都市の放課後まなび教室の利用頻度別	毎日	91	7	0	3	31	6
		100.0	7.7	0.0	3.3	34.1	6.6
	4日	86	12	1	2	29	1
		100.0	14.0	1.2	2.3	33.7	1.2
	2～3日	920	106	7	57	260	50
		100.0	11.5	0.8	6.2	28.3	5.4
	1日のみ	487	53	7	41	145	31
		100.0	10.9	1.4	8.4	29.8	6.4
	利用していない	1,505	194	33	118	428	93
		100.0	12.9	2.2	7.8	28.4	6.2

放課後まなび教室を現在利用していない方，または利用を考えていない方

問５－２　放課後まなび教室を利用していない（または利用予定がない）理由をお答えください。（○は２つまで）

「９．利用する必要がない」が 49.2％と最も高く，次いで「１．利用したい日程や時間帯が合わない」が 23.0％，「10．その他」が 22.9％となっています。



※不明・無回答除く

≪問５－２×問２－１（７）京都市の学童クラブ事業の利用頻度別≫

京都市の学童クラブ事業の利用頻度が『毎日』『１日』『利用していない』では「利用する必要がない」,『４日』『２～３日』では「利用したい日程や時間帯が合わない」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	利用したい日程や時間帯が合わない	長期休業中に利用したいが，実施していない	設備が不十分だと感じる	活動内容が不十分だと感じる	安全上の不安がある
全　体		9,794	2,248	805	71	528	131
		100.0	23.0	8.2	0.7	5.4	1.3
京都市の学童クラブ事業の利用頻度別	毎日	910	235	103	3	50	16
		100.0	25.8	11.3	0.3	5.5	1.8
	４日	242	78	46	1	6	4
		100.0	32.2	19.0	0.4	2.5	1.7
	２～３日	261	109	48	1	15	2
		100.0	41.8	18.4	0.4	5.7	0.8
	１日のみ	47	11	4	1	3	0
		100.0	23.4	8.5	2.1	6.4	0.0
	利用していない	7,267	1,574	540	56	404	92
		100.0	21.7	7.4	0.8	5.6	1.3

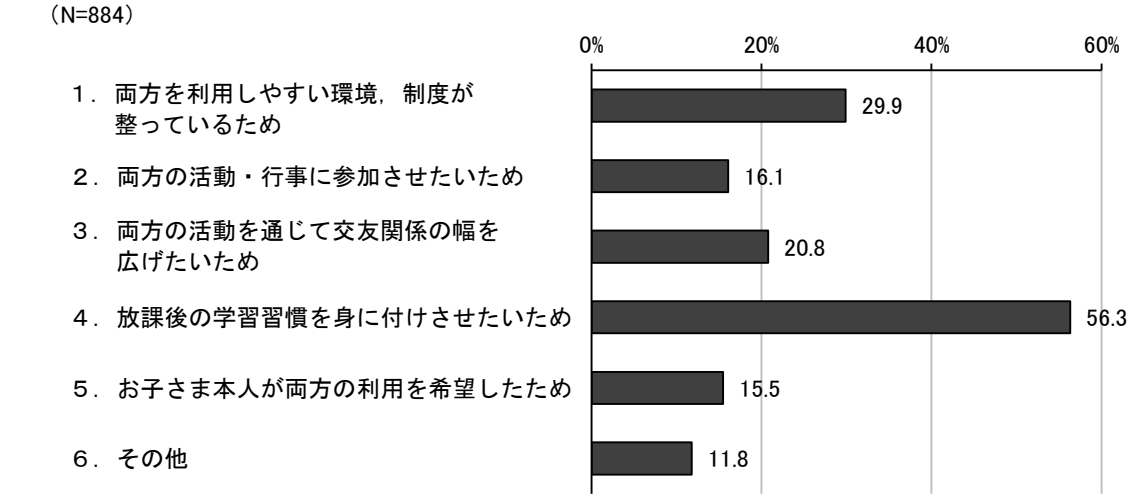
上段:件数 下段:%		合計	スタッフ等の支援体制が不十分である	障害のある子どもの支援に不安がある	利用方法や対象者が分からない	利用する必要がない	その他
全　体		9,794	262	140	619	4,814	2,247
		100.0	2.7	1.4	6.3	49.2	22.9
京都市の学童クラブ事業の利用頻度別	毎日	910	24	7	132	277	265
		100.0	2.6	0.8	14.5	30.4	29.1
	４日	242	6	6	23	75	64
		100.0	2.5	2.5	9.5	31.0	26.4
	２～３日	261	10	4	24	73	53
		100.0	3.8	1.5	9.2	28.0	20.3
	１日のみ	47	3	0	2	20	11
		100.0	6.4	0.0	4.3	42.6	23.4
	利用していない	7,267	187	100	375	3,839	1,610
		100.0	2.6	1.4	5.2	52.8	22.2

４　京都市の学童クラブ事業と放課後まなび教室について

京都市の学童クラブ事業と放課後まなび教室を両方利用している方（お子さまが１年生でこれから放課後まなび教室の利用を考えている方も含む。）

問６－１　京都市の学童クラブ事業と放課後まなび教室を両方利用している（または両方の利用を予定している）理由をお答えください。（○は２つまで）

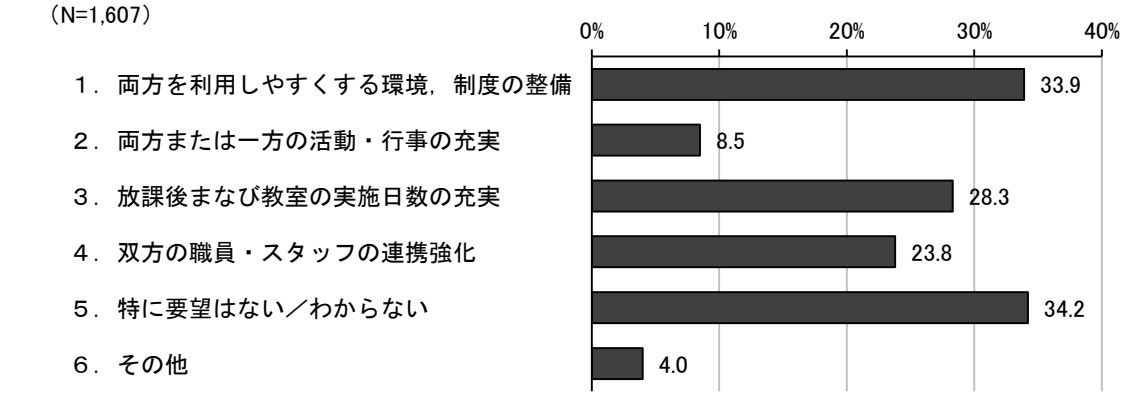
「４．放課後の学習習慣を身に付けさせたいため」が 56.3%と最も高く，次いで「１．両方を利用しやすい環境，制度が整っているため」が 29.9%，「３．両方の活動を通じて交友関係の幅を広げたいため」が 20.8%となっています。



※不明・無回答除く

問６－２　京都市の学童クラブ事業と放課後まなび教室を両方利用することにあたっての要望があればお答えください。（○は２つまで）

「５．特に要望はない／わからない」が 34.2%と最も高く，次いで「１．両方を利用しやすくする環境，制度の整備」が 33.9%，「３．放課後まなび教室の実施日数の充実」が 28.3%となっています。



※不明・無回答除く

≪問６－２×学年別≫

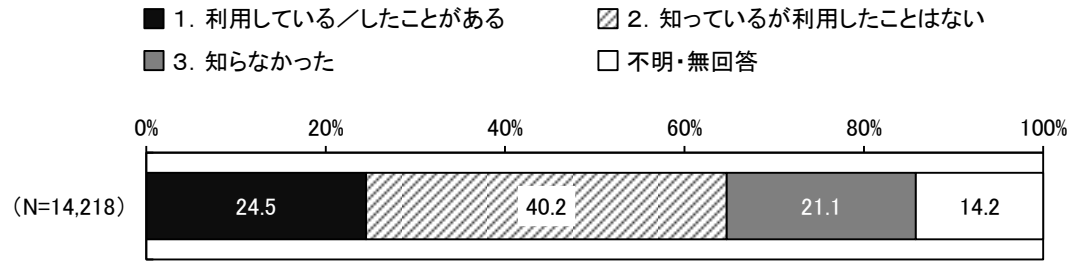
『１年生』では「両方を利用しやすくする環境，制度の整備」，『４年生』『６年生』では「特に要望はない／わからない」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	両方を利用しやすくする環境，制度の整備	両方または一方の活動・行事の充実	放課後まなび教室の実施日数の充実	双方の職員・スタッフの連携強化	特に要望はない／わからない	その他
全　体		1,607	545	136	454	382	550	64
		100.0	33.9	8.5	28.3	23.8	34.2	4.0
学年別	1年生	975	378	92	313	287	259	33
		100.0	38.8	9.4	32.1	29.4	26.6	3.4
	4年生	382	111	23	104	62	155	18
		100.0	29.1	6.0	27.2	16.2	40.6	4.7
	6年生	223	44	15	32	30	128	11
		100.0	19.7	6.7	14.3	13.5	57.4	4.9

５　児童館（学童クラブ事業以外での利用）について

問７－１　児童館において，学童クラブ事業以外に日常の自由遊びのためのスペース開放，将棋や卓球等のクラブ活動及び行事活動等，子どもを育成する活動を行っていることをご存知ですか。（○は１つ）

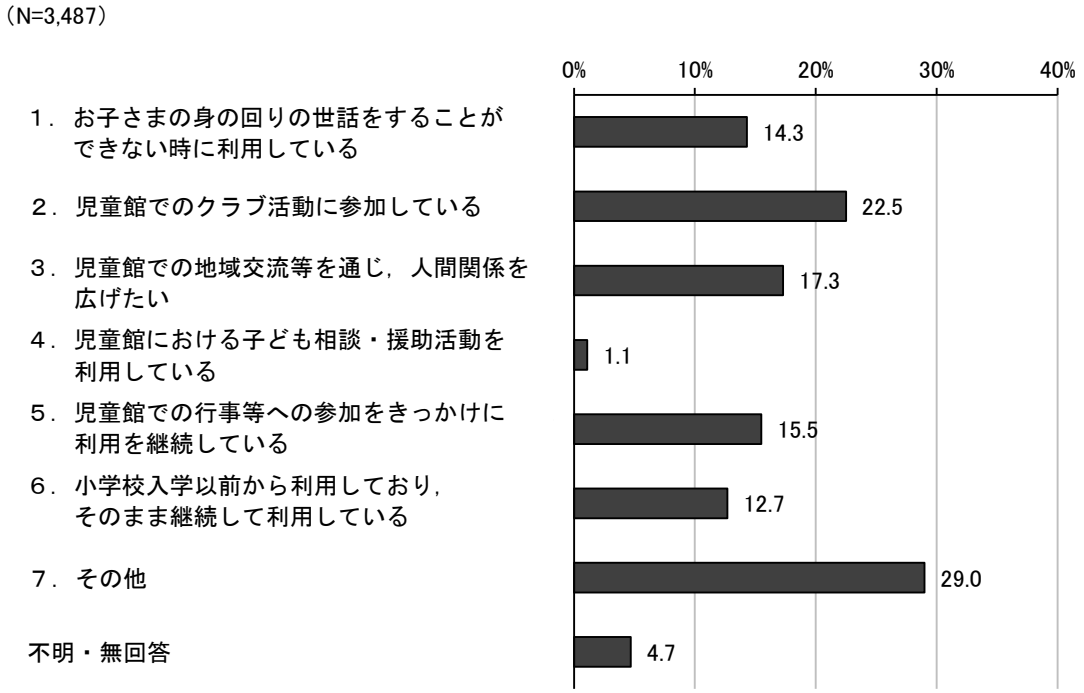
「２．知っているが利用したことはない」が 40.2%と最も高く，次いで「１．利用している／したことがある」が 24.5%，「３．知らなかった」が 21.1%となっています。



問７－１で「１．利用している／したことがある」を選んだ方

問７－２　児童館を利用している理由をお答えください。（○は２つまで）

「７．その他」が 29.0%と最も高く，次いで「２．児童館でのクラブ活動に参加している」が 22.5%，「３．児童館での地域交流等を通じ，人間関係を広げたい」が 17.3%となっています。



≪問７－２×学年別≫

『１年生』では「児童館でのクラブ活動に参加している」,『４年生』『６年生』では「その他」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	お子さまの身の回りの世話をすることができない時に利用している	児童館でのクラブ活動に参加している	児童館での地域交流等を通じ，人間関係を広げたい	児童館における子ども相談・援助活動を利用している
全　体		3,487	500	786	602	39
		100.0	14.3	22.5	17.3	1.1
学年別	1年生	1,106	207	278	222	19
		100.0	18.7	25.1	20.1	1.7
	4年生	1,206	155	279	193	8
		100.0	12.9	23.1	16.0	0.7
	6年生	1,112	129	217	176	11
		100.0	11.6	19.5	15.8	1.0

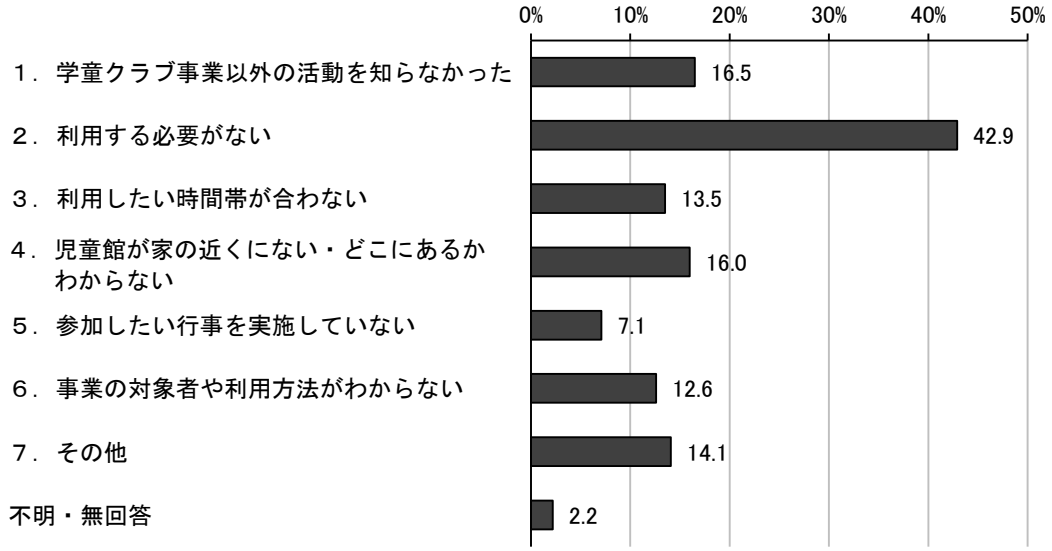
上段:件数 下段:%		合計	児童館での行事等への参加をきっかけに利用を継続している	小学校入学以前から利用しており（乳幼児クラブ等），そのまま継続して利用している	その他	不明・無回答
全　体		3,487	542	442	1,011	165
		100.0	15.5	12.7	29.0	4.7
学年別	1年生	1,106	142	217	216	42
		100.0	12.8	19.6	19.5	3.8
	4年生	1,206	209	128	363	63
		100.0	17.3	10.6	30.1	5.2
	6年生	1,112	179	93	416	53
		100.0	16.1	8.4	37.4	4.8

問７－１で「２．知っているが利用したことはない」または「３．知らなかった」を選んだ方

問７－３　児童館を利用していない理由をお答えください。（○は２つまで）

「２．利用する必要がない」が 42.9％と最も高く，次いで「１．学童クラブ事業以外の活動を知らなかった」が 16.5％，「４．児童館が家の近くにない・どこにあるかわからない」が 16.0％となっています。

（N=8,712）

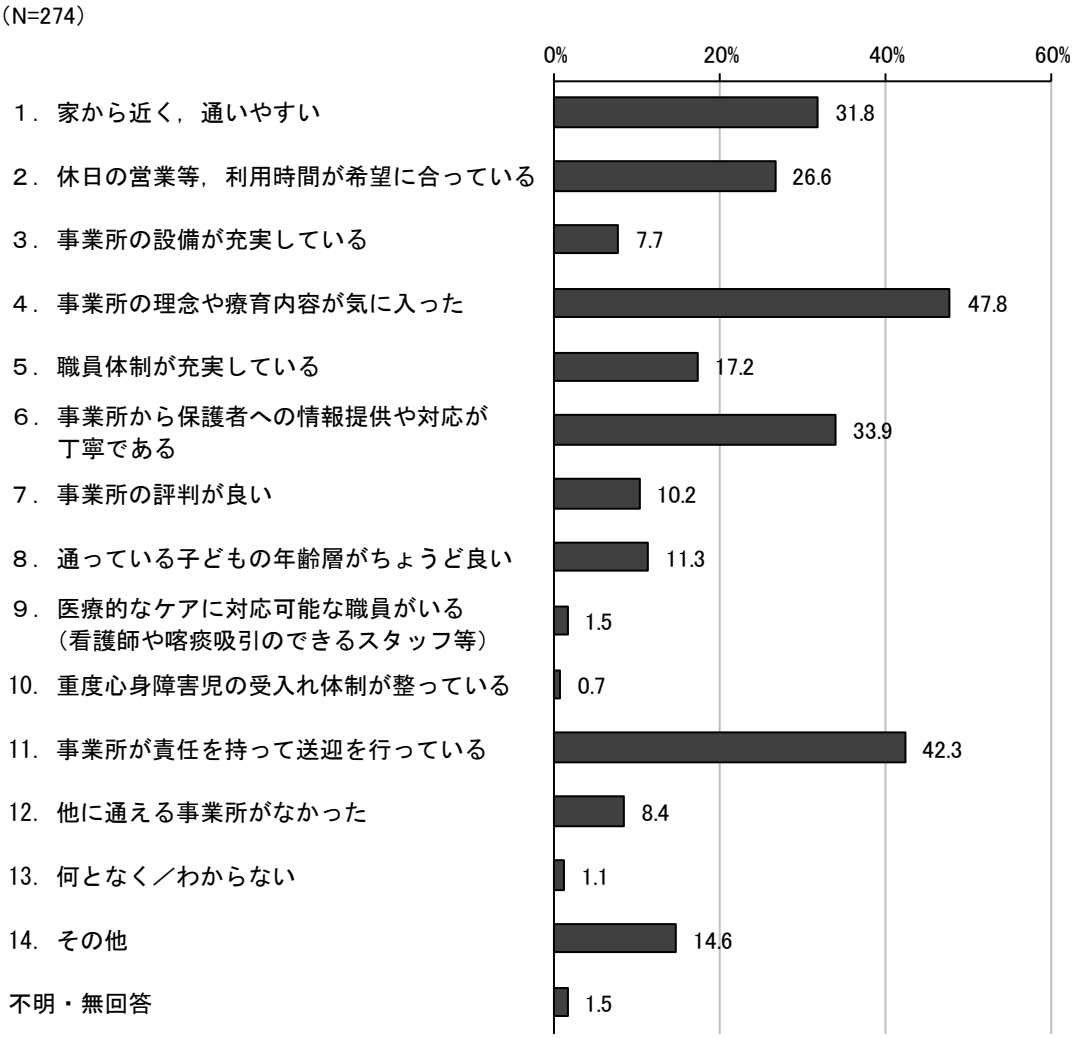


６　放課後等デイサービスについて

放課後等デイサービスを利用している方

問８－１　現在通っている事業所を選んだ理由をお答えください。（○は３つまで）

「４．事業所の理念や療育内容が気に入った」が 47.8%と最も高く，次いで「11．事業所が責任を持って送迎を行っている」が 42.3%,「６．事業所から保護者への情報提供や対応が丁寧である」が 33.9%となっています。



≪問８－１×問１－２放課後の家族の在宅状況別≫

『父，母のどちらかは家にいる』では，「事業所の理念や療育内容が気に入った」，『祖父母のどちらかは家にいる』『誰もいない』では「事業所が責任を持って送迎を行っている」，『その他』では「事業所から保護者への情報提供や対応が丁寧である」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	家から近く，通いやすい	休日の営業等，利用時間が希望に合っている	事業所の設備が充実している	事業所の理念や療育内容が気に入った	職員体制が充実している	事業所から保護者への情報提供や対応が丁寧である	事業所の評判が良い	通っている子どもの年齢層がちょうど良い
全 体		274	87	73	21	131	47	93	28	31
		100.0	31.8	26.6	7.7	47.8	17.2	33.9	10.2	11.3
放課後の家族の在宅状況別	父，母のどちらかは家にいる	142	39	31	9	79	28	49	16	17
		100.0	27.5	21.8	6.3	55.6	19.7	34.5	11.3	12.0
	祖父母のどちらかは家にいる	19	5	6	1	8	4	7	4	2
		100.0	26.3	31.6	5.3	42.1	21.1	36.8	21.1	10.5
	誰もいない	84	30	28	9	36	10	24	6	8
		100.0	35.7	33.3	10.7	42.9	11.9	28.6	7.1	9.5
	その他	25	11	7	2	8	5	12	2	4
		100.0	44.0	28.0	8.0	32.0	20.0	48.0	8.0	16.0

上段:件数 下段:%		合計	医療的なケアに対応可能な職員がいる（看護師や喀痰吸引のできるスタッフ等）	重度心身障害児の受入れ体制が整っている	事業所が責任を持って送迎を行っている	他に通える事業所がなかった	何となく／わからない	その他	不明・無回答
全 体		274	4	2	116	23	3	40	4
		100.0	1.5	0.7	42.3	8.4	1.1	14.6	1.5
放課後の家族の在宅状況別	父，母のどちらかは家にいる	142	2	2	54	8	1	17	3
		100.0	1.4	1.4	38.0	5.6	0.7	12.0	2.1
	祖父母のどちらかは家にいる	19	1	0	11	3	1	3	0
		100.0	5.3	0.0	57.9	15.8	5.3	15.8	0.0
	誰もいない	84	1	0	39	9	1	14	1
		100.0	1.2	0.0	46.4	10.7	1.2	16.7	1.2
	その他	25	0	0	10	3	0	4	0
		100.0	0.0	0.0	40.0	12.0	0.0	16.0	0.0

≪問８－１×問１－３保護者の就労状況別≫

『パートで就労している』『その他』では「事業所が責任を持って送迎を行っている」，それ以外では「事業所の理念や療育内容が気に入った」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	家から近く，通いやすい	休日の営業等，利用時間が希望に合っている	事業所の設備が充実している	事業所の理念や療育内容が気に入った	職員体制が充実している	事業所から保護者への情報提供や対応が丁寧である	事業所の評判が良い	通っている子どもの年齢層がちょうど良い
全 体		274	87	73	21	131	47	93	28	31
		100.0	31.8	26.6	7.7	47.8	17.2	33.9	10.2	11.3
保護者の就労状況別	常勤(フルタイム)で就労している	199	62	54	13	96	32	62	20	18
		100.0	31.2	27.1	6.5	48.2	16.1	31.2	10.1	9.0
	パートで就労している	122	38	43	13	56	20	49	11	13
		100.0	31.1	35.2	10.7	45.9	16.4	40.2	9.0	10.7
	就労していない	43	15	5	2	30	8	17	8	3
		100.0	34.9	11.6	4.7	69.8	18.6	39.5	18.6	7.0
	就労したいができない	26	8	4	1	14	4	7	3	4
		100.0	30.8	15.4	3.8	53.8	15.4	26.9	11.5	15.4
	その他	22	8	7	0	7	6	6	0	3
		100.0	36.4	31.8	0.0	31.8	27.3	27.3	0.0	13.6

上段:件数 下段:%		合計	医療的なケアに対応可能な職員がいる（看護師や喀痰吸引のできるスタッフ等）	重度心身障害児の受入れ体制が整っている	事業所が責任を持って送迎を行っている	他に通える事業所がなかった	何となく／わからない	その他	不明・無回答
全 体		274	4	2	116	23	3	40	4
		100.0	1.5	0.7	42.3	8.4	1.1	14.6	1.5
保護者の就労状況別	常勤(フルタイム)で就労している	199	3	2	86	17	3	35	3
		100.0	1.5	1.0	43.2	8.5	1.5	17.6	1.5
	パートで就労している	122	3	1	57	9	1	15	1
		100.0	2.5	0.8	46.7	7.4	0.8	12.3	0.8
	就労していない	43	0	0	9	1	1	5	0
		100.0	0.0	0.0	20.9	2.3	2.3	11.6	0.0
	就労したいができない	26	0	0	10	2	0	4	1
		100.0	0.0	0.0	38.5	7.7	0.0	15.4	3.8
	その他	22	0	0	9	3	0	4	1
		100.0	0.0	0.0	40.9	13.6	0.0	18.2	4.5

≪問８－１×問２－１（12）放課後等デイサービスの利用頻度別≫

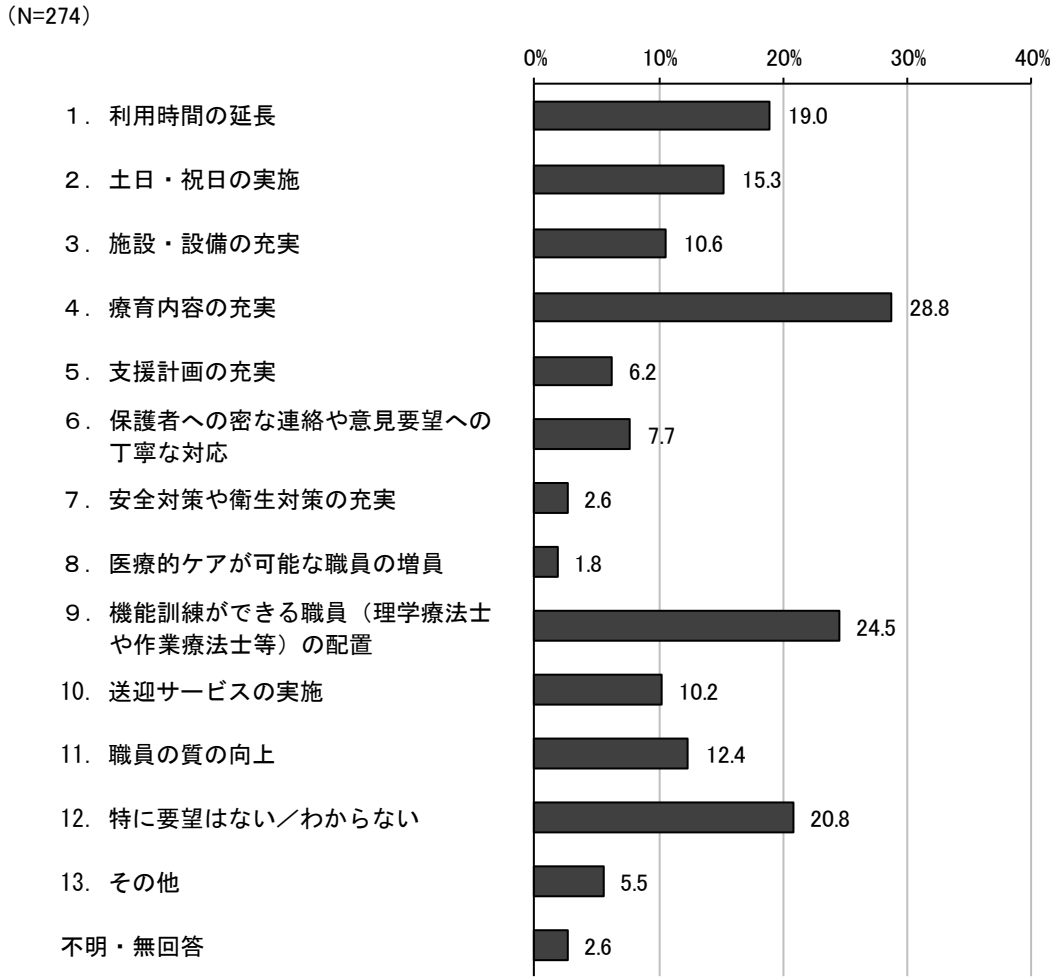
『毎日』『４日』では「事業所が責任を持って送迎を行っている」,『２～３日』『１日のみ』では「事業所の理念や療育内容が気に入った」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	家から近く,通いやすい	休日の営業等，利用時間が希望に合っている	事業所の設備が充実している	事業所の理念や療育内容が気に入った	職員体制が充実している	事業所から保護者への情報提供や対応が丁寧である	事業所の評判が良い	通っている子どもの年齢層がちょうど良い
全 体		274	87	73	21	131	47	93	28	31
		100.0	31.8	26.6	7.7	47.8	17.2	33.9	10.2	11.3
放課後等デイサービスの利用頻度別	毎日	48	14	20	2	22	10	18	4	6
		100.0	29.2	41.7	4.2	45.8	20.8	37.5	8.3	12.5
	４日	33	14	11	4	14	5	12	0	6
		100.0	42.4	33.3	12.1	42.4	15.2	36.4	0.0	18.2
	２～３日	109	36	29	12	53	17	41	15	11
		100.0	33.0	26.6	11.0	48.6	15.6	37.6	13.8	10.1
	１日のみ	84	23	13	3	42	15	22	9	8
		100.0	27.4	15.5	3.6	50.0	17.9	26.2	10.7	9.5

上段:件数 下段:%		合計	医療的なケアに対応可能な職員がいる（看護師や喀痰吸引のできるスタッフ等）	重度心身障害児の受入れ体制が整っている	事業所が責任を持って送迎を行っている	他に通える事業所がなかった	何となく／わからない	その他	不明・無回答
全 体		274	4	2	116	23	3	40	4
		100.0	1.5	0.7	42.3	8.4	1.1	14.6	1.5
放課後等デイサービスの利用頻度別	毎日	48	1	0	26	5	1	6	1
		100.0	2.1	0.0	54.2	10.4	2.1	12.5	2.1
	４日	33	1	0	20	1	0	3	0
		100.0	3.0	0.0	60.6	3.0	0.0	9.1	0.0
	２～３日	109	1	1	49	10	1	14	2
		100.0	0.9	0.9	45.0	9.2	0.9	12.8	1.8
	１日のみ	84	1	1	21	7	1	17	1
		100.0	1.2	1.2	25.0	8.3	1.2	20.2	1.2

問８－２　現在通っている事業所に対する要望をお答えください。（○は２つまで）

「４．療育内容の充実」が 28.8%と最も高く，次いで「９．機能訓練ができる職員（理学療法士や作業療法士等）の配置」が 24.5%，「12．特に要望はない／わからない」が 20.8%となっています。



≪問８－２×問１－３保護者の就労状況別≫

『常勤（フルタイム）で就労している』『パートで就労している』では「療育内容の充実」,『就労していない』では「特に要望はない／わからない」,『就労したいができない』では「送迎サービスの実施」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	利用時間の延長	土日・祝日の実施	施設・設備の充実	療育内容の充実	支援計画の充実	保護者への密な連絡や意見要望への丁寧な対応	安全対策や衛生対策の充実
全 体		274	52	42	29	79	17	21	7
		100.0	19.0	15.3	10.6	28.8	6.2	7.7	2.6
保護者の就労状況別	常勤(フルタイム)で就労している	199	45	29	21	60	13	14	3
		100.0	22.6	14.6	10.6	30.2	6.5	7.0	1.5
	パートで就労している	122	16	17	11	37	8	11	1
		100.0	13.1	13.9	9.0	30.3	6.6	9.0	0.8
	就労していない	43	11	8	5	7	1	2	1
		100.0	25.6	18.6	11.6	16.3	2.3	4.7	2.3
	就労したいができない	26	7	2	4	5	1	2	2
		100.0	26.9	7.7	15.4	19.2	3.8	7.7	7.7
	その他	22	1	0	2	8	3	3	1
		100.0	4.5	0.0	9.1	36.4	13.6	13.6	4.5

上段:件数 下段:%		合計	医療的ケアが可能な職員の増員	機能訓練ができる職員(理学療法士や作業療法士等)の配置	送迎サービスの実施	職員の質の向上	特に要望はない／わからない	その他	不明・無回答
全 体		274	5	67	28	34	57	15	7
		100.0	1.8	24.5	10.2	12.4	20.8	5.5	2.6
保護者の就労状況別	常勤(フルタイム)で就労している	199	5	51	17	24	38	13	5
		100.0	2.5	25.6	8.5	12.1	19.1	6.5	2.5
	パートで就労している	122	1	31	11	16	30	11	2
		100.0	0.8	25.4	9.0	13.1	24.6	9.0	1.6
	就労していない	43	0	10	2	4	13	2	0
		100.0	0.0	23.3	4.7	9.3	30.2	4.7	0.0
	就労したいができない	26	1	2	8	1	4	0	1
		100.0	3.8	7.7	30.8	3.8	15.4	0.0	3.8
	その他	22	0	8	3	3	3	0	2
		100.0	0.0	36.4	13.6	13.6	13.6	0.0	9.1

≪問８－２×問２－１（12）放課後等デイサービスの利用頻度別≫

『毎日』では「利用時間の延長」,『４日』では「機能訓練ができる職員（理学療法士や作業療法士等）の配置」,『２～３日』では「療育内容の充実」及び「機能訓練ができる職員（理学療法士や作業療法士等）の配置」,『１日のみ』では「療育内容の充実」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	利用時間の延長	土日・祝日の実施	施設・設備の充実	療育内容の充実	支援計画の充実	保護者への密な連絡や意見要望への丁寧な対応	安全対策や衛生対策の充実
全 体		274	52	42	29	79	17	21	7
		100.0	19.0	15.3	10.6	28.8	6.2	7.7	2.6
放課後等デイサービスの利用頻度別	毎日	48	15	8	7	13	1	1	1
		100.0	31.3	16.7	14.6	27.1	2.1	2.1	2.1
	4日	33	2	5	5	8	2	5	1
		100.0	6.1	15.2	15.2	24.2	6.1	15.2	3.0
	2～3日	109	21	23	7	31	8	8	4
		100.0	19.3	21.1	6.4	28.4	7.3	7.3	3.7
	1日のみ	84	14	6	10	27	6	7	1
		100.0	16.7	7.1	11.9	32.1	7.1	8.3	1.2

上段:件数 下段:%		合計	医療的ケアが可能な職員の増員	機能訓練ができる職員（理学療法士や作業療法士等）の配置	送迎サービスの実施	職員の質の向上	特に要望はない／わからない	その他	不明・無回答
全 体		274	5	67	28	34	57	15	7
		100.0	1.8	24.5	10.2	12.4	20.8	5.5	2.6
放課後等デイサービスの利用頻度別	毎日	48	0	12	2	6	10	3	1
		100.0	0.0	25.0	4.2	12.5	20.8	6.3	2.1
	4日	33	2	9	2	5	6	2	2
		100.0	6.1	27.3	6.1	15.2	18.2	6.1	6.1
	2～3日	109	1	31	11	12	22	4	3
		100.0	0.9	28.4	10.1	11.0	20.2	3.7	2.8
	1日のみ	84	2	15	13	11	19	6	1
		100.0	2.4	17.9	15.5	13.1	22.6	7.1	1.2

参考資料２

案

京都市
放課後の過ごし方に関する調査
（総合支援学校用）
【結果報告書（速報）】

平成 31 年２月

京都市

目　次

Ⅰ．調査の概要 1
１　調査の目的 1
２　調査設計 1
３　回収結果 1
４　報告書の見方 1

Ⅱ．調査結果 2
１　お子さまと保護者の方の現在の状況について 2
２　お子さまの放課後の過ごし方について 8
３　お子さまの習い事や塾について 20
４　放課後等デイサービスについて 21

Ⅰ．調査の概要

１　調査の目的

本調査は，児童・生徒の放課後の過ごし方の状況や放課後に利用されている事業へのご意見等をうかがい，今後の京都市の放課後施策の充実に向けた基礎資料とすることを目的に実施しました。

２　調査設計

●調査対象者：総合支援学校に通うすべての児童・生徒の保護者
●調 査 期 間：平成 30 年９月 14 日～９月 28 日
●調 査 方 法：学校を通じた配布，郵送回収

３　回収結果

調査対象者（配布数）	有効回収数	有効回収率
1,133 件	475 件	41.9%

４　報告書の見方

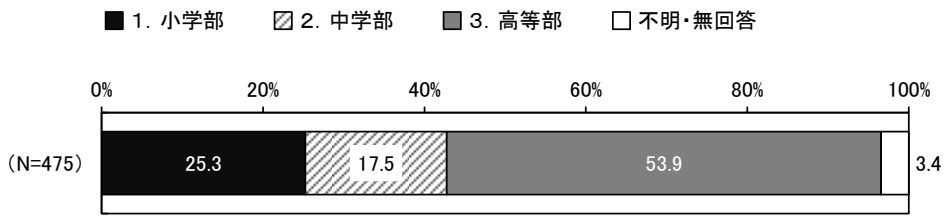
●回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して，それぞれの回答数の割合を小数点以下第２位で四捨五入したものです。そのため，単数回答（複数の選択肢から１つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が 100.0%にならない場合があります。このことは，本報告書内の分析文，グラフ，表においても反映しています。
●複数回答（複数の選択肢から２つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合，回答は選択肢ごとの有効回答数に対して，それぞれの割合を示しています。そのため，合計が 100.0%を超える場合があります。
●図表中において「不明・無回答」とあるものは，回答が示されていない，または回答の判別が困難なものです。
●図表中の「N（number of case)」は，集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
●本文中の設問の選択肢について，長い文は簡略化している場合があります。
●設問によっては，結果を詳細に分析するため，クロス集計表を掲載しています。

Ⅱ．調査結果

１　お子さまと保護者の方の現在の状況について

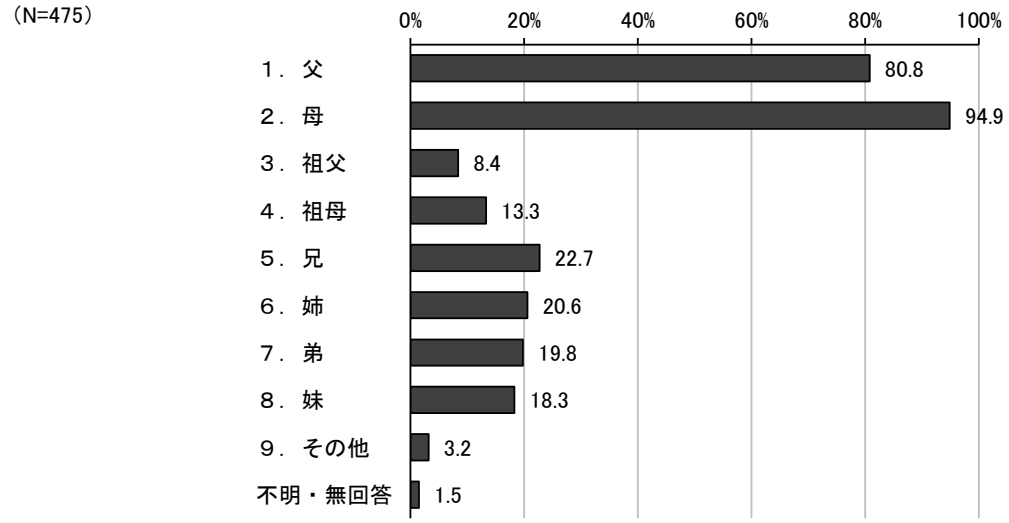
◎　お子さまが通っている区分についてお答えください。（○は１つ）

「３．高等部」が 53.9%と最も高く，次いで「１．小学部」が 25.3%，「２．中学部」が 17.5%となっています。

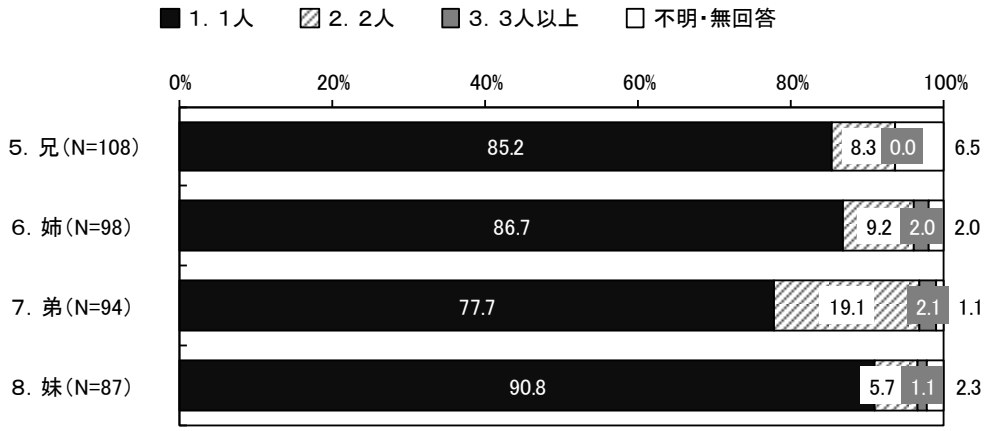


問１　お子さまと同居しているご家族についてお答えください（続柄はお子さまからみた関係）。（○はいくつでも）※「５～８」については人数もご記入ください。

「２．母」が 94.9%と最も高く，次いで「１．父」が 80.8%，「５．兄」が 22.7%となっています。兄弟姉妹の人数は，すべての項目で「１．１人」が最も高くなっています。

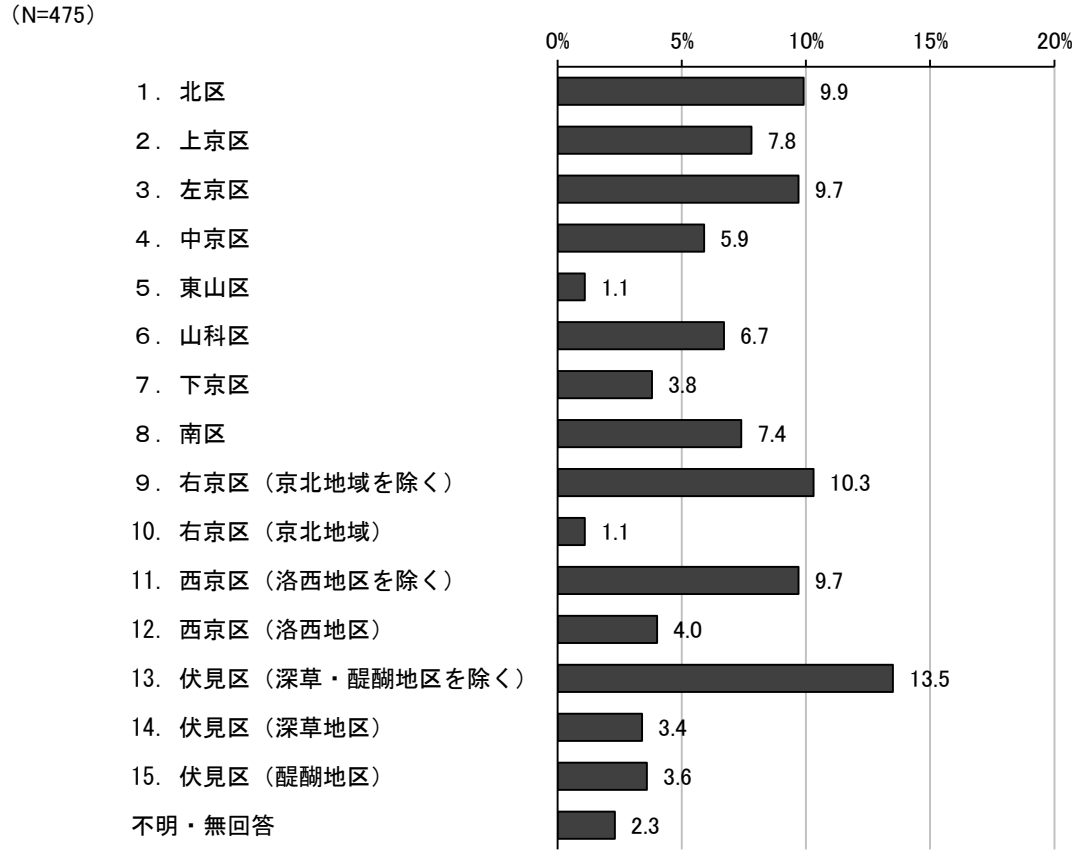


◆兄弟姉妹の人数



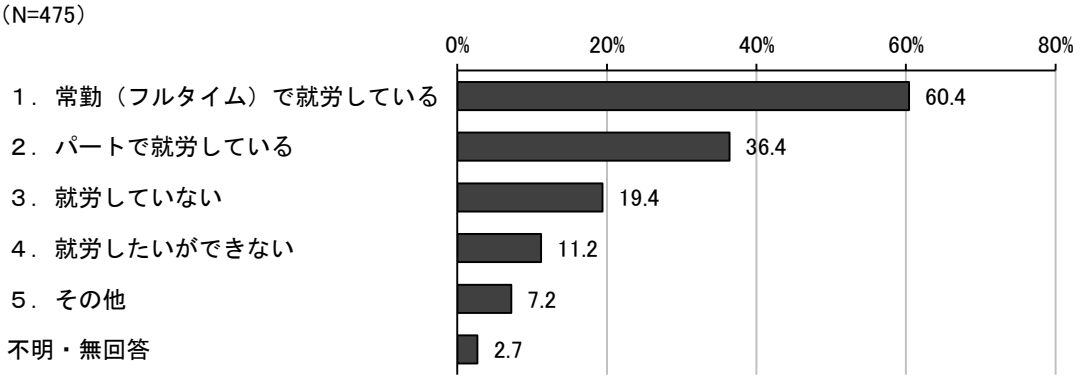
問２　お住まいの行政区についてお答えください。（○は１つ）

「13．伏見区（深草・醍醐地区を除く）」が 13.5％と最も高く，次いで「９．右京区（京北地域を除く）」が 10.3％，「１．北区」が 9.9％となっています。



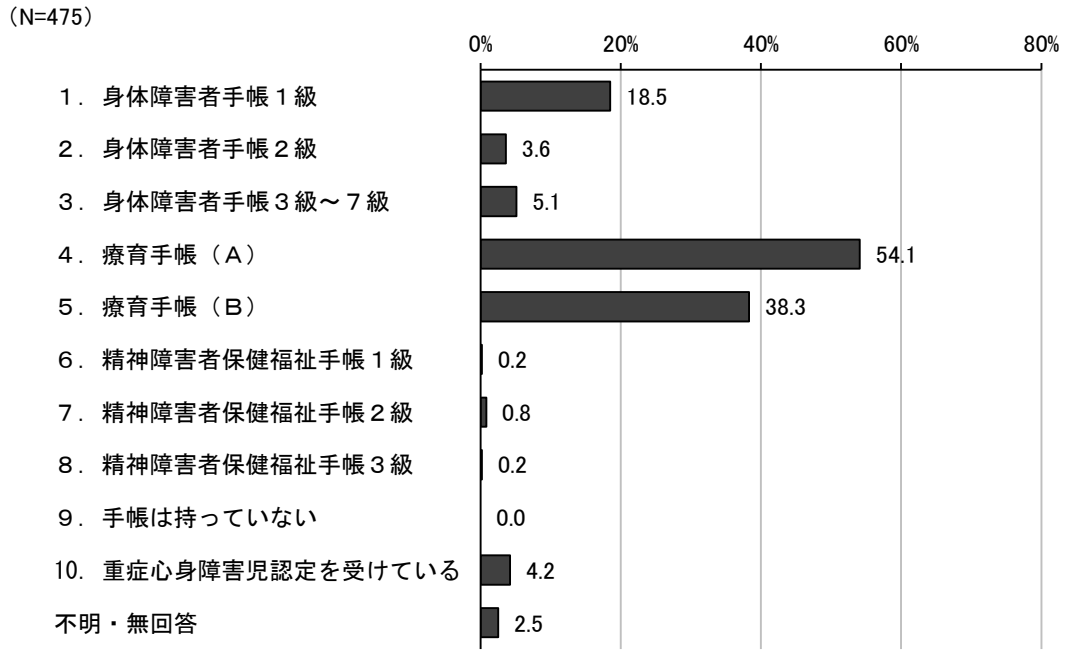
問３　保護者の方の就労状況についてお答えください。（○はいくつでも）

「１．常勤（フルタイム）で就労している」が 60.4％と最も高く，次いで「２．パートで就労している」が 36.4％，「３．就労していない」が 19.4％となっています。

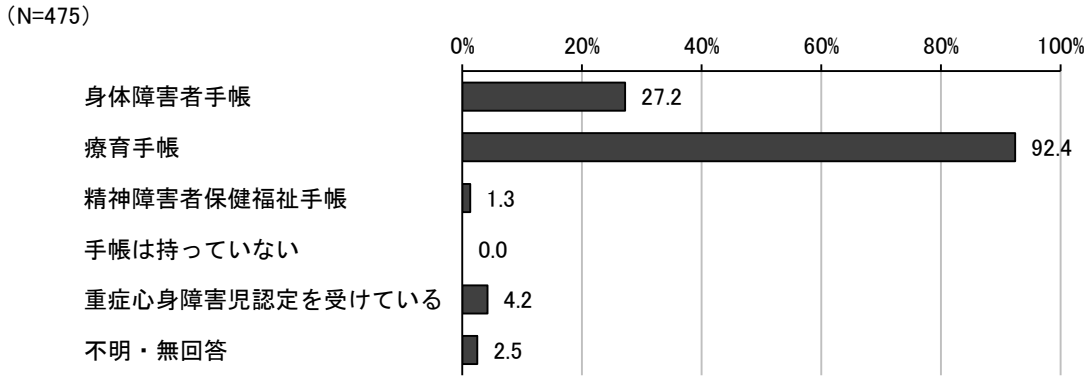


問４　お子さまの障害者手帳の所持状況についてお答えください。（○はいくつでも）

「４．療育手帳（A）」が 54.1%と最も高く，次いで「５．療育手帳（B）」が 38.3%，「１．身体障害者手帳１級」が 18.5%となっています。「手帳を持っていない」は 0.0%となっており，「不明・無回答」を除くすべての児童が何らかの障害者手帳を所持しています。



◆（参考）障害者手帳ごとの所持状況



≪問４×問６（15）訪問看護の利用頻度別≫

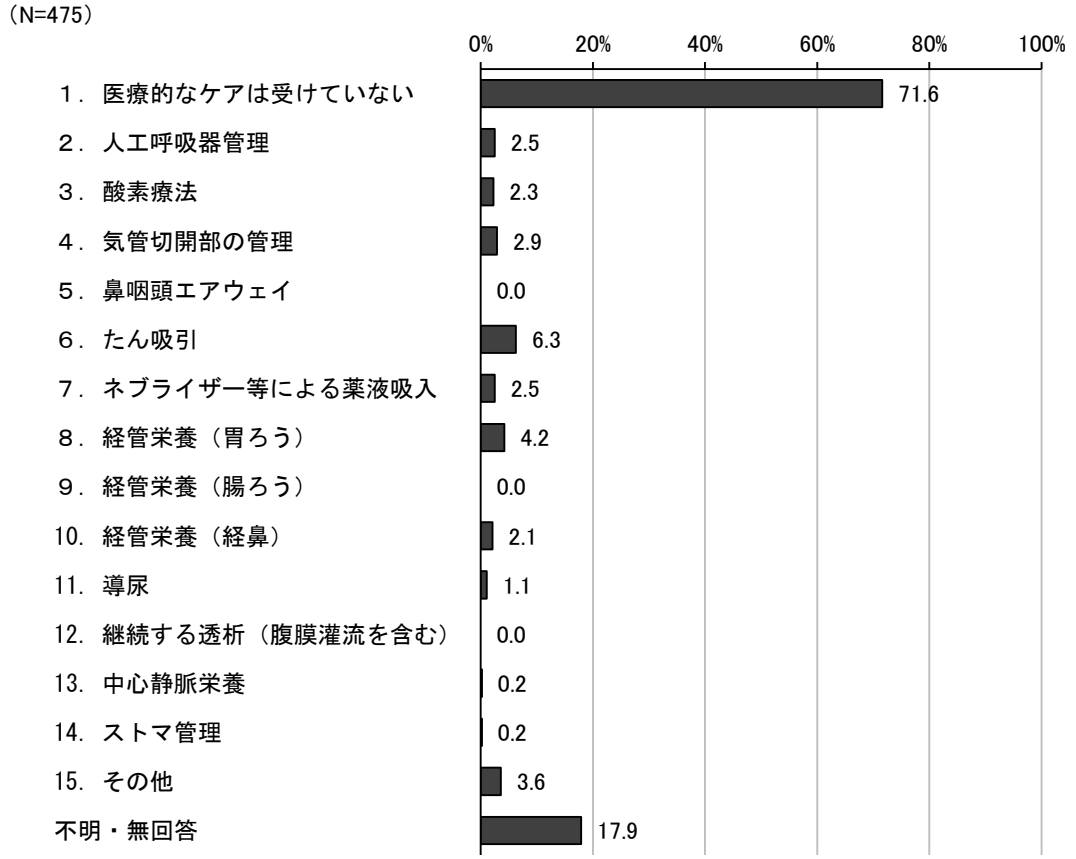
『毎日』『２～３日』では「身体障害者手帳１級」,『１日のみ』『利用していない』では「療育手帳（A)」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	身体障害者手帳1級	身体障害者手帳2級	身体障害者手帳3級～7級	療育手帳(A)	療育手帳(B)
全 体		475 100.0	88 18.5	17 3.6	24 5.1	257 54.1	182 38.3
訪問看護の利用頻度別	毎日	5 100.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0	1 20.0
	４日	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	２～３日	12 100.0	12 100.0	0 0.0	0 0.0	6 50.0	0 0.0
	１日のみ	11 100.0	9 81.8	1 9.1	1 9.1	10 90.9	0 0.0
	利用していない	344 100.0	48 14.0	11 3.2	19 5.5	185 53.8	145 42.2

上段:件数 下段:%		合計	精神障害者保健福祉手帳2級	精神障害者保健福祉手帳3級	手帳は持っていない	重症心身障害児認定を受けている	不明・無回答
全 体		475 100.0	4 0.8	1 0.2	0 0.0	20 4.2	12 2.5
訪問看護の利用頻度別	毎日	5 100.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	４日	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
	２～３日	12 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 25.0	0 0.0
	１日のみ	11 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 27.3	0 0.0
	利用していない	344 100.0	4 1.2	0 0.0	0 0.0	11 3.2	4 1.2

問５－１　お子さまの医療的ケアの有無についてお答えください。（○はいくつでも）

「１．医療的なケアは受けていない」が 71.6%と最も高く，次いで「６．たん吸引」が 6.3%，「８．経管栄養（胃ろう)」が 4.2%となっています。



≪問５－１×問６（15）訪問看護の利用頻度別≫

『毎日』では「酸素療法」「たん吸引」,『２～３日』では「たん吸引」,『１日のみ』では「たん吸引」「経管栄養（胃ろう）」,『利用していない』では「医療的なケアは受けていない」の割合が高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	医療的なケアは受けていない	人工呼吸器管理	酸素療法	気管切開部の管理	鼻咽頭エアウェイ	たん吸引	ネブライザー等による薬液吸入	経管栄養（胃ろう）
全 体		475 100.0	340 71.6	12 2.5	11 2.3	14 2.9	0 0.0	30 6.3	12 2.5	20 4.2
訪問看護の利用頻度別	毎日	5 100.0	1 20.0	2 40.0	3 60.0	2 40.0	0 0.0	3 60.0	2 40.0	0 0.0
	4日	1 100.0	0 0.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	1 100.0
	2～3日	12 100.0	2 16.7	5 41.7	5 41.7	6 50.0	0 0.0	9 75.0	4 33.3	6 50.0
	1日のみ	11 100.0	4 36.4	3 27.3	1 9.1	2 18.2	0 0.0	6 54.5	2 18.2	6 54.5
	利用していない	344 100.0	262 76.2	1 0.3	0 0.0	3 0.9	0 0.0	10 2.9	4 1.2	6 1.7

上段:件数 下段:%		合計	経管栄養（腸ろう）	経管栄養（経鼻）	導尿	継続する透析（腹膜灌流を含む）	中心静脈栄養	ストマ管理	その他	不明・無回答
全 体		475 100.0	0 0.0	10 2.1	5 1.1	0 0.0	1 0.2	1 0.2	17 3.6	85 17.9
訪問看護の利用頻度別	毎日	5 100.0	0 0.0	2 40.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0	0 0.0
	4日	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	2～3日	12 100.0	0 0.0	4 33.3	2 16.7	0 0.0	0 0.0	1 8.3	1 8.3	0 0.0
	1日のみ	11 100.0	0 0.0	1 9.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	利用していない	344 100.0	0 0.0	3 0.9	1 0.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	11 3.2	59 17.2

問５－１で何らかの医療的ケアを受けていると回答された方

問５－２　現在の生活で不安に思っていることや，必要だと思うことをご記入ください。

（自由記述　回答数 49 件）

【主な記載内容】

○福祉サービスに関すること（14 件）

・医療的なケアが必要な子どもが通える放課後等デイサービス事業所が少ない。

・ショートステイが希望の日時，日数利用できない。

・医療的なケアが必要だということで，サービスの利用が制限されることがある。

○レスパイトに関すること（６件）

・保護者に病気になったときなどに世話をできる人がいない。

○介護に関すること（４件）

・成長につれて介護の負担が大きくなってきていること。

・医療的なケアについて，看護師さんと同様の手技が難しいこと。

○学校での支援に関すること（２件）

・スクールバスに乗れないため，親が送迎しているが，親が体調を崩すと休まざるを得ない。

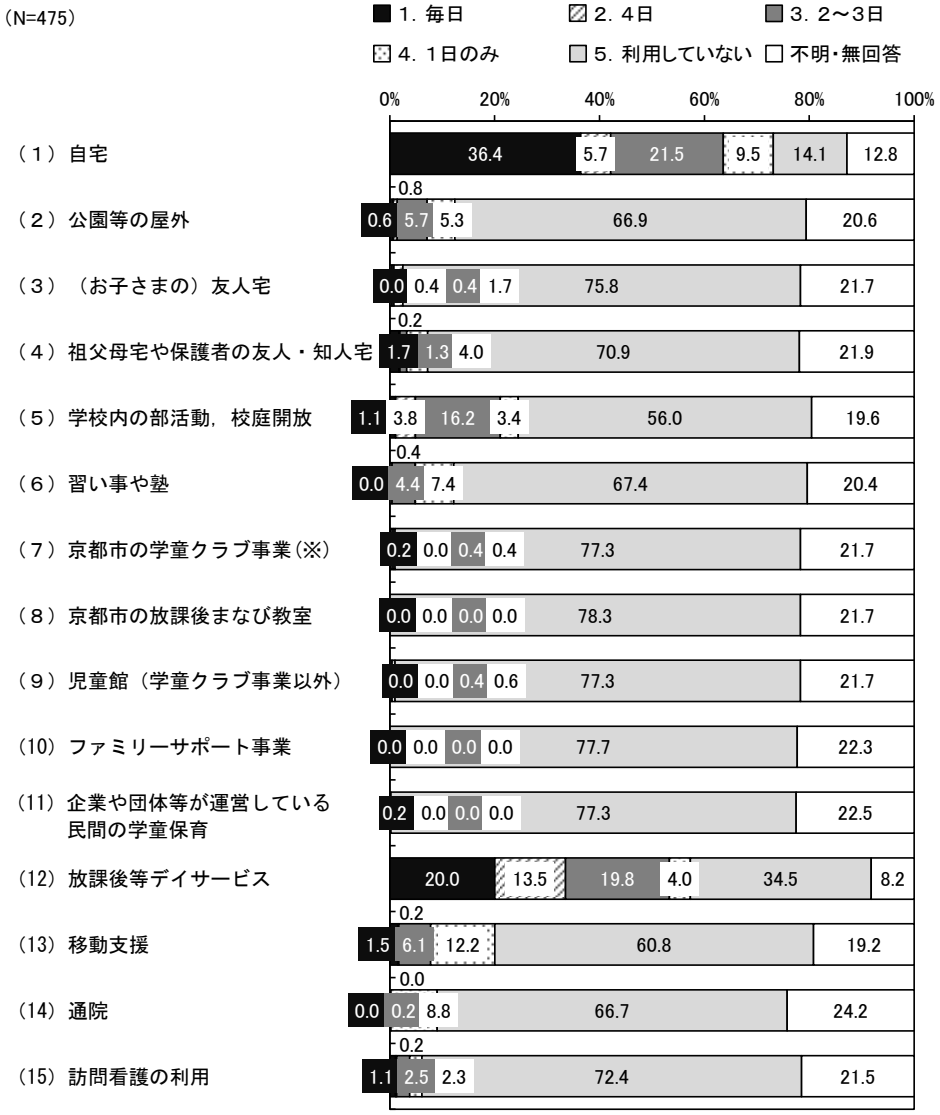
・学校では医療行為は行えないため，対応できないことがある。

２　お子さまの放課後の過ごし方について

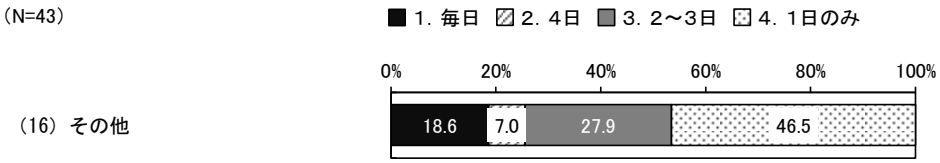
問６　お子さまは毎週の平日の放課後の時間をどのように過ごしていますか。お子さまご本人にも聞きながら，（１）～（16）のそれぞれの項目についてお答えください。（○はそれぞれ１つずつ）

『１．毎日』は，「（１）自宅」が 36.4％と最も高く，次いで「(12) 放課後等デイサービス」が 20.0％となっています。

『２．２～３日』は，「（１）自宅」が 21.5％と最も高く，次いで「(12) 放課後等デイサービス」が 19.8％，「（５）学校内の部活動，校庭開放」が 16.2％となっています。



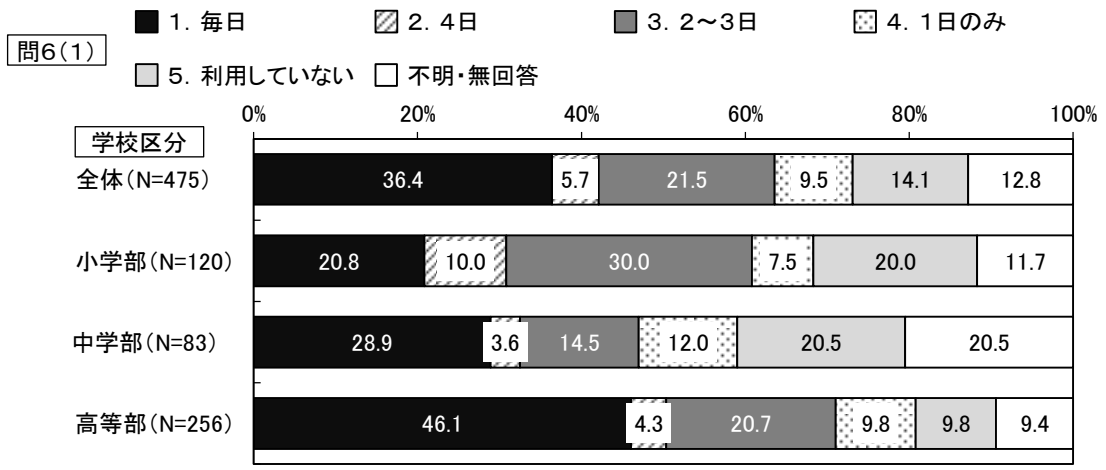
※本調査では学童クラブ事業に，放課後ほっと広場の学童クラブ機能（ゆうゆうクラブ）を含みます。



※不明・無回答除く

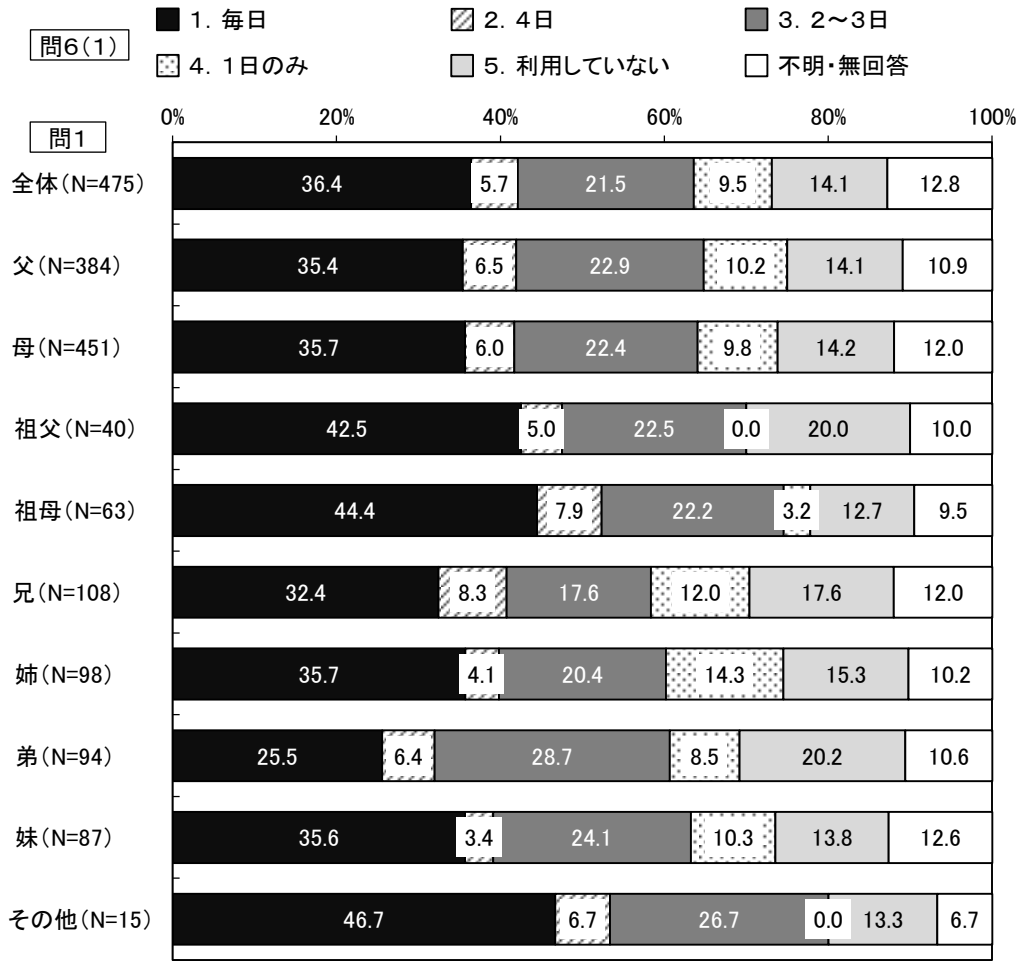
≪問６（１）自宅×学校区分別≫

学校区分が上がるほど，「１．毎日」の割合が高くなる傾向がみられます。



≪問６（１）自宅×問１同居家族別≫

『弟』を除くすべての区分で「１．毎日」の割合が最も高くなっており，特に『祖父』『祖母』では他の区分と比べて高くなっています。



≪問６（４）祖父母宅や保護者の友人・知人宅×問６（12）放課後等デイサービスの利用頻度別≫

両方利用している方については，それぞれ「１日のみ」利用している割合が高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	毎日	4日	2～3日	1日のみ	利用していない	不明・無回答
全 体		475	8	1	6	19	337	104
		100.0	1.7	0.2	1.3	4.0	70.9	21.9
放課後等デイサービスの利用頻度別	毎日	95	0	0	0	4	60	31
		100.0	0.0	0.0	0.0	4.2	63.2	32.6
	4日	64	0	0	2	5	40	17
		100.0	0.0	0.0	3.1	7.8	62.5	26.6
	2～3日	94	1	0	2	0	79	12
		100.0	1.1	0.0	2.1	0.0	84.0	12.8
	1日のみ	19	0	0	0	2	14	3
		100.0	0.0	0.0	0.0	10.5	73.7	15.8
	利用していない	164	6	1	2	8	143	4
		100.0	3.7	0.6	1.2	4.9	87.2	2.4

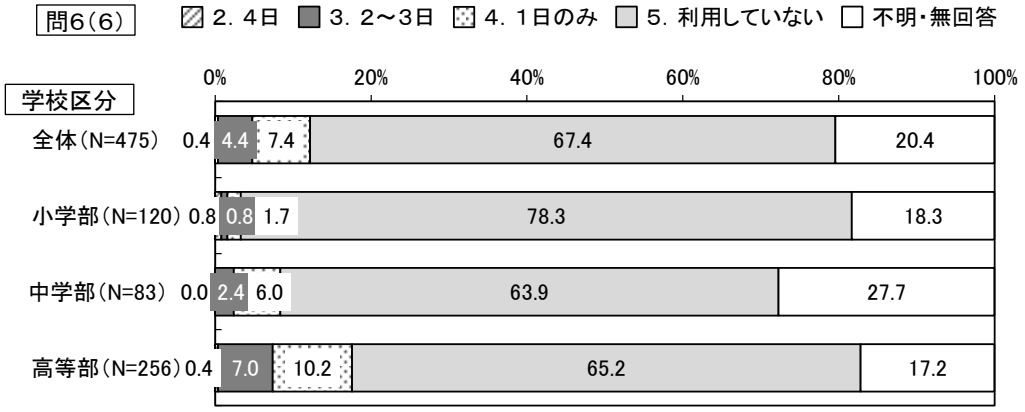
≪問６（５）学校内の部活動，校庭開放×問６（12）放課後等デイサービスの利用頻度別≫

両方利用している方については，それぞれ「２～３日」ずつ利用している割合が高くなっています。放課後等デイサービスの利用頻度が上るほど，学校内の部活動，校庭開放の利用頻度が下がる傾向にあります。

上段:件数 下段:%		合計	毎日	4日	2～3日	1日のみ	利用していない	不明・無回答
全 体		475	5	18	77	16	266	93
		100.0	1.1	3.8	16.2	3.4	56.0	19.6
放課後等デイサービスの利用頻度別	毎日	95	0	0	1	0	64	30
		100.0	0.0	0.0	1.1	0.0	67.4	31.6
	4日	64	0	0	1	2	42	19
		100.0	0.0	0.0	1.6	3.1	65.6	29.7
	2～3日	94	0	0	11	5	67	11
		100.0	0.0	0.0	11.7	5.3	71.3	11.7
	1日のみ	19	1	1	0	1	13	3
		100.0	5.3	5.3	0.0	5.3	68.4	15.8
	利用していない	164	4	13	60	8	79	0
		100.0	2.4	7.9	36.6	4.9	48.2	0.0

≪問６（６）習い事や塾×学校区分別≫

学校区分が上がるほど，「１日」以上利用している割合が高くなっています。



※「１．毎日」は回答がなかったため省いています。

≪問６（６）習い事や塾×問６（12）放課後等デイサービスの利用頻度別≫

両方利用している方については，それぞれ「１日のみ」利用している割合が高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	毎日	4日	2～3日	1日のみ	利用していない	不明・無回答
全 体		475	0	2	21	35	320	97
		100.0	0.0	0.4	4.4	7.4	67.4	20.4
放課後等デイサービスの利用頻度別	毎日	95	0	0	2	0	62	31
		100.0	0.0	0.0	2.1	0.0	65.3	32.6
	4日	64	0	0	2	4	41	17
		100.0	0.0	0.0	3.1	6.3	64.1	26.6
	2～3日	94	0	1	3	9	70	11
		100.0	0.0	1.1	3.2	9.6	74.5	11.7
	1日のみ	19	0	0	0	3	14	2
		100.0	0.0	0.0	0.0	15.8	73.7	10.5
	利用していない	164	0	1	13	16	132	2
		100.0	0.0	0.6	7.9	9.8	80.5	1.2

≪問６（７）京都市の学童クラブ事業×問６（12）放課後等デイサービスの利用頻度別≫

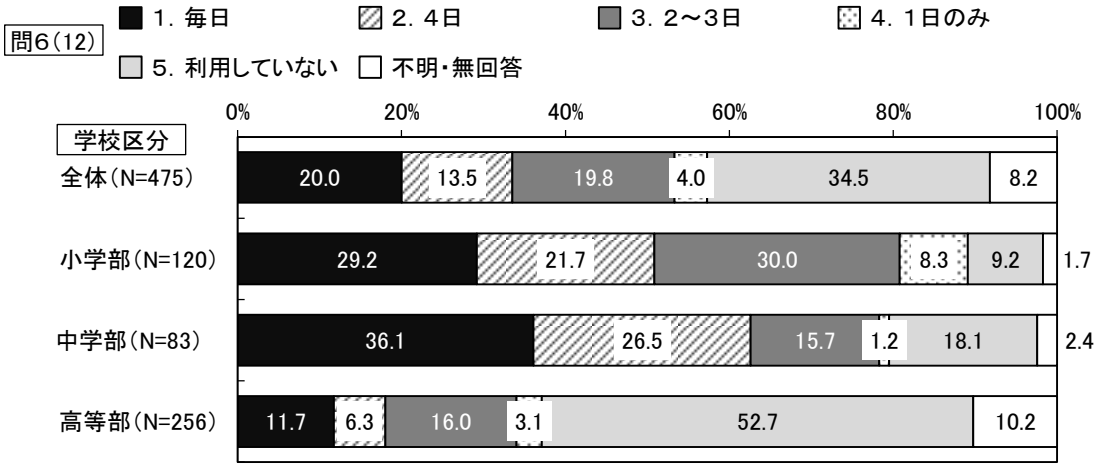
すべての区分で「利用していない」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	毎日	4日	2～3日	1日のみ	利用していない	不明・無回答
全 体		475	1	0	2	2	367	103
		100.0	0.2	0.0	0.4	0.4	77.3	21.7
放課後等デイサービスの利用頻度別	毎日	95	0	0	0	0	64	31
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	67.4	32.6
	4日	64	0	0	0	0	46	18
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	71.9	28.1
	2～3日	94	0	0	0	2	80	12
		100.0	0.0	0.0	0.0	2.1	85.1	12.8
	1日のみ	19	0	0	1	0	15	3
		100.0	0.0	0.0	5.3	0.0	78.9	15.8
	利用していない	164	1	0	1	0	161	1
		100.0	0.6	0.0	0.6	0.0	98.2	0.6

≪問６（12）放課後等デイサービス×学校区分別≫

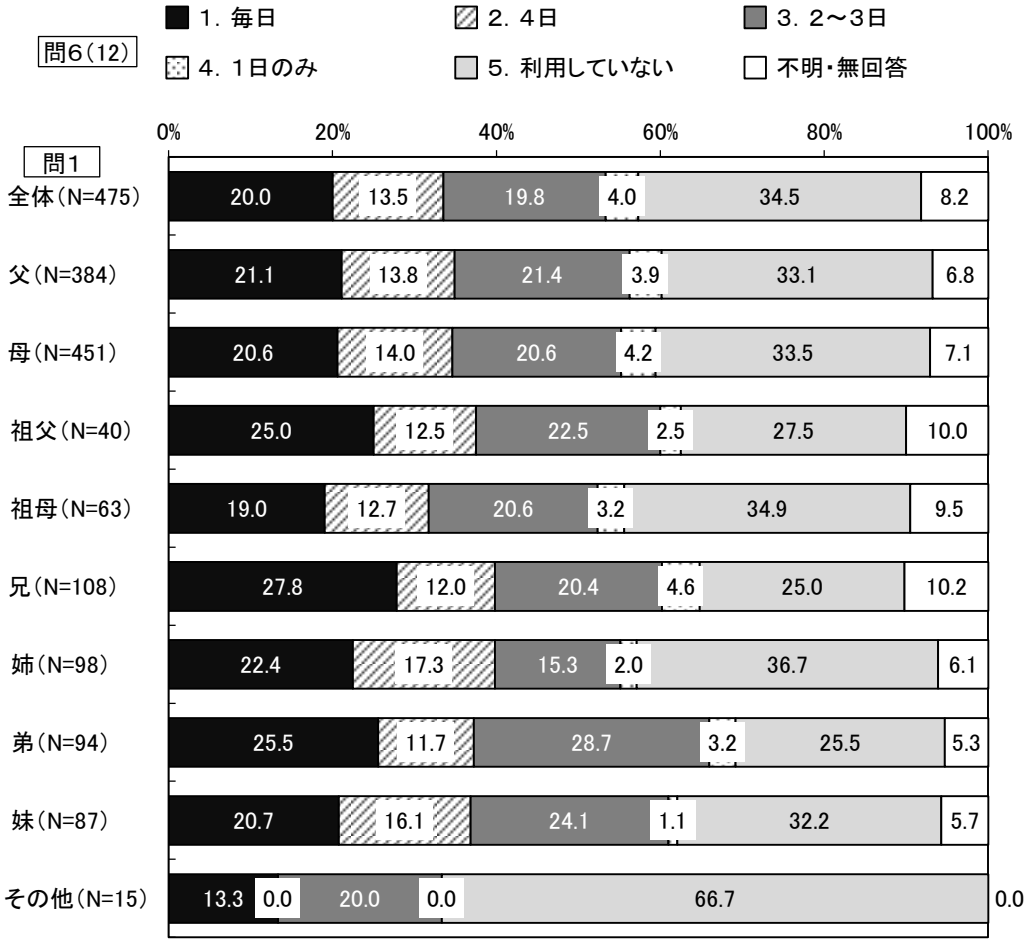
『小学部』では「３．２～３日」,『中学部』では「１．毎日」,『高等部』では「５．利用していない」の割合が最も高くなっています。

学校区分が上がるほど利用割合が低くなっており，高等部の利用割合は小学部の半分以下となっています。



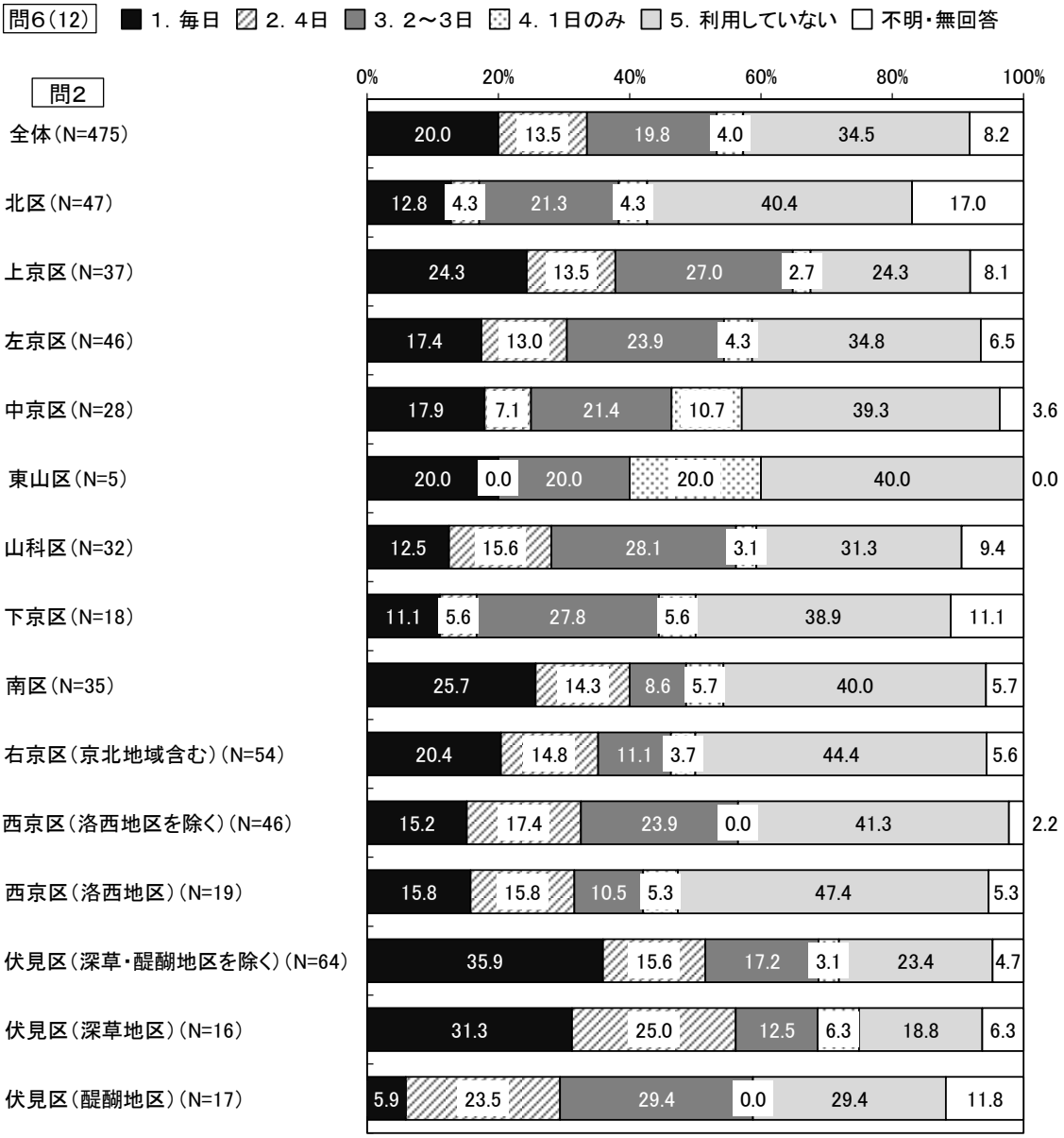
≪問６（12）放課後等デイサービス×問１同居家族別≫

『兄』『弟』を除くすべての区分で「５．利用していない」の割合が最も高くなっています。



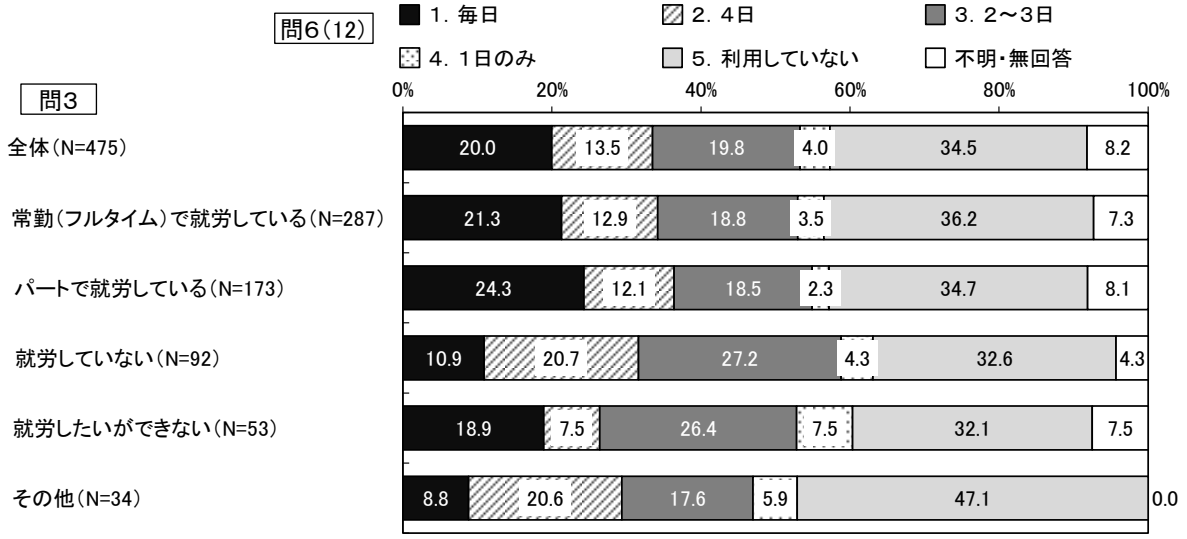
≪問６（12）放課後等デイサービス×問２行政区別≫

『上京区』『伏見区』を除くすべての区分で「５．利用していない」の割合が最も高くなっています。『上京区』では「３．２～３日」,『伏見区（深草・醍醐地区を除く）』『伏見区（深草地区）』では「１．毎日」,『伏見区（醍醐地区）』では「３．２～３日」「５．利用していない」の割合が高くなっています。



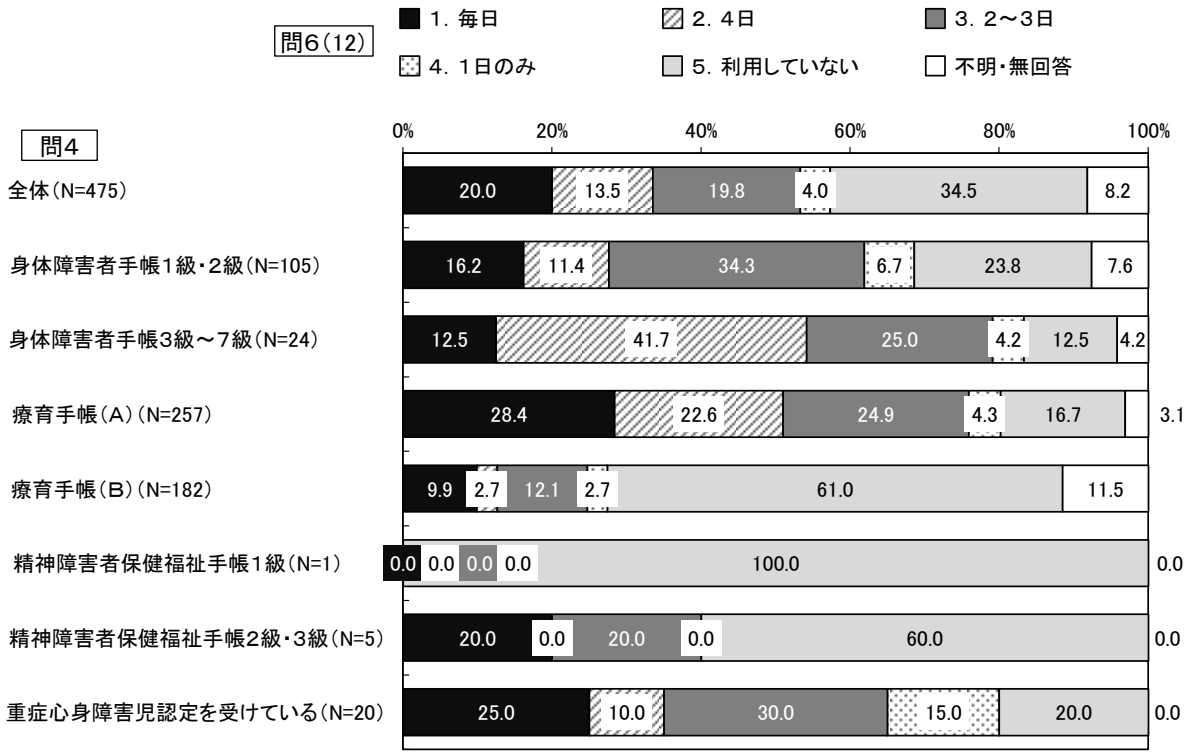
≪問６（12）放課後等デイサービス×問３保護者の就労状況別≫

『常勤（フルタイム）で就労している』『パートで就労している』では，「１．毎日」の割合が他の区分と比べて高くなっています。



≪問６（12）放課後等デイサービス×問４所持手帳別≫

『身体障害者手帳１級・２級』『重症心身障害児認定を受けている』では「３．２～３日」，『身体障害者手帳３級～７級』では「２．４日」，『４．療育手帳（A)』では「１．毎日」，それ以外では「５．利用していない」の割合が最も高くなっています。



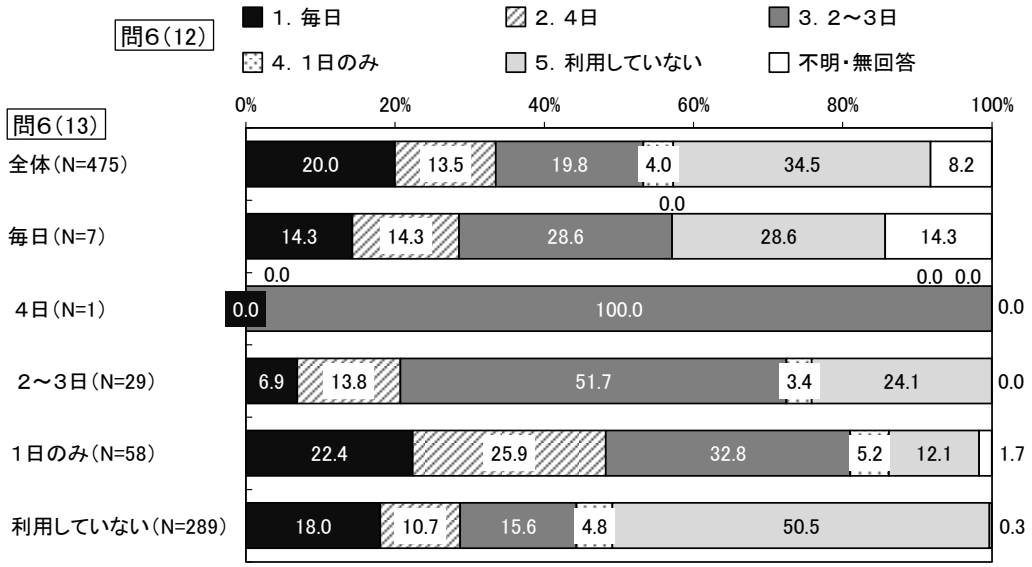
≪問６（12）放課後等デイサービス×問５－１医療的ケアの内容別≫

『たん吸引』『ネブライザー等による薬液吸入』『経管栄養（胃ろう）』『中心静脈栄養』『ストマ管理』では「２～３日」,『経管栄養（経鼻）』では「２～３日」「利用していない」，それ以外では「利用していない」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	毎日	4日	2～3日	1日のみ	利用していない	不明・無回答
全　体		475	95	64	94	19	164	39
		100.0	20.0	13.5	19.8	4.0	34.5	8.2
医療的ケアの内容別	医療的なケアは受けていない	340	68	53	63	14	121	21
		100.0	20.0	15.6	18.5	4.1	35.6	6.2
	人工呼吸器管理	12	0	0	4	2	5	1
		100.0	0.0	0.0	33.3	16.7	41.7	8.3
	酸素療法	11	0	0	3	2	6	0
		100.0	0.0	0.0	27.3	18.2	54.5	0.0
	気管切開部の管理	14	0	0	2	3	8	1
		100.0	0.0	0.0	14.3	21.4	57.1	7.1
	たん吸引	30	2	1	12	3	11	1
		100.0	6.7	3.3	40.0	10.0	36.7	3.3
	ネブライザー等による薬液吸入	12	2	0	5	1	4	0
		100.0	16.7	0.0	41.7	8.3	33.3	0.0
	経管栄養（胃ろう）	20	2	0	8	3	6	1
		100.0	10.0	0.0	40.0	15.0	30.0	5.0
	経管栄養（経鼻）	10	0	1	4	1	4	0
		100.0	0.0	10.0	40.0	10.0	40.0	0.0
	導尿	5	0	0	2	0	3	0
		100.0	0.0	0.0	40.0	0.0	60.0	0.0
	中心静脈栄養	1	0	0	1	0	0	0
		100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	ストマ管理	1	0	0	1	0	0	0
		100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	その他	17	3	4	1	0	7	2
		100.0	17.6	23.5	5.9	0.0	41.2	11.8

≪問６（12）放課後等デイサービス×問６（13）移動支援の利用頻度別≫

『毎日』では「３．２～３日」「５．利用していない」，『利用していない』では「５．利用していない」，それ以外では「３．２～３日」の割合が高くなっています。



≪問６（15）訪問看護×問５－１医療的ケアの内容別≫

『医療的なケアは受けていない』『たん吸引』『その他』では「利用していない」，『人工呼吸器管理』『酸素療法』『気管切開部の管理』『経管栄養（経鼻）』では「２～３日」，『ネブライザー等による薬液吸入』では「２～３日」「利用していない」，『経管栄養（胃ろう）』では「２～３日」「１日のみ」「利用していない」，『導尿』では「毎日」「２～３日」の割合が高くなっています。

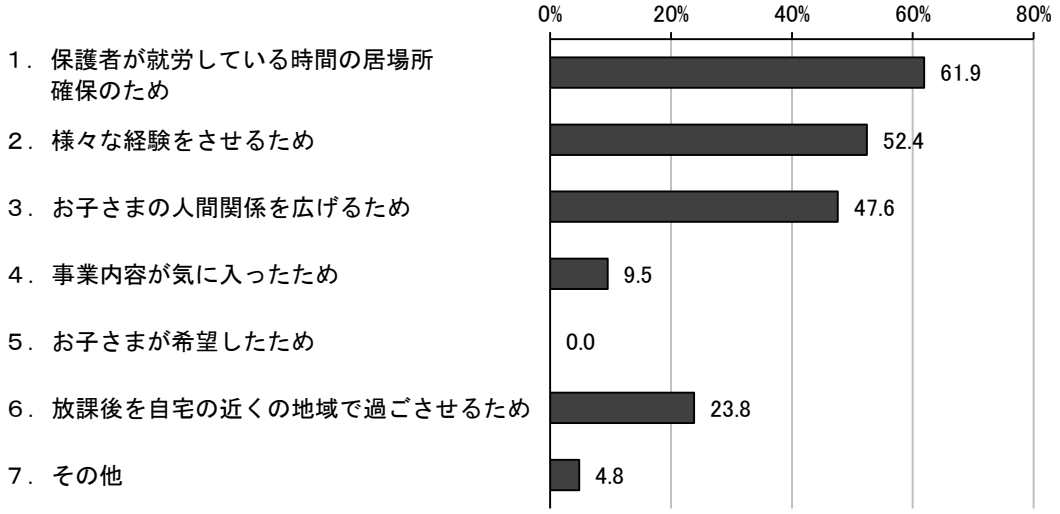
上段:件数 下段:%		合計	毎日	4日	2～3日	1日のみ	利用していない	不明・無回答
全　体		475	5	1	12	11	344	102
		100.0	1.1	0.2	2.5	2.3	72.4	21.5
医療的ケアの内容別	医療的なケアは受けていない	340	1	0	2	4	262	71
		100.0	0.3	0.0	0.6	1.2	77.1	20.9
	人工呼吸器管理	12	2	1	5	3	1	0
		100.0	16.7	8.3	41.7	25.0	8.3	0.0
	酸素療法	11	3	1	5	1	0	1
		100.0	27.3	9.1	45.5	9.1	0.0	9.1
	気管切開部の管理	14	2	1	6	2	3	0
		100.0	14.3	7.1	42.9	14.3	21.4	0.0
	たん吸引	30	3	1	9	6	10	1
		100.0	10.0	3.3	30.0	20.0	33.3	3.3
	ネブライザー等による薬液吸入	12	2	0	4	2	4	0
		100.0	16.7	0.0	33.3	16.7	33.3	0.0
	経管栄養(胃ろう)	20	0	1	6	6	6	1
		100.0	0.0	5.0	30.0	30.0	30.0	5.0
	経管栄養(経鼻)	10	2	0	4	1	3	0
		100.0	20.0	0.0	40.0	10.0	30.0	0.0
	導尿	5	2	0	2	0	1	0
		100.0	40.0	0.0	40.0	0.0	20.0	0.0
	中心静脈栄養	1	0	0	0	0	0	1
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	ストマ管理	1	0	0	1	0	0	0
		100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	その他	17	2	0	1	0	11	3
		100.0	11.8	0.0	5.9	0.0	64.7	17.6

京都市の学童クラブ事業，放課後ほっと広場（ゆうゆうクラブ）を利用している方

問７　学童クラブ等を利用している理由についてお答えください。（○は２つまで）

「１．保護者が就労している時間の居場所確保のため」が 61.9%と最も高く，次いで「２．様々な経験をさせるため」が 52.4%，「３．お子さまの人間関係を広げるため」が 47.6%となっています。

（N=21）



※不明・無回答除く

≪問７×問６（７）京都市の学童クラブ事業の利用頻度別≫

『２～３日』『利用していない』では「保護者が就労している時間の居場所確保のため」，『１日のみ』では「お子さまの人間関係を広げるため」の割合が高くなっています。

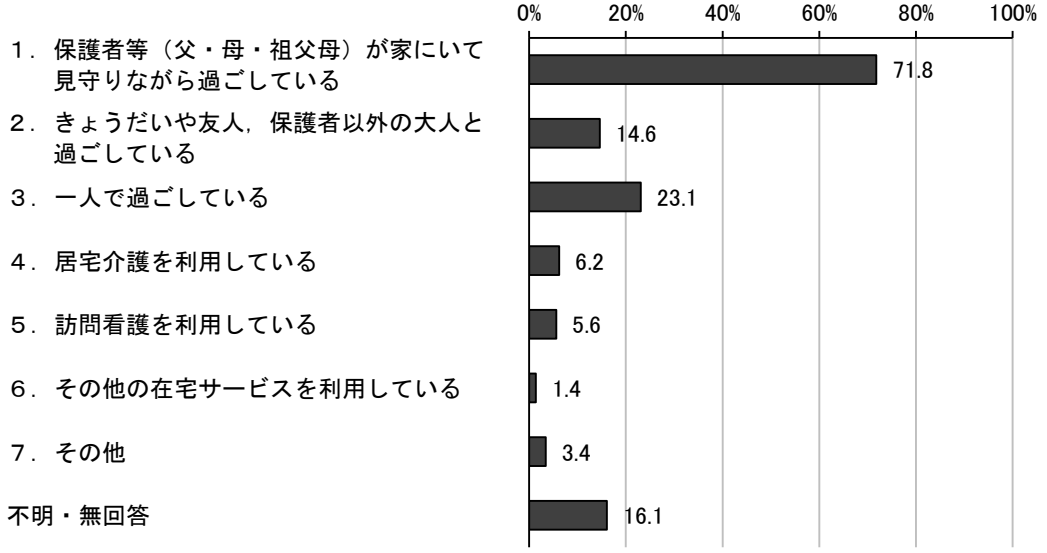
上段:件数 下段:%		合計	保護者が就労している時間の居場所確保のため	様々な経験をさせるため	お子さまの人間関係を広げるため	事業内容が気に入ったため	お子さまが希望したため	放課後を自宅の近くの地域で過ごさせるため	その他
全　体		21 100.0	13 61.9	11 52.4	10 47.6	2 9.5	0 0.0	5 23.8	1 4.8
学童クラブ事業の利用頻度別	2～3日	2 100.0	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0
	1日のみ	2 100.0	1 50.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	利用していない	7 100.0	6 85.7	3 42.9	1 14.3	1 14.3	0 0.0	1 14.3	1 14.3

問６の（１）（３）（４）のいずれかで１つでも「１～４」と回答された方

問８－１　自宅や預け先のお宅でのお子さまの過ごし方について，あてはまるものをお答えください。（○はいくつでも）

「１．保護者等（父・母・祖父母）が家にいて見守りながら過ごしている」が 71.8%と最も高く，次いで「３．一人で過ごしている」が 23.1%，「２．きょうだいや友人，保護者以外の大人と過ごしている」が 14.6%となっています。

（N=355）



≪問８－１×学校区分別≫

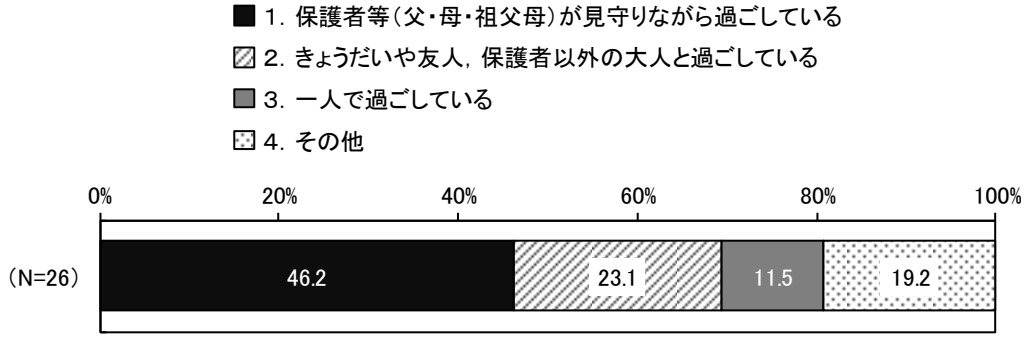
すべての区分で「保護者等（父・母・祖父母）が家にいて見守りながら過ごしている」の割合が最も高くなっています。『高等部』では「一人で過ごしている」の割合が他の区分と比べて特に高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	保護者等（父・母・祖父母）が家にいて見守りながら過ごしている	きょうだいや友人，保護者以外の大人と過ごしている	一人で過ごしている	居宅介護を利用している	訪問看護を利用している	その他の在宅サービスを利用している	その他	不明・無回答
全　体		355	255	52	82	22	20	5	12	57
		100.0	71.8	14.6	23.1	6.2	5.6	1.4	3.4	16.1
学校区分別	小学部	84	67	1	3	8	9	3	3	17
		100.0	79.8	1.2	3.6	9.5	10.7	3.6	3.6	20.2
	中学部	50	37	6	4	7	6	1	1	8
		100.0	74.0	12.0	8.0	14.0	12.0	2.0	2.0	16.0
	高等部	212	144	44	72	7	5	1	8	30
		100.0	67.9	20.8	34.0	3.3	2.4	0.5	3.8	14.2

問６の（２）で「５．利用していない」以外を回答された方

問８－２　公園等の屋外での主な過ごし方について，あてはまるものをお答えください。（○は１つ）

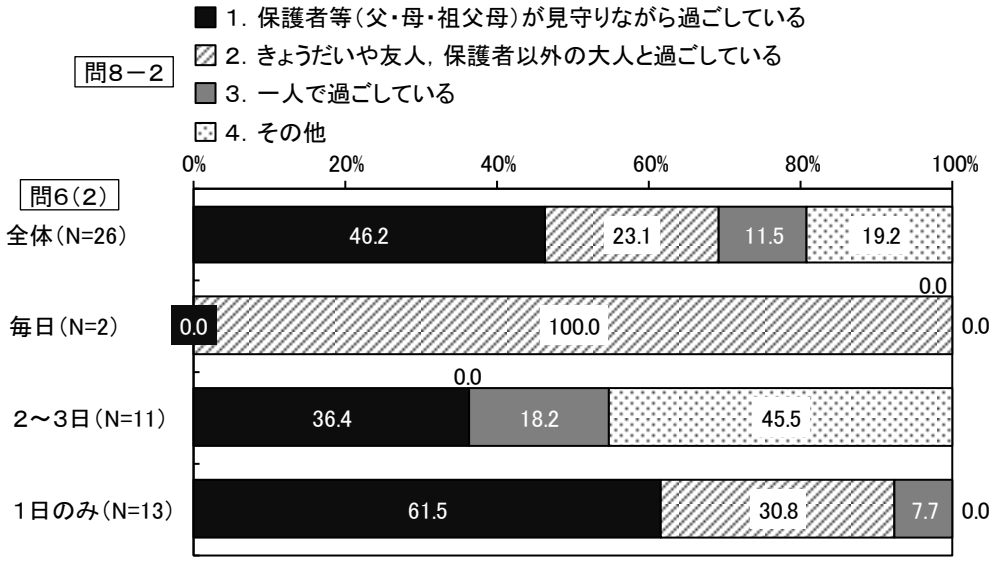
「１．保護者等（父・母・祖父母）が見守りながら過ごしている」が 46.2%と最も高く，次いで「２．きょうだいや友人，保護者以外の大人と過ごしている」が 23.1%，「４．その他」が 19.2%となっています。



※不明・無回答除く

≪問８－２×問６（２）公園等の屋外の利用頻度別≫

公園等の屋外の利用頻度が低くなるほど，「１．保護者等（父・母・祖父母）が見守りながら過ごしている」の割合が高くなる傾向がみられます。



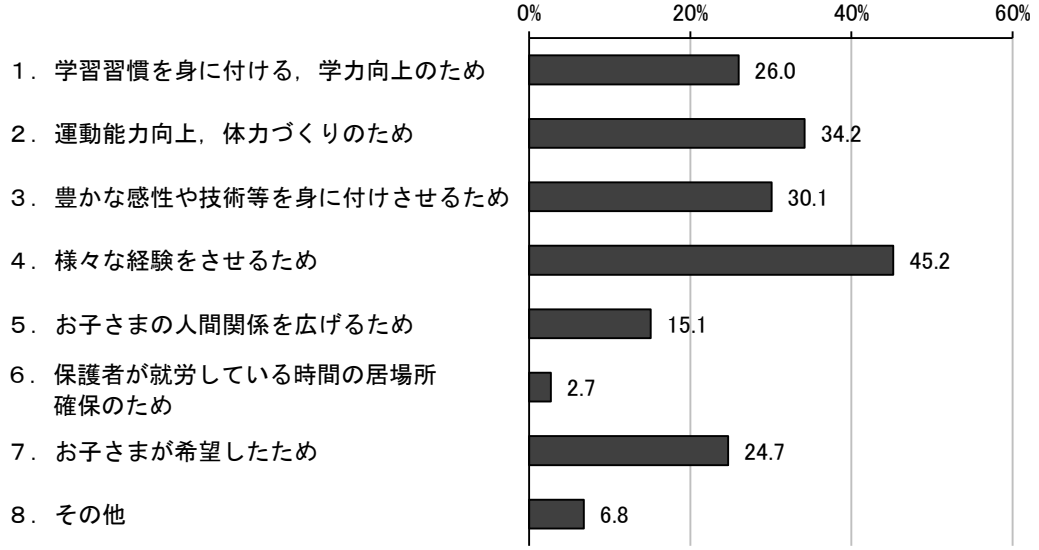
３　お子さまの習い事や塾について

お子さまを習い事や塾に通わせている方

問９　習い事や塾に通わせている理由をお答えください。（○は２つまで）

「４．様々な経験をさせるため」が 45.2%と最も高く，次いで「２．運動能力向上，体力づくりのため」が 34.2%，「３．豊かな感性や技術等を身に付けさせるため」が 30.1%となっています。

（N=73）



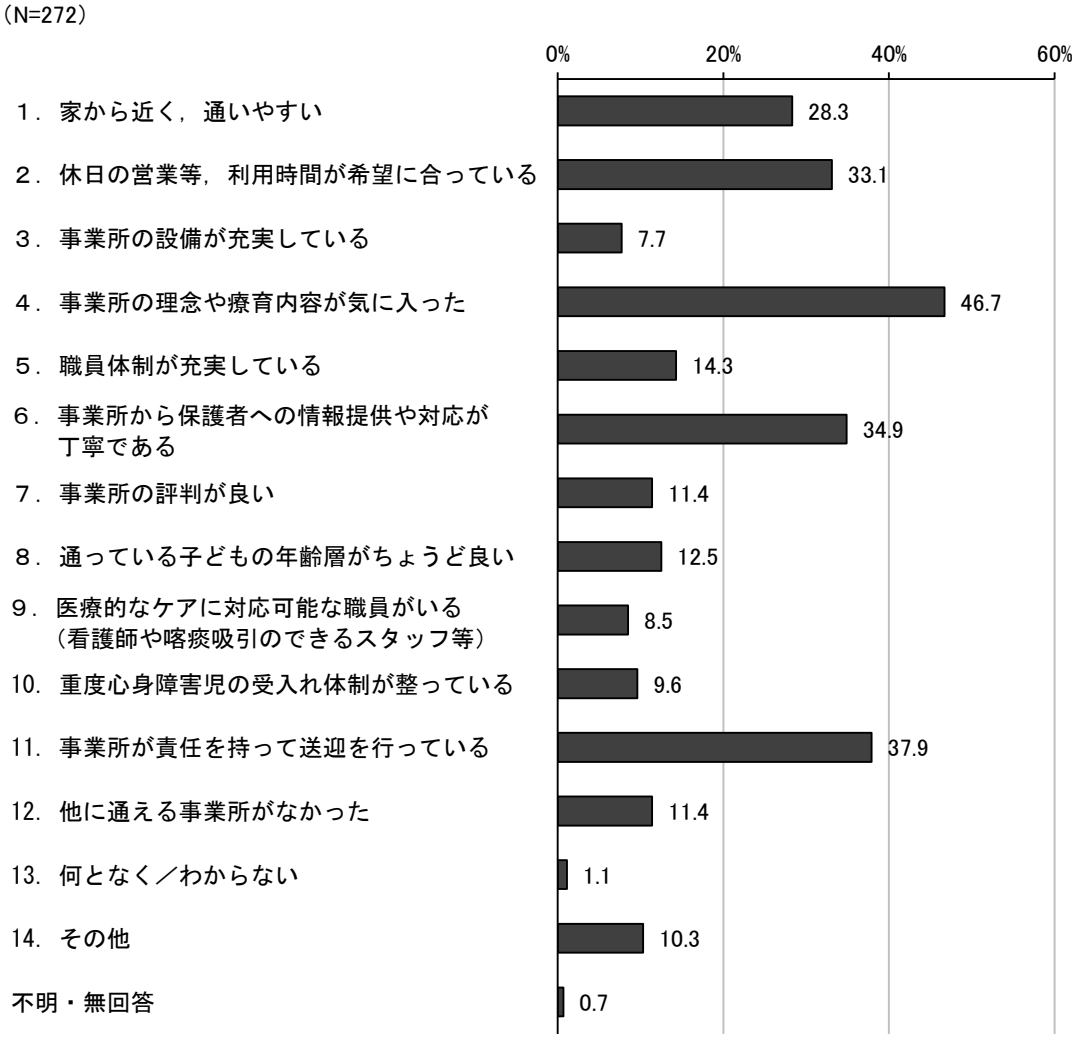
※不明・無回答除く

４　放課後等デイサービスについて

放課後等デイサービスを利用している方

問 10－１　現在通っている事業所を選んだ理由をお答えください。（○は３つまで）

「４．事業所の理念や療育内容が気に入った」が 46.7%と最も高く，次いで「11．事業所が責任を持って送迎を行っている」が 37.9%,「６．事業所から保護者への情報提供や対応が丁寧である」が 34.9%となっています。



≪問 10－１×問３保護者の就労状況別≫

『その他』を除き，『就労したいができない』では「家から近く，通いやすい」，それ以外では「事業所の理念や療育内容が気に入った」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	家から近く，通いやすい	休日の営業等，利用時間が希望に合っている	事業所の設備が充実している	事業所の理念や療育内容が気に入った	職員体制が充実している	事業所から保護者への情報提供や対応が丁寧である	事業所の評判が良い	通っている子どもの年齢層がちょうど良い
全 体		272	77	90	21	127	39	95	31	34
		100.0	28.3	33.1	7.7	46.7	14.3	34.9	11.4	12.5
保護者の就労状況別	常勤(フルタイム)で就労している	162	48	57	10	77	24	58	18	22
		100.0	29.6	35.2	6.2	47.5	14.8	35.8	11.1	13.6
	パートで就労している	99	26	43	7	52	9	32	10	12
		100.0	26.3	43.4	7.1	52.5	9.1	32.3	10.1	12.1
	就労していない	58	18	16	6	29	9	18	11	9
		100.0	31.0	27.6	10.3	50.0	15.5	31.0	19.0	15.5
	就労したいができない	32	13	6	2	12	3	9	4	5
		100.0	40.6	18.8	6.3	37.5	9.4	28.1	12.5	15.6
	その他	18	5	7	1	9	3	9	1	2
		100.0	27.8	38.9	5.6	50.0	16.7	50.0	5.6	11.1

上段:件数 下段:%		合計	医療的なケアに対応可能な職員がいる（看護師や喀痰吸引のできるスタッフ等）	重症心身障害児の受入れ体制が整っている	事業所が責任を持って送迎を行っている	他に通える事業所がなかった	何となく／わからない	その他	不明・無回答
全 体		272	23	26	103	31	3	28	2
		100.0	8.5	9.6	37.9	11.4	1.1	10.3	0.7
保護者の就労状況別	常勤(フルタイム)で就労している	162	13	16	64	17	1	14	2
		100.0	8.0	9.9	39.5	10.5	0.6	8.6	1.2
	パートで就労している	99	7	6	34	9	1	12	0
		100.0	7.1	6.1	34.3	9.1	1.0	12.1	0.0
	就労していない	58	8	8	27	8	0	5	0
		100.0	13.8	13.8	46.6	13.8	0.0	8.6	0.0
	就労したいができない	32	6	6	5	7	1	2	0
		100.0	18.8	18.8	15.6	21.9	3.1	6.3	0.0
	その他	18	0	0	7	1	1	3	0
		100.0	0.0	0.0	38.9	5.6	5.6	16.7	0.0

≪問 10－１×問５－１医療的ケアの内容別≫

『その他』を除き，『医療的なケアは受けていない』では「事業所の理念や療育内容が気に入った」，それ以外では「医療的なケアに対応可能な職員がいる」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	家から近く，通いやすい	休日の営業等，利用時間が希望に合っている	事業所の設備が充実している	事業所の理念や療育内容が気に入った	職員体制が充実している	事業所から保護者への情報提供や対応が丁寧である	事業所の評判が良い	通っている子どもの年齢層がちょうど良い
全 体		272	77	90	21	127	39	95	31	34
		100.0	28.3	33.1	7.7	46.7	14.3	34.9	11.4	12.5
医療的ケアの内容別	医療的なケアは受けていない	198	60	68	15	93	31	71	24	28
		100.0	30.3	34.3	7.6	47.0	15.7	35.9	12.1	14.1
	人工呼吸器管理	6	2	0	0	2	0	0	0	0
		100.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	酸素療法	5	1	0	0	2	0	0	0	0
		100.0	20.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	気管切開部の管理	5	1	0	0	3	0	0	0	0
		100.0	20.0	0.0	0.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	たん吸引	18	5	2	0	6	0	1	1	0
		100.0	27.8	11.1	0.0	33.3	0.0	5.6	5.6	0.0
	ネブライザー等による薬液吸入	8	1	1	0	4	0	1	2	0
		100.0	12.5	12.5	0.0	50.0	0.0	12.5	25.0	0.0
	経管栄養（胃ろう）	13	4	0	1	3	0	1	2	0
		100.0	30.8	0.0	7.7	23.1	0.0	7.7	15.4	0.0
	経管栄養（経鼻）	6	2	2	0	4	0	1	0	0
		100.0	33.3	33.3	0.0	66.7	0.0	16.7	0.0	0.0
	導尿	2	1	0	0	1	0	0	0	0
		100.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中心静脈栄養	1	1	0	0	0	0	0	0	0
		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ストマ管理	1	1	0	1	1	0	1	1	0
		100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0
	その他	8	0	4	0	3	2	4	0	0
		100.0	0.0	50.0	0.0	37.5	25.0	50.0	0.0	0.0

上段:件数 下段:%		合計	医療的なケアに対応可能な職員がいる（看護師や喀痰吸引のできるスタッフ等）	重症心身障害児の受入れ体制が整っている	事業所が責任を持って送迎を行っている	他に通える事業所がなかった	何となく／わからない	その他	不明・無回答
全 体		272	23	26	103	31	3	28	2
		100.0	8.5	9.6	37.9	11.4	1.1	10.3	0.7
医療的ケアの内容別	医療的なケアは受けていない	198	3	11	82	18	2	21	2
		100.0	1.5	5.6	41.4	9.1	1.0	10.6	1.0
	人工呼吸器管理	6	6	3	3	2	0	0	0
		100.0	100.0	50.0	50.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	酸素療法	5	5	2	0	5	0	0	0
		100.0	100.0	40.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	気管切開部の管理	5	4	2	1	2	0	0	0
		100.0	80.0	40.0	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0
	たん吸引	18	18	10	3	8	0	1	0
		100.0	100.0	55.6	16.7	44.4	0.0	5.6	0.0
	ネブライザー等による薬液吸入	8	6	3	2	3	0	1	0
		100.0	75.0	37.5	25.0	37.5	0.0	12.5	0.0
	経管栄養（胃ろう）	13	12	9	4	4	0	0	0
		100.0	92.3	69.2	30.8	30.8	0.0	0.0	0.0
	経管栄養（経鼻）	6	6	1	0	4	0	0	0
		100.0	100.0	16.7	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0
	導尿	2	2	0	0	2	0	0	0
		100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	中心静脈栄養	1	0	0	1	0	1	0	0
		100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	ストマ管理	1	1	1	1	1	0	0	0
		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	その他	8	0	0	3	1	0	3	0
		100.0	0.0	0.0	37.5	12.5	0.0	37.5	0.0

≪問 10－１×問６（12）放課後等デイサービスの利用頻度別≫

『１日のみ』では「事業所から保護者への情報提供や対応が丁寧である」，それ以外では「事業所の理念や療育内容が気に入った」の割合が最も高くなっています。

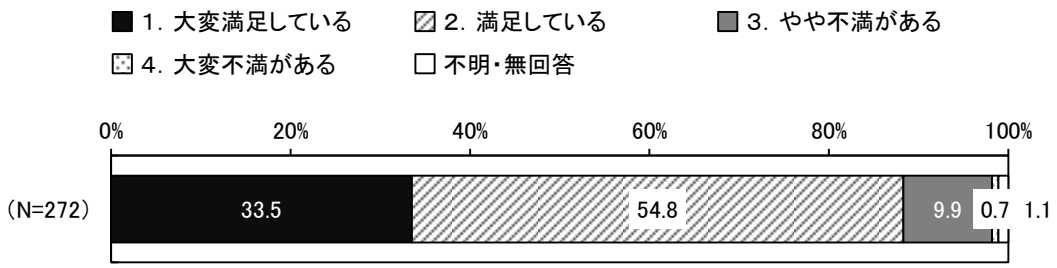
また，放課後等デイサービスの利用頻度が高いほど，「休日の営業等，利用時間が希望に合っている」の割合が高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	家から近く，通いやすい	休日の営業等，利用時間が希望に合っている	事業所の設備が充実している	事業所の理念や療育内容が気に入った	職員体制が充実している	事業所から保護者への情報提供や対応が丁寧である	事業所の評判が良い	通っている子どもの年齢層がちょうど良い
全 体		272	77	90	21	127	39	95	31	34
		100.0	28.3	33.1	7.7	46.7	14.3	34.9	11.4	12.5
放課後等デイサービスの利用頻度別	毎日	95	32	41	8	47	19	32	12	8
		100.0	33.7	43.2	8.4	49.5	20.0	33.7	12.6	8.4
	4日	64	10	24	8	33	9	23	7	12
		100.0	15.6	37.5	12.5	51.6	14.1	35.9	10.9	18.8
	2～3日	94	31	22	4	40	7	32	11	10
		100.0	33.0	23.4	4.3	42.6	7.4	34.0	11.7	10.6
	1日のみ	19	4	3	1	7	4	8	1	4
		100.0	21.1	15.8	5.3	36.8	21.1	42.1	5.3	21.1

上段:件数 下段:%		合計	医療的なケアに対応可能な職員がいる（看護師や喀痰吸引のできるスタッフ等）	重症心身障害児の受入れ体制が整っている	事業所が責任を持って送迎を行っている	他に通える事業所がなかった	何となく／わからない	その他	不明・無回答
全 体		272	23	26	103	31	3	28	2
		100.0	8.5	9.6	37.9	11.4	1.1	10.3	0.7
放課後等デイサービスの利用頻度別	毎日	95	4	6	38	8	0	6	0
		100.0	4.2	6.3	40.0	8.4	0.0	6.3	0.0
	4日	64	2	3	29	6	0	10	1
		100.0	3.1	4.7	45.3	9.4	0.0	15.6	1.6
	2～3日	94	13	16	33	12	3	8	0
		100.0	13.8	17.0	35.1	12.8	3.2	8.5	0.0
	1日のみ	19	4	1	3	5	0	4	1
		100.0	21.1	5.3	15.8	26.3	0.0	21.1	5.3

問 10－２　利用している放課後等デイサービスの満足度についてお答えください。（○は１つ）

『満足（「１．大変満足している」と「２．満足している」の合計)』は 88.3%，『不満（「３．やや不満がある」と「４．大変不満がある」の合計)』は 10.6%となっています。



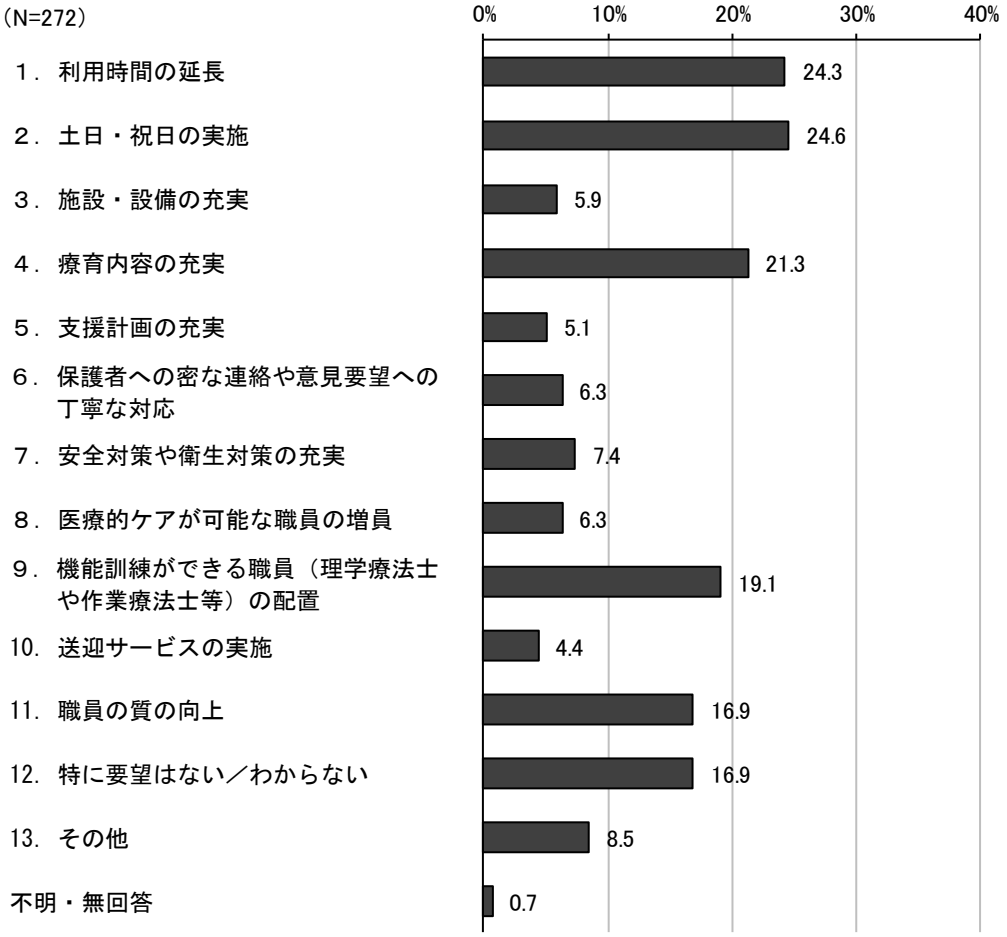
≪問 10－２×問 10－１現在通っている事業所を選んだ理由別≫

『職員体制が充実している』では「大変満足している」，それ以外では「満足している」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	大変満足している	満足している	やや不満がある	大変不満がある	不明・無回答
全 体		272	91	149	27	2	3
		100.0	33.5	54.8	9.9	0.7	1.1
現在通っている事業所を選んだ理由別	家から近く，通いやすい	77	21	47	7	1	1
		100.0	27.3	61.0	9.1	1.3	1.3
	休日の営業等，利用時間が希望に合っている	90	23	59	8	0	0
		100.0	25.6	65.6	8.9	0.0	0.0
	事業所の設備が充実している	21	9	10	2	0	0
		100.0	42.9	47.6	9.5	0.0	0.0
	事業所の理念や療育内容が気に入った	127	53	67	4	0	3
		100.0	41.7	52.8	3.1	0.0	2.4
	職員体制が充実している	39	23	15	1	0	0
		100.0	59.0	38.5	2.6	0.0	0.0
	事業所から保護者への情報提供や対応が丁寧である	95	39	51	4	0	1
		100.0	41.1	53.7	4.2	0.0	1.1
	事業所の評判が良い	31	8	23	0	0	0
		100.0	25.8	74.2	0.0	0.0	0.0
	通っている子どもの年齢層がちょうど良い	34	7	24	3	0	0
		100.0	20.6	70.6	8.8	0.0	0.0
	医療的なケアに対応可能な職員がいる（看護師や喀痰吸引のできるスタッフ等）	23	8	12	3	0	0
		100.0	34.8	52.2	13.0	0.0	0.0
	重症心身障害児の受入れ体制が整っている	26	12	13	1	0	0
		100.0	46.2	50.0	3.8	0.0	0.0
	事業所が責任を持って送迎を行っている	103	34	62	6	0	1
		100.0	33.0	60.2	5.8	0.0	1.0
	他に通える事業所がなかった	31	7	15	8	1	0
		100.0	22.6	48.4	25.8	3.2	0.0
	何となく／わからない	3	0	2	1	0	0
		100.0	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0
	その他	28	11	13	3	1	0
		100.0	39.3	46.4	10.7	3.6	0.0

問 10－３　現在通っている事業所に対する要望をお答えください。（○は２つまで）

「２．土日・祝日の実施」が 24.6％と最も高く，次いで「１．利用時間の延長」が 24.3％，「４．療育内容の充実」が 21.3％となっています。



≪問 10－３×学校区分別≫

『小学部』では「機能訓練ができる職員の配置」,『中学部』では「土日・祝日の実施」,『高等部』では「特に要望はない／わからない」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	利用時間の延長	土日・祝日の実施	施設・設備の充実	療育内容の充実	支援計画の充実	保護者への密な連絡や意見要望への丁寧な対応	安全対策や衛生対策の充実
全 体		272	66	67	16	58	14	17	20
		100.0	24.3	24.6	5.9	21.3	5.1	6.3	7.4
学校区分別	小学部	107	22	25	7	22	4	7	12
		100.0	20.6	23.4	6.5	20.6	3.7	6.5	11.2
	中学部	66	21	22	5	18	7	5	5
		100.0	31.8	33.3	7.6	27.3	10.6	7.6	7.6
	高等部	95	21	20	4	17	3	5	2
		100.0	22.1	21.1	4.2	17.9	3.2	5.3	2.1

上段:件数 下段:%		合計	医療的ケアが可能な職員の増員	機能訓練ができる職員（理学療法士や作業療法士等）の配置	送迎サービスの実施	職員の質の向上	特に要望はない／わからない	その他	不明・無回答
全 体		272	17	52	12	46	46	23	2
		100.0	6.3	19.1	4.4	16.9	16.9	8.5	0.7
学校区分別	小学部	107	11	30	7	18	14	11	1
		100.0	10.3	28.0	6.5	16.8	13.1	10.3	0.9
	中学部	66	2	8	3	10	8	5	1
		100.0	3.0	12.1	4.5	15.2	12.1	7.6	1.5
	高等部	95	4	13	2	17	23	7	0
		100.0	4.2	13.7	2.1	17.9	24.2	7.4	0.0

≪問 10－３×問３保護者の就労状況別≫

『常勤（フルタイム）で就労している』『パートで就労している』では「利用時間の延長」「土日・祝日の実施」,『就労していない』では「療育内容の充実」,『就労したいができない』では「職員の質の向上」の割合が高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	利用時間の延長	土日・祝日の実施	施設・設備の充実	療育内容の充実	支援計画の充実	保護者への密な連絡や意見要望への丁寧な対応	安全対策や衛生対策の充実
全 体		272	66	67	16	58	14	17	20
		100.0	24.3	24.6	5.9	21.3	5.1	6.3	7.4
保護者の就労状況別	常勤(フルタイム)で就労している	162	41	41	10	34	10	11	15
		100.0	25.3	25.3	6.2	21.0	6.2	6.8	9.3
	パートで就労している	99	33	33	6	15	5	8	9
		100.0	33.3	33.3	6.1	15.2	5.1	8.1	9.1
	就労していない	58	4	10	4	18	5	2	3
		100.0	6.9	17.2	6.9	31.0	8.6	3.4	5.2
	就労したいができない	32	6	5	2	8	0	3	2
		100.0	18.8	15.6	6.3	25.0	0.0	9.4	6.3
	その他	18	4	4	3	5	1	1	0
		100.0	22.2	22.2	16.7	27.8	5.6	5.6	0.0

上段:件数 下段:%		合計	医療的ケアが可能な職員の増員	機能訓練ができる職員(理学療法士や作業療法士等)の配置	送迎サービスの実施	職員の質の向上	特に要望はない／わからない	その他	不明・無回答
全 体		272	17	52	12	46	46	23	2
		100.0	6.3	19.1	4.4	16.9	16.9	8.5	0.7
保護者の就労状況別	常勤(フルタイム)で就労している	162	10	28	9	28	29	15	2
		100.0	6.2	17.3	5.6	17.3	17.9	9.3	1.2
	パートで就労している	99	3	21	3	15	14	7	1
		100.0	3.0	21.2	3.0	15.2	14.1	7.1	1.0
	就労していない	58	5	14	3	4	15	5	0
		100.0	8.6	24.1	5.2	6.9	25.9	8.6	0.0
	就労したいができない	32	3	5	3	10	3	3	0
		100.0	9.4	15.6	9.4	31.3	9.4	9.4	0.0
	その他	18	1	5	1	5	0	3	0
		100.0	5.6	27.8	5.6	27.8	0.0	16.7	0.0

≪問 10－３×問６（12）放課後等デイサービスの利用頻度別≫

『毎日』では「土日・祝日の実施」,『４日』では「療育内容の充実」,『２～３日』では「機能訓練ができる職員の配置」,『１日のみ』では「利用時間の延長」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	利用時間の延長	土日・祝日の実施	施設・設備の充実	療育内容の充実	支援計画の充実	保護者への密な連絡や意見要望への丁寧な対応	安全対策や衛生対策の充実
全 体		272	66	67	16	58	14	17	20
		100.0	24.3	24.6	5.9	21.3	5.1	6.3	7.4
放課後等デイサービスの利用頻度別	毎日	95	28	30	4	18	5	8	9
		100.0	29.5	31.6	4.2	18.9	5.3	8.4	9.5
	４日	64	11	14	5	17	3	6	4
		100.0	17.2	21.9	7.8	26.6	4.7	9.4	6.3
	２～３日	94	21	19	5	19	5	2	5
		100.0	22.3	20.2	5.3	20.2	5.3	2.1	5.3
	１日のみ	19	6	4	2	4	1	1	2
		100.0	31.6	21.1	10.5	21.1	5.3	5.3	10.5

上段:件数 下段:%		合計	医療的ケアが可能な職員の増員	機能訓練ができる職員（理学療法士や作業療法士等）の配置	送迎サービスの実施	職員の質の向上	特に要望はない／わからない	その他	不明・無回答
全 体		272	17	52	12	46	46	23	2
		100.0	6.3	19.1	4.4	16.9	16.9	8.5	0.7
放課後等デイサービスの利用頻度別	毎日	95	5	14	4	16	11	8	2
		100.0	5.3	14.7	4.2	16.8	11.6	8.4	2.1
	４日	64	1	13	3	11	16	4	0
		100.0	1.6	20.3	4.7	17.2	25.0	6.3	0.0
	２～３日	94	9	22	2	16	14	10	0
		100.0	9.6	23.4	2.1	17.0	14.9	10.6	0.0
	１日のみ	19	2	3	3	3	5	1	0
		100.0	10.5	15.8	15.8	15.8	26.3	5.3	0.0

≪問 10－３×問 10－２利用している放課後等デイサービスの満足度別≫

『大変満足している』では「土日・祝日の実施」,『満足している』では「利用時間の延長」「療育内容の充実」,『やや不満がある』では「職員の質の向上」の割合が高くなっています。

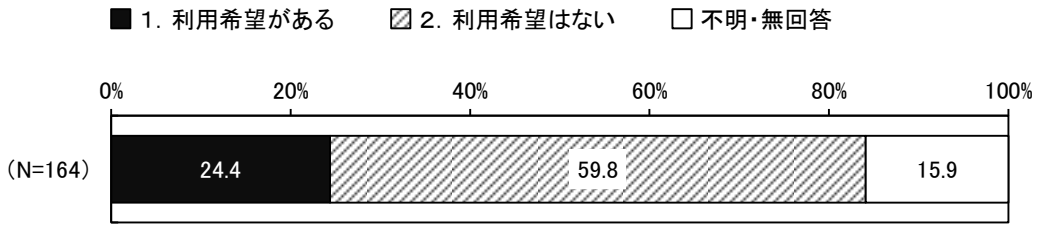
上段:件数 下段:%		合計	利用時間の延長	土日・祝日の実施	施設・設備の充実	療育内容の充実	支援計画の充実	保護者への密な連絡や意見要望への丁寧な対応	安全対策や衛生対策の充実
全 体		272	66	67	16	58	14	17	20
		100.0	24.3	24.6	5.9	21.3	5.1	6.3	7.4
放課後等デイサービスの満足度別	大変満足している	91	20	26	4	7	2	1	5
		100.0	22.0	28.6	4.4	7.7	2.2	1.1	5.5
	満足している	149	40	36	11	40	8	11	11
		100.0	26.8	24.2	7.4	26.8	5.4	7.4	7.4
	やや不満がある	27	5	5	1	10	4	5	4
		100.0	18.5	18.5	3.7	37.0	14.8	18.5	14.8
	大変不満がある	2	1	0	0	0	0	0	0
		100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

上段:件数 下段:%		合計	医療的ケアが可能な職員の増員	機能訓練ができる職員（理学療法士や作業療法士等）の配置	送迎サービスの実施	職員の質の向上	特に要望はない／わからない	その他	不明・無回答
全 体		272	17	52	12	46	46	23	2
		100.0	6.3	19.1	4.4	16.9	16.9	8.5	0.7
放課後等デイサービスの満足度別	大変満足している	91	10	12	2	5	25	10	0
		100.0	11.0	13.2	2.2	5.5	27.5	11.0	0.0
	満足している	149	5	36	8	29	18	9	1
		100.0	3.4	24.2	5.4	19.5	12.1	6.0	0.7
	やや不満がある	27	2	3	2	11	1	3	1
		100.0	7.4	11.1	7.4	40.7	3.7	11.1	3.7
	大変不満がある	2	0	0	0	1	0	1	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0

放課後等デイサービスを利用していない方

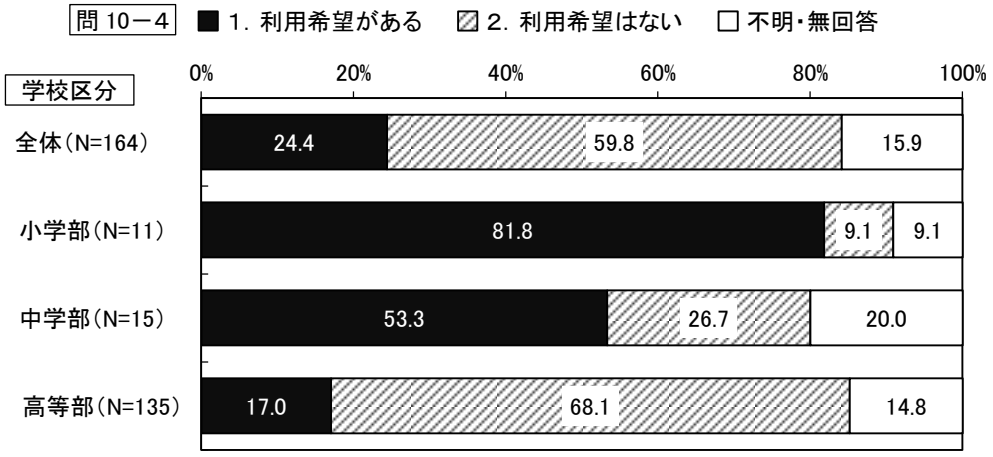
問 10－４　放課後等デイサービスの利用希望はありますか。（○は１つ）

「２．利用希望はない」が 59.8%,「１．利用希望がある」が 24.4%となっています。



≪問 10－４×学校区分別≫

学校区分が上がるほど，「１．利用希望がある」の割合が低くなる傾向がみられます。



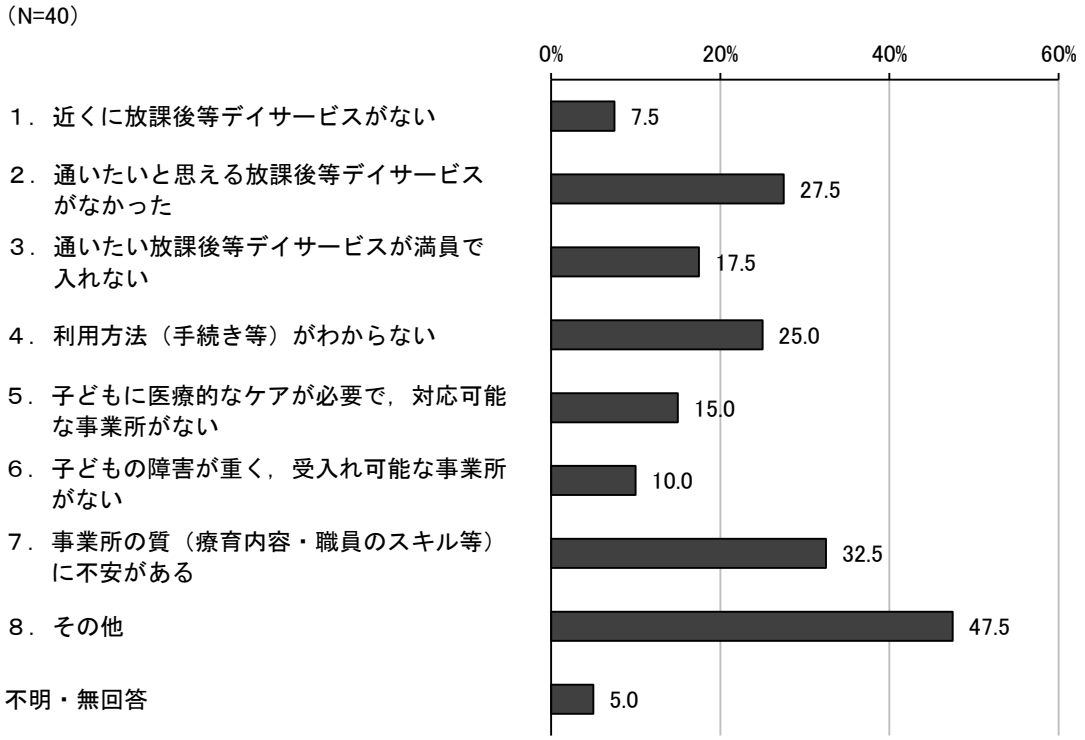
≪問 10－４×問５－１医療的ケアの内容別≫

『医療的なケアは受けていない』『その他』では「利用希望はない」，それ以外では「利用希望がある」の割合が高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	利用希望がある	利用希望はない	不明・無回答
全　体		164 100.0	40 24.4	98 59.8	26 15.9
医療的ケアの内容別	医療的なケアは受けていない	121 100.0	28 23.1	77 63.6	16 13.2
	人工呼吸器管理	5 100.0	4 80.0	1 20.0	0 0.0
	酸素療法	6 100.0	4 66.7	1 16.7	1 16.7
	気管切開部の管理	8 100.0	5 62.5	2 25.0	1 12.5
	たん吸引	11 100.0	7 63.6	2 18.2	2 18.2
	ネブライザー等による薬液吸入	4 100.0	3 75.0	0 0.0	1 25.0
	経管栄養（胃ろう）	6 100.0	3 50.0	1 16.7	2 33.3
	経管栄養（経鼻）	4 100.0	3 75.0	1 25.0	0 0.0
	導尿	3 100.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0
	その他	7 100.0	2 28.6	4 57.1	1 14.3

問 10－４で「１．利用希望がある」と回答された方

問 10－５　現在放課後等デイサービスを利用していない理由についてお答えください。（○はいくつでも）

「８．その他」が 47.5%と最も高く，次いで「７．事業所の質（療育内容・職員のスキル等）に不安がある」が 32.5%，「２．通いたいと思える放課後等デイサービスがなかった」が 27.5%となっています。

その他の内容としては，本人の希望（７件），本人の体力面や状態（６件），支援の内容や質（５件）などが挙げられています。